

表 紙 文 樣 集 成

調 查 研 究 報 告

第 25 号 別 冊

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国 文 学 研 究 資 料 館

調 査 収 集 事 業 部

2004

表紙文様集成

はじめに

昭和五十五年、旧文献資料部では表紙文様の述語整理に着手し、実際の模様見本として図版集の『調査研究報告』連載を開始した。その経緯は次のように記されている。

書誌の細目を記述している時に、誰もがしばしば困惑するのは表紙の色と模様・用紙の質である。(中略)表紙模様については、それ専用に集められた文様集はなく、在来の一般文様集は記述内容に不足があるか、大部かつ高価で携行が不可能である。したがって、専ら調査の便と、記述の統一をはかるべく、表紙模様の集成と、模様記述の術語の整理に着手した。(「表紙模様集成記述用語集成」(一)序)以後、この企画は第二室を中心に継続され、索引を含め計八号に亘って「表紙模様集成稿」が公刊された。

福田秀一・村上学・徳田和夫、「表紙模様記述用語集成」(一)、「調査研究報告」第一号、一九八〇年三月)

福田秀一・村上学・小林健二、「表紙模様集成稿」(一)、「同第二号、一九八一年三月)

村上学・小林健二、「表紙模様集成稿」(二)、「同第四号、一九八三年三月)

小林健二、「表紙模様集成稿」(三)、「同第五号、一九八四年三月)

小峯和明、「表紙模様集成総索引」(同第六号、一九八五年三月)

樹下文隆・竹下義人、「表紙模様集成続稿」(一)「植物篇」(同第十二号、一九九一年三月)

同、「表紙模様集成続稿」(二)「唐草篇・動物篇」(同第十三号、一九九二年)

樹下文隆、「表紙模様集成続稿」(三)「同第十四号、一九九三年三月)

これらは書誌調査の際の便覧としても歓迎され、「調査員諸氏からの抜刷希望が後を絶たず、調査員大会の席上等で一冊に纏めよという要望もよく出る」(「表紙文様集成続稿」(一)「序」)こととなった。しかしながら、写真による図版集であるため増刷は不可能であり、なかなか再刊の実現に結びつかなかった。

平成十四年、文献資料部では従来の調査カードのみならず、パソコンを活用した古典籍調査を開始し、同時に二十万点を超える調査カードのデータベース化に着手した。デジタル化へ向けた試行錯誤を続ける中で、「表紙模様集成」についてもより簡便に活用できる道はないか、部内で検討が繰り返された。その結果、先述の「表紙模様集成」に基づいて新たな「表紙文様集成」を刊行することが決定した。将来のデータベース化を視野に入れ、該当データについては原本のスキミングを行い、画像処理を施した点が従来と大きく異なる。その諸準備が齋藤希史(当部助教授・当時)によって進められる一方、小川剛生・中野真麻理がデータの総点検に着手した。目次・索引についても小川が作成した。

『調査研究報告』に掲載された全データは、当館所蔵資料のほか久保

田淳氏、五季文庫、仙淵文庫、南園文庫、書陵部など、館外の御協力を得て掲載させて頂いたものが少なくない。また、重複するデータや名称未詳分も含まれている。そのため、データの整理統合、訂正等を行った上で、当館の館蔵資料を中心にスキヤニング作業に入った。新たに当館で収集し、または寄贈等を受けた資料からもデータの追加を行っている。このほか、館の内外の先生方から個人的にデータを提供して頂くことができた。この場を借りて、心より御礼申し上げたい。

データの点検や追加を行う過程で、我々は名称未詳文の前に立ち尽くし、先達の方々のご苦勞を思った。幸い、画像処理等については和田琢磨氏（リサーチアシスタント・当時）と村山弘美氏の全面的なご協力を頂くことができた。お二人がおられなければ、「表紙文様集成」は未だ刊行に漕ぎつけられずにいたであろう。平成十五年には木戸雄一（技術補佐員・当時）の協力をも得ることができ、少しずつ体裁が整っていった。今ここに、「表紙文様集成」を公刊するに際し、先学の残して下さった蓄積に改めて感謝申し上げたい。名称その他、不備も少なくないと思われるが、それは偏に後学の未熟ゆえである。なお、文様集成については、今後もデータの集積・公開を継続してゆきたいと考えている。大方の御叱正と御教示を乞う次第である。

【凡例】

一、請求番号 館蔵資料については、一般和古書（カタカナと漢数字）、初雁文庫（12から始まる番号）、高乗家本（数字のみ）、田安

家本（数字のみ、田安家本と明記）の四種がある。このほか、個人の御蔵書については、「個人蔵」とのみ記載させて頂いた。

二、掲載箇所 文様を最も鮮明に判別できる部分を最優先し、前後表紙の全面・細部の拡大・表紙ウラなど様々な箇所を掲載した。その別は一々断らない。また、本来は「捺」「押」「摺」等々の区別があるが、印刷では判別困難と思われるため、今回は特に注記していない。文様名が確定できないものについては「―」に入れて示した。

三、索引 検索の便のため、文様名・書名の二種の索引を編んだ。凡例は以下の通り。

一、同一の文様名・書名を現代仮名遣いの五十音順に配列した。音訓決めかねるものは通行に従った。

一、異称・別称には見よ項目を立てた。

一、ある文様に深く関係する文様、またはその変形と思われる文様を、番号の後に で列挙した。適宜参照されたい。

一、書名は「国書総目録」に原則準拠した。

一、角書の類、「重修」「校正」「増補」「標注」「頭書」「新板」「首書」などは外した。

一、合綴書名はそれぞれの所に立項した。

四、色見本 冊末に色見本を添えた。色見本は多くの参考文献が出版されているが、同じ色名であっても、印刷の加減により全く色合いが異なる。そこで館蔵資料をスキヤニングして色のみを抽出し、実物とほぼ一致する状態になるようデータ処理を行い、名称を付した。

これについても村山弘美氏の献身的な御協力を賜った。もとより参考資料の領域を出るものではないが、御参照頂ければ幸いである。

【参考文献】

- 『日本の文様』全三十三巻（光琳社、昭和四十五年）五十五年）
『別冊日本の文様』一～三（光琳社、昭和五十三年）五十五年）
沼田頼輔著『日本紋章学』（人物往来社、一九六八年）
岡登貞治編『日本文様図鑑』（東京堂、一九六九年）
溝口三郎編『文様』（日本の美術二九、至文堂、昭和四十三年）
上條耿乃助『日本文様事典』（雄山閣）
北村哲郎『日本の文様』（源流社）
北村・吉田・田中編『日本の文様 花鳥』全三巻（淡交社）
片野孝志『日本文様事典』（河出書房新社）
岡登貞治編『新装普及版 文様の事典』（東京堂、平成十年）
中江克己『文様の名前で読み解く日本史』（青春出版社、二〇〇四年）
- ***
- 上村六郎・山崎勝弘『増訂日本色名大鑑』（養徳社、昭和十八年）
同『日本色名大鑑』（染織と生活社、昭和五十一年）
前田千寸・上村六郎『日本色彩文化史』（復刻版、岩波書店、一九八三年）
日本色彩研究所編・福田邦夫著『日本の伝統色 色の小辞典』（読売新聞社、昭和六十二年）
長崎盛輝『色・彩飾の日本史』（淡交社、平成二年）

社団法人日本流行色協会監修『日本伝統色 色名事典』（日本色研事業株式会社、平成十二年）

新版『色の手帖』（小学館、二〇〇二年）

長崎盛輝『日本の伝統色』（青幻舎、二〇〇一年）

中江克己『色の名前で読み解く日本史』（青春出版社、二〇〇三年）

小林光夫・鈴木卓治編『日本伝統色復元色票データベース』（電気通信

大学小林光夫研究室・国立歴史民俗博物館情報資料研究部発行、二〇〇四年三月）

『日本の伝統色』第六版（大日本インキ化学）

（小川剛生・中野真麻理）

蜻蛉	蝶	雪兔	犬・猿・蟹	雀・兔	蝙蝠	雲中鳥	花鳥	水鳥	雀	花喰鳥	千鳥	雁	鶴龜	獅子	鳳凰	瑞獸	竜	動物文様	花文	草花
388	378 }	377	376	375	374	373	371 }	370	369	368	365 }	364	360 }	358 }	353 }	352	340 }	330 }	328 }
	387						372				367		363	359	357	351	339	329	
																	85p			

書名索引	文様名索引	貝	魚	虫	螢
.....	394 }	393	390 }	389
.....	395		392	
.....				
110p	101p				



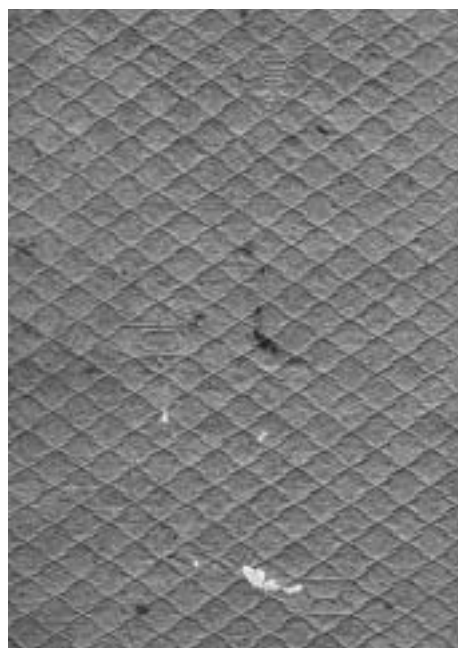
2 布目地に網目
『文芸類纂』明治11刊
当館蔵ア9-2



1 布目地
『十六夜日記残月鈔』文政7刊
当館蔵夕5-110



4 布目地に波刷毛目
『官職知要』宝暦9刊
当館蔵ヤ7-28



3 布目地に松皮菱に輪鼓と文字
『枕詞燭明抄』江戸後期刊
当館蔵ナ2-289



6 布目地に渋引格子
『詞のくみ立』明治22刊
当館蔵202



5 布目地に渋刷毛引
『百人一首新抄』文化4刊
当館蔵夕2-25



8 卍繫ぎ（紗綾形）
『雲妙間雨夜月』文化5刊
当館蔵ナ4-9



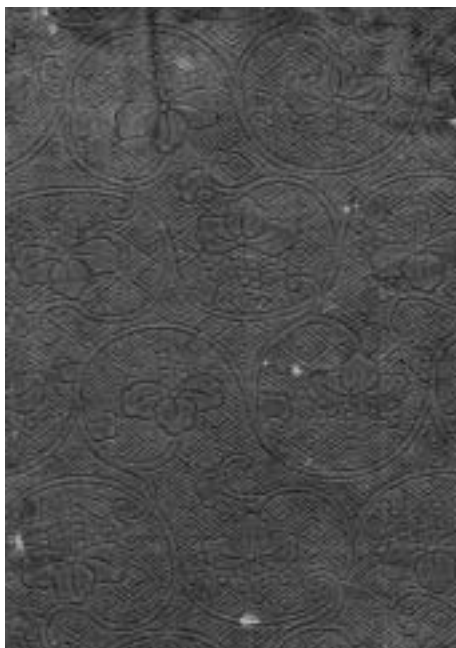
7 布目地に朽木雲
『古今和歌六帖標注』天保14刊
当館蔵サ2-1



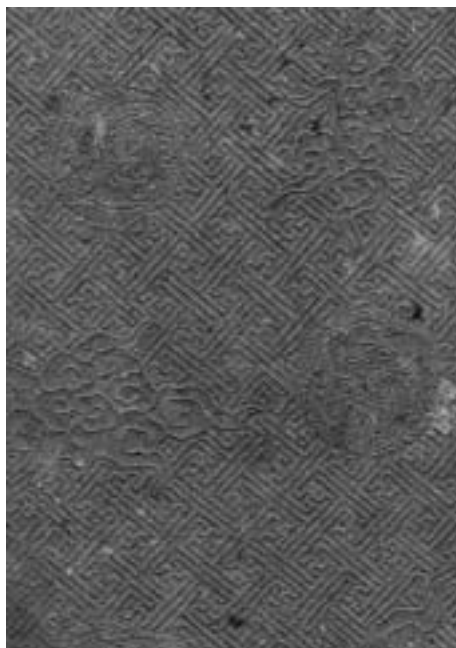
10 卍繋ぎ地に牡丹唐草
『仕舞付百番七太夫流』万治元刊
当館蔵タ7-17



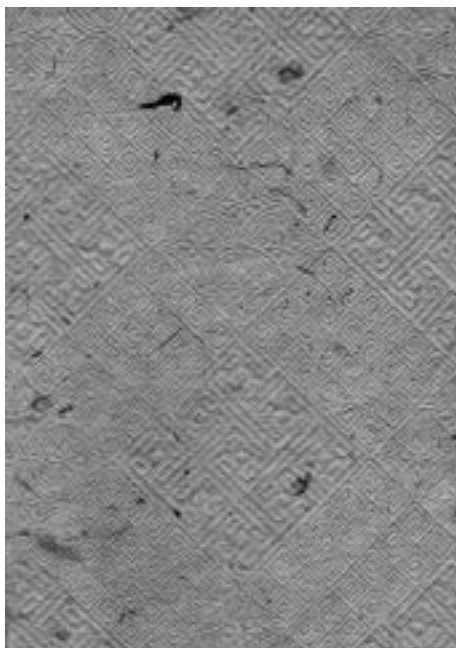
9 卍繋ぎ地に二つ巴散し
『正史実伝いろは文庫』天保7刊
当館蔵ナ4-292



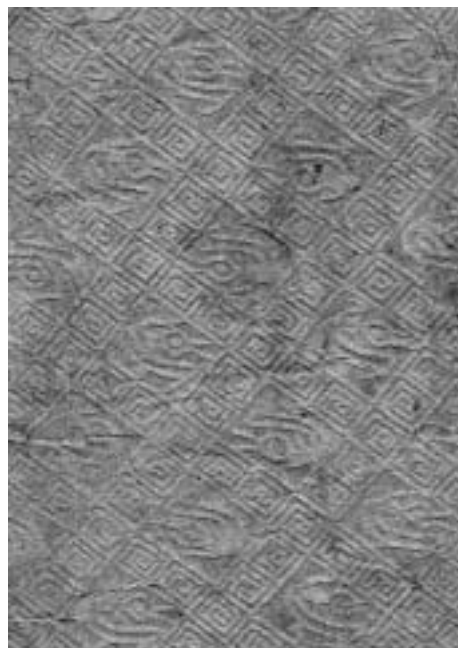
12 雷文繋ぎ地に桐唐草
『仙洞御添削百首』江戸後期写
当館蔵ナ2-261



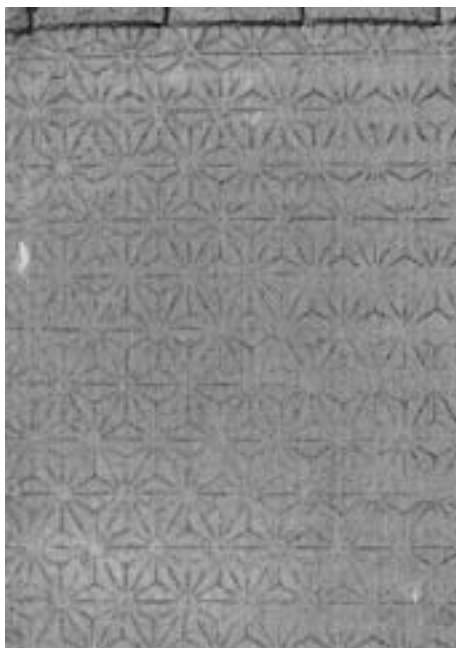
11 卍繋ぎ地に雲と竜の丸
『老子繹解』寛政9刊
当館蔵ワ8-4



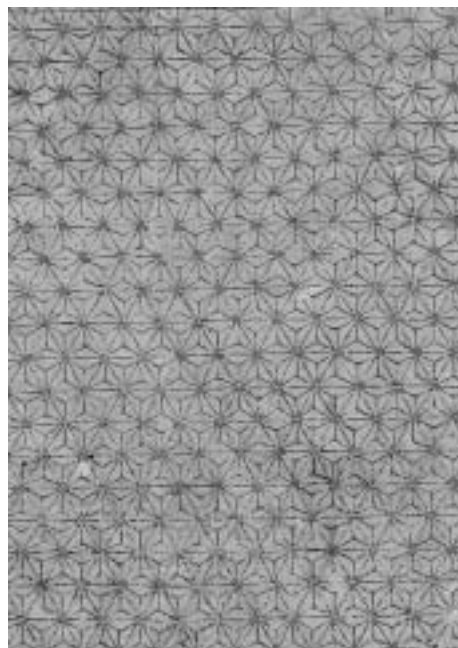
14 工字崩し・雷文繫ぎ・七宝の菱繫ぎ
『泉志』江戸中期刊
当館蔵ワ4-5



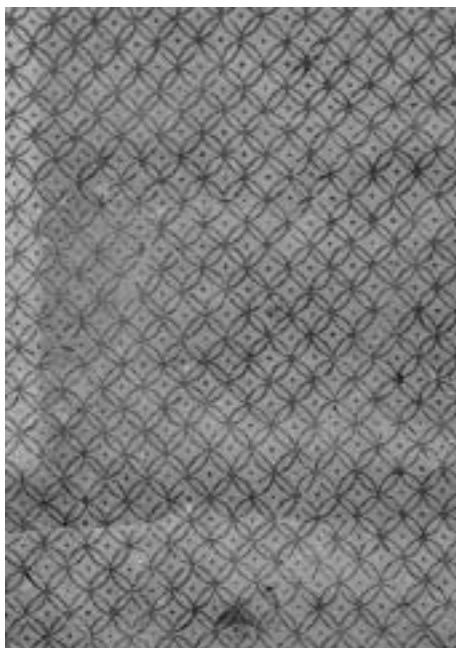
13 雷文禪地に雨竜
『徒然草』寛永無刊記本
当館蔵タ5-32



16 麻の葉繫ぎ
『楽譜集』近代写
当館蔵564



15 麻の葉繫ぎ
『後水尾院御製』寛保2写
当館蔵ナ2-175



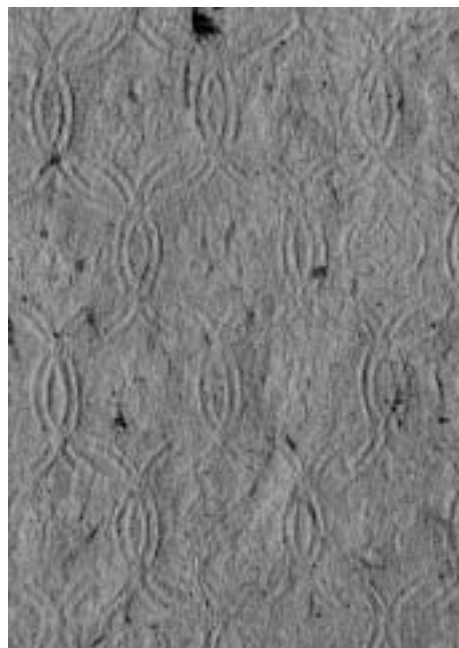
18 七宝繋ぎ(中央に点)
『詠歌大概・秀歌躰大略』江戸前期写
当館蔵タ2-90



17 麻の葉地に小菊と若松の丸散し
『徳和歌後萬載集』天明5刊
当館蔵ナ2-57



20 宝尽し二重七宝繋ぎ
『明和改正謡本』明和2刊
当館蔵タ7-6



19 宝尽し二重七宝繋ぎ
『明和改正謡本』明和2刊
当館蔵タ7-6



22 四つ菱（武田菱）
『都氣能雄久志』明治18刊
当館蔵八2-3



21 花文花菱四方禪（花文七宝繫ぎ）
『仮名読八犬伝』嘉永8序・刊
当館蔵ナ4-10



24 花菱（幸菱）
『源氏男女装束抄』文政11刊
当館蔵12-485



23 花菱（菱型雲文）
『詞花和歌集』室町後期写
当館蔵サ2-10



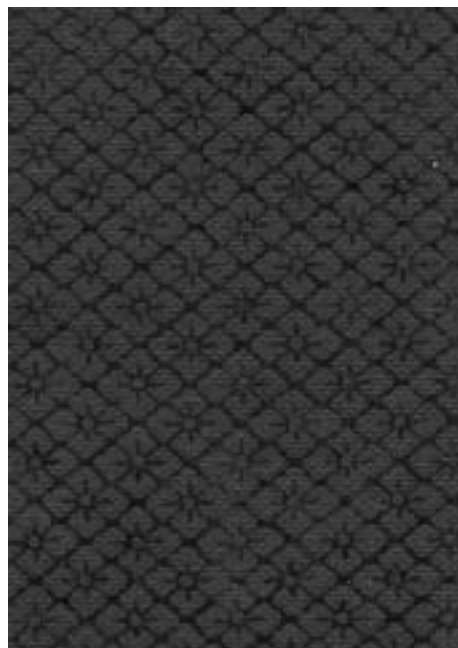
26 二つ巴と重花菱
『俊傑神稻水滸傳』安政6刊
当館蔵ナ4-259



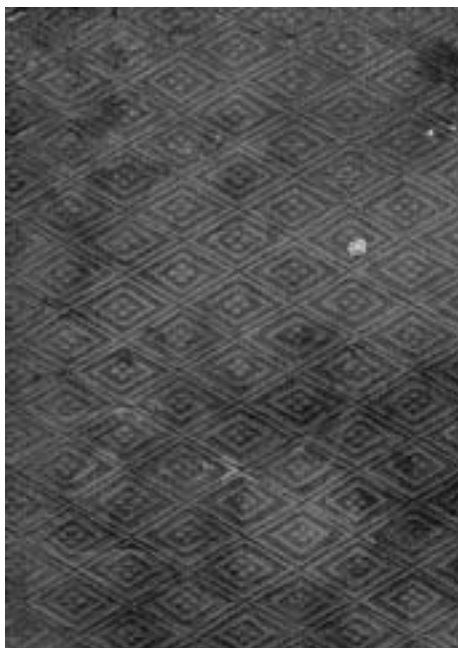
25 雲珠と花菱
『女郎花五色石台』弘化4序・刊
当館蔵ナ4-78



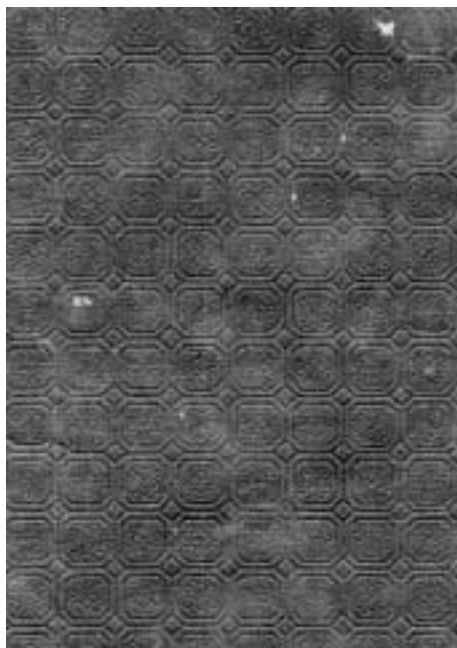
28 松皮菱竹垣地に笹の葉散し
『絵本報仇安達原』文化4刊
当館蔵ナ4-185



27 布目地に花菱(幸菱)
『偏類六書通』嘉永元序・刊
当館蔵マ3-52



30 縁取り割小菱 (三重禪)
『帆足先生文集』弘化4序・刊
当館蔵ナ8-296



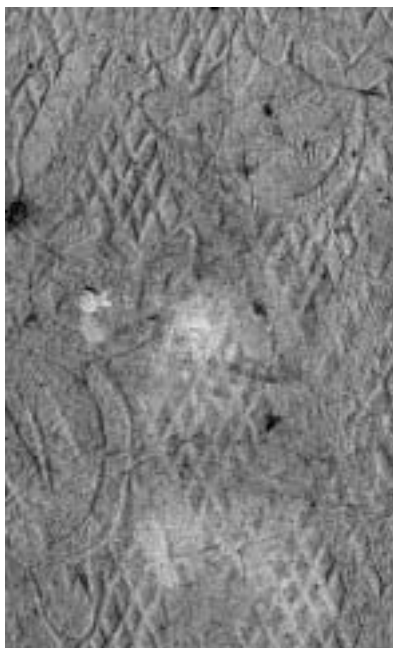
29 角切り二重角繋ぎ花菱文
『狂歌集』文化3以前写
当館蔵ナ2-287



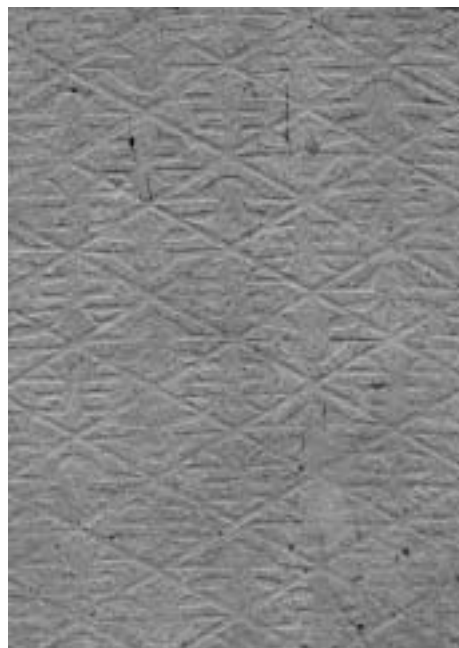
32 〔菱文〕
『徒然草』(伝中和門院筆)江戸初期写
当館蔵1



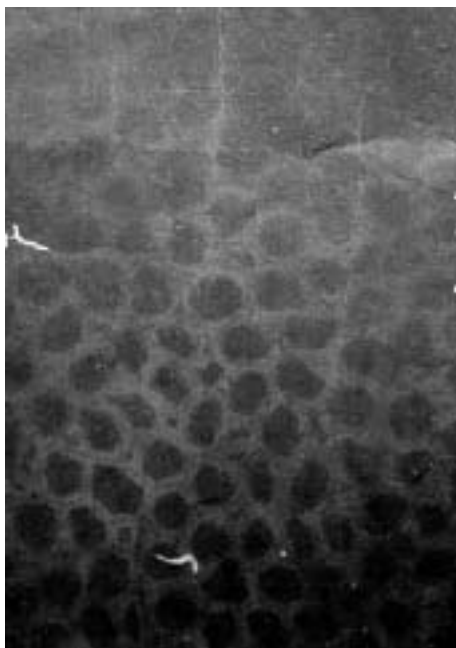
31 窠文 (木瓜文) 花菱
『百人一首基箭抄』享保6刊
当館蔵夕2-41



34 〔菱繋ぎ地〕
『諸芸人名録』明治8刊
当館蔵ラ8-34



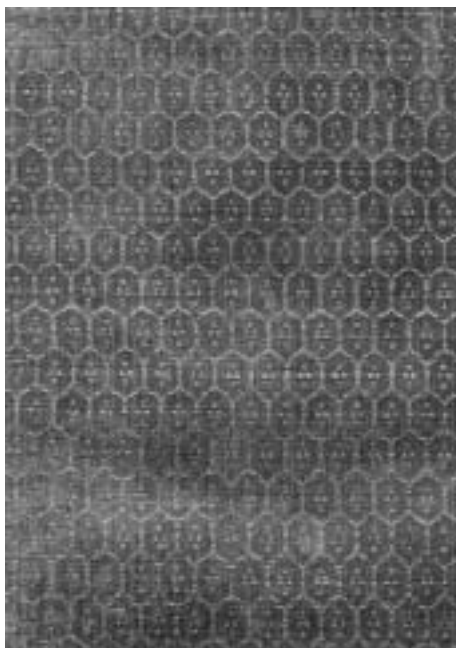
33 〔菱繋ぎ〕
『言文一致』明治19刊
当館蔵マ5-35



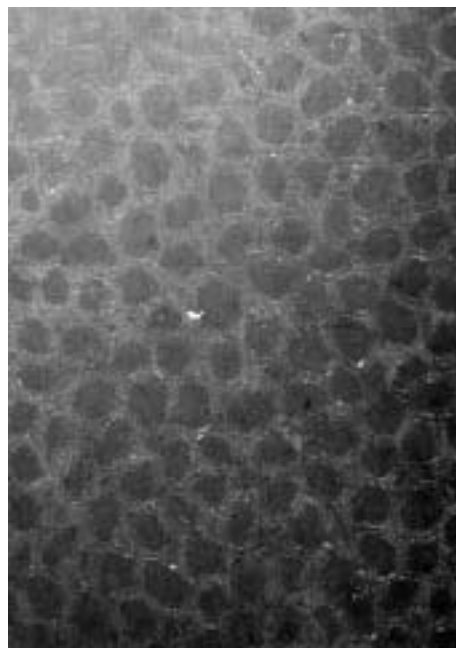
36 氷割れ亀甲
『狂歌三才拾遺』江戸後期刊
当館蔵ナ2-148



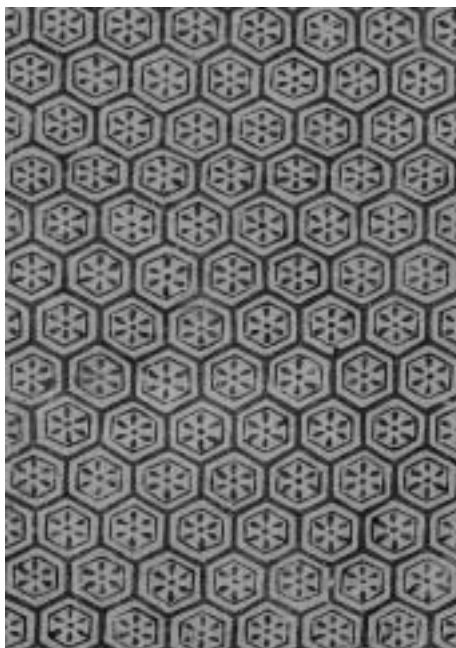
35 毘沙門亀甲地に小桜と若松の丸散し
『周防内侍』江戸後期刊
当館蔵ナ4-17



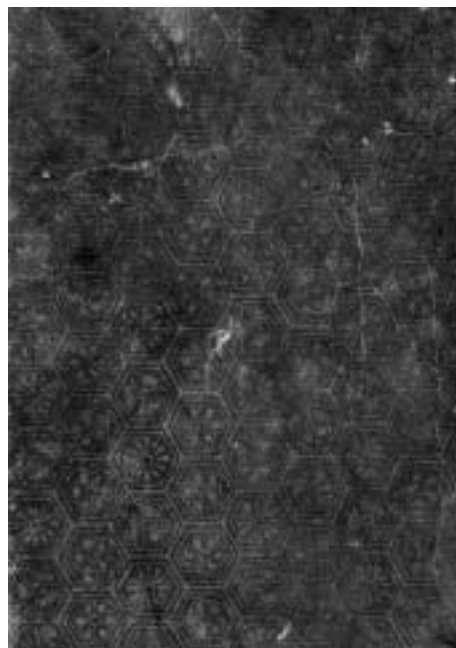
38 割小菱亀甲繫ぎ
『徒然草』江戸前期写
当館蔵2



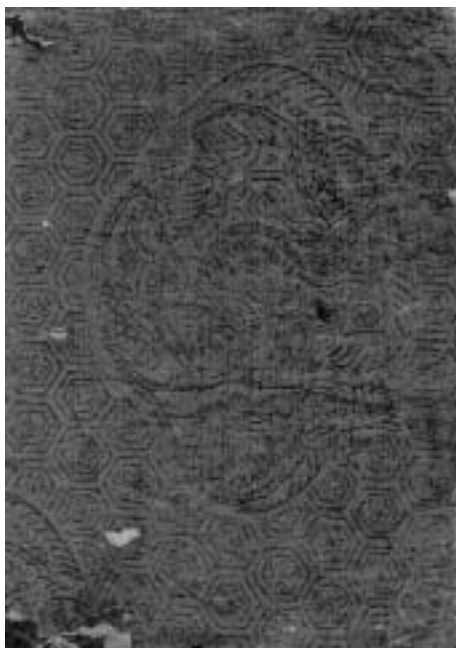
37 氷割れ亀甲
『和漢俳諧集』文政13序・刊
当館蔵ナ3-111



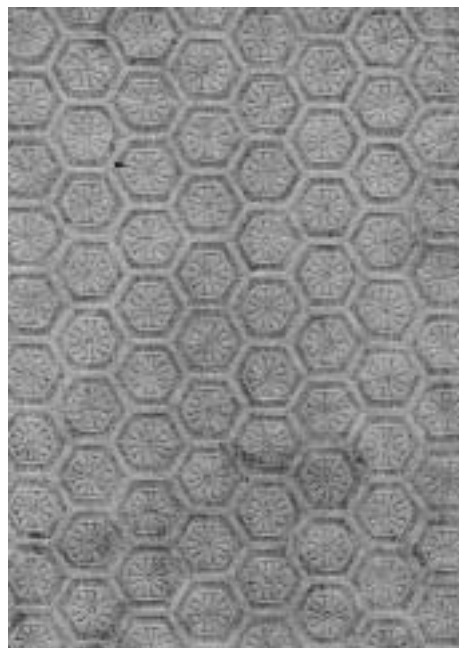
40 花文二重亀甲繫ぎ
『狂歌波津加蛭子』江戸後期刊
当館蔵ナ2-40



39 花文二重亀甲繫ぎ
『馬士の歌囊』文化4刊
当館蔵ナ4-334



42 花文（鉄線）二重亀甲繫ぎに竜
『二人びくに』宝永7刊
当館蔵ナ4-409



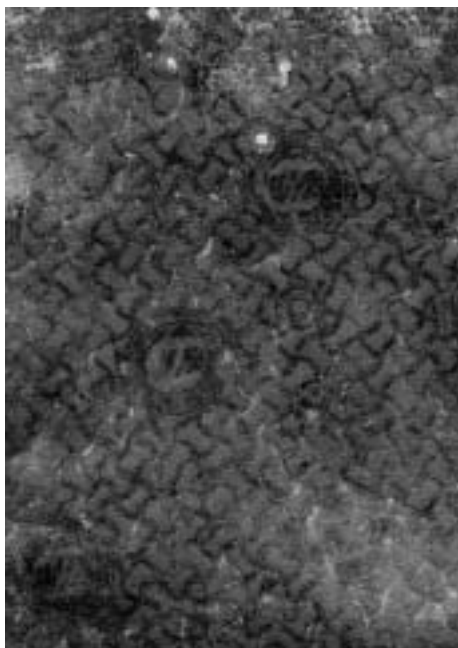
41 菊花二重亀甲繫ぎ
『世中百首絵抄』天保6序・刊
当館蔵ナ2-192



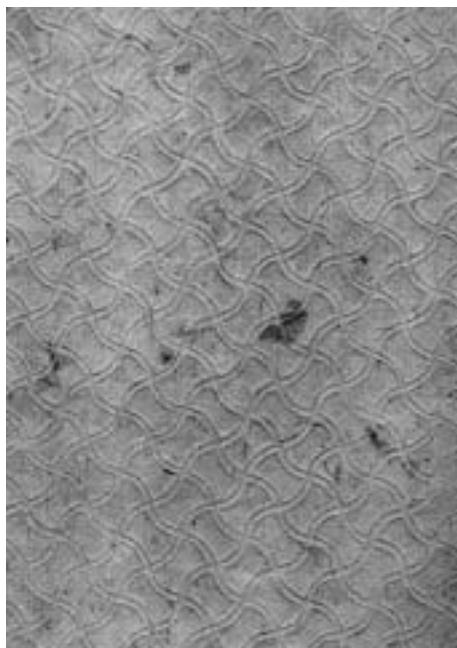
44 〔亀甲文・花文〕
『詠歌大概』江戸中期写
当館蔵タ2-219



43 〔桜の丸・亀甲など〕
『粹興奇人伝』文久3序・刊
当館蔵ナ4-358



46 分銅繋ぎ地に宝尽し
『明和改正謡本』明和2刊
当館蔵夕7-6



45 分銅繋ぎ
『鶉衣』天保12刊
当館蔵ナ3-41



48 浮線綾散し
『伊勢物語題号考』天保15序・刊
当館蔵262



47 浮線綾と東六条藤散し
『冠注大和物語』嘉永6刊
当館蔵12-444



50 浮線綾散し
『詞玉橋』嘉永7写
当館蔵518



49 浮線綾散し
『伊勢物語題号考』弘化4刊
当館蔵12-432



52 丁子立涌
『兵家紀聞』弘化4刊
当館蔵ヤ8-30



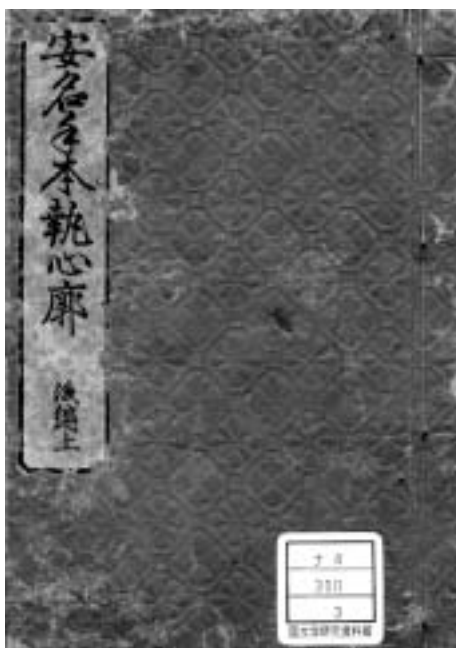
51 八つ瓢立涌
『画口合瓢之蔓』嘉永4刊
当館蔵ナ3-50



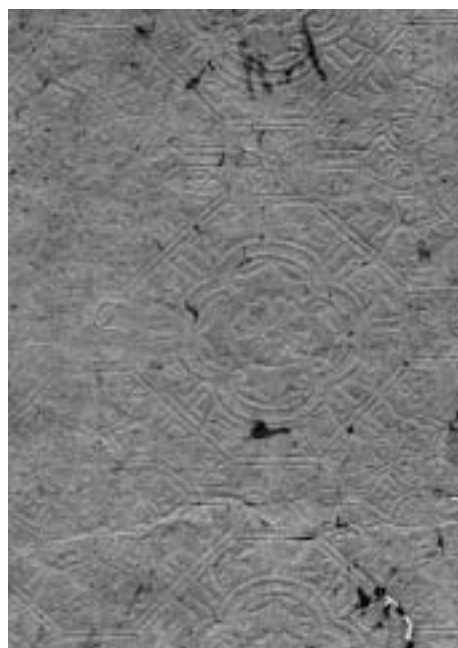
54 蜀江錦
『徒然要草』天明3刊
当館蔵夕5-115



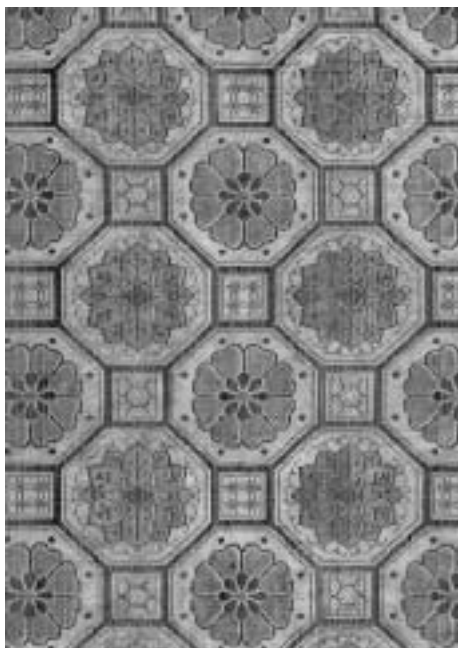
53 雲立涌
『百人一首一夕話』天保4刊
当館蔵夕2-48



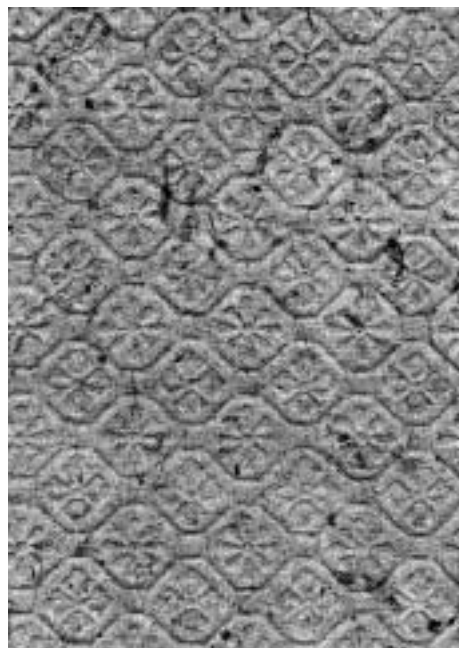
56 蜀江錦
『安名手本執心廓』幕末刊
当館蔵ナ4-310



55 蜀江錦
『懷風藻』宝永2刊
当館蔵力8-2



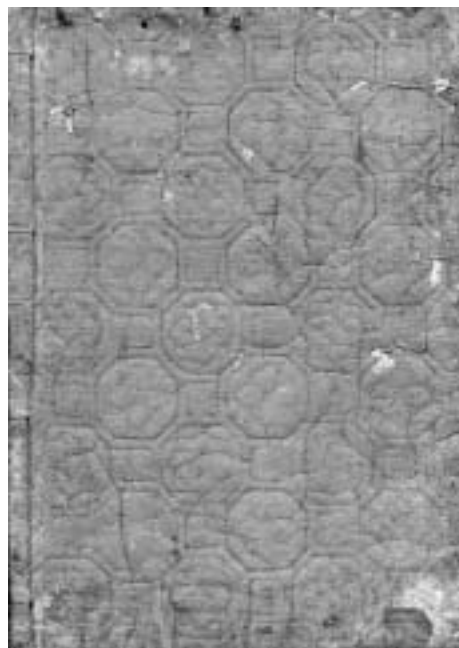
58 蜀江錦
『草庵和歌集』江戸前期写
当館蔵7



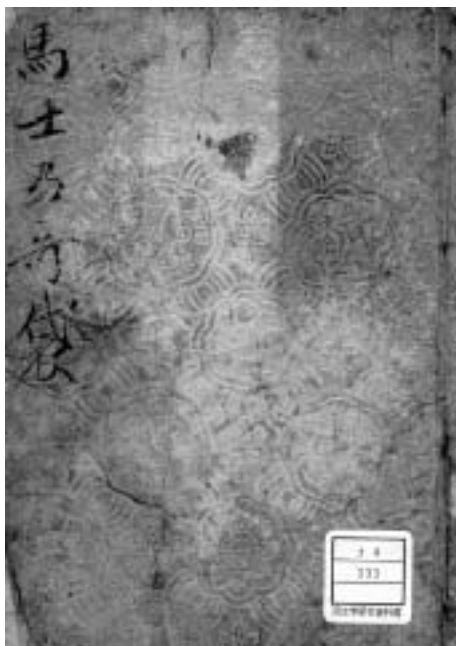
57 蜀江錦
『校正新安手簡』天明7跋・刊
当館蔵ヤ5-38



60 色違い刷毛目刷に蜀江錦
『さかの記』宝暦10写
当館蔵ナ2-69



59 絵文字蜀江錦
『随掃集』天明5写
個人蔵



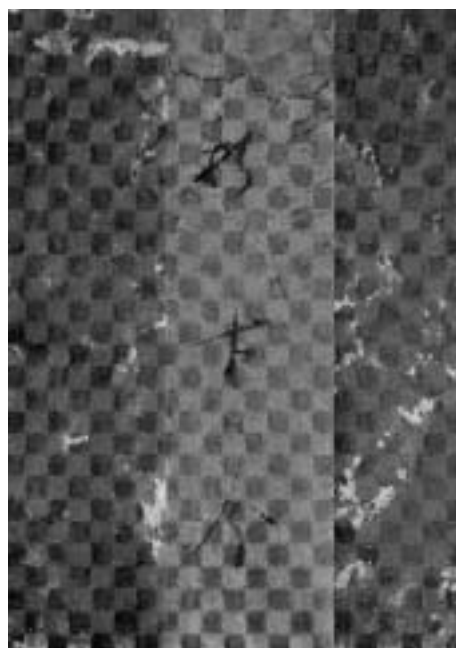
62 窠文繫ぎ
『馬士の歌囊』幕末明治期写
当館蔵ナ4-333



61 唐花蜀江錦（蜀江花菱文）に雲と鳳凰
『傾城買二筋道三篇宵の程』幕末刊
当館蔵ナ4-401



64 市松文様
『鷹百首・鷹詞連歌・白鷹記』江戸後期写
当館蔵夕0-1



63 石畳
『新古今（古今和歌集卷十五）』
江戸前期写
個人蔵



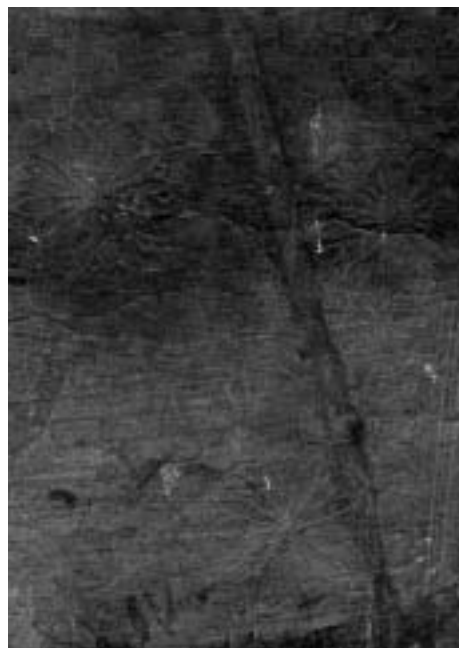
66 市松文様に秋草
『源重之女集』江戸中期写
当館蔵12-287



65 市松文様〔輪違いと巻物〕
『三部抄』〔享和3〕写
当館蔵529



68 段繫ぎ地に花桐文
『新百人一首』江戸前期写
当館蔵夕2-66



67 霰地に菊花文
『百人一首抄』江戸後期刊
当館蔵夕2-2



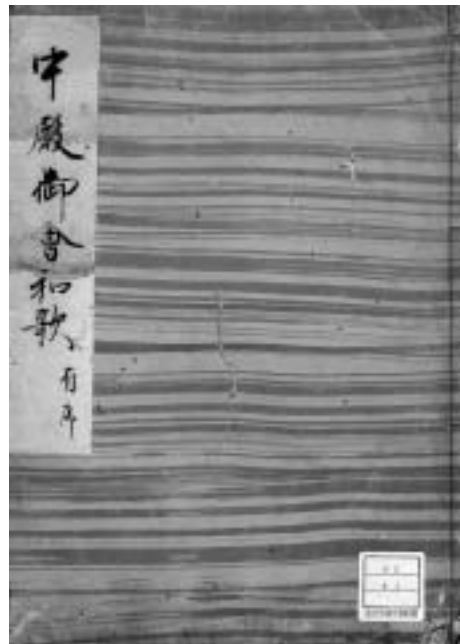
70 変り板目
『扁額軌範』文政4序・刊
当館蔵ヤ8-11



69 段繫ぎ(羽状文類似)
『能因歌枕』元禄9刊
当館蔵12-346



72 横刷毛目
『謡曲身延』江戸中期写
当館蔵414(田安家本)



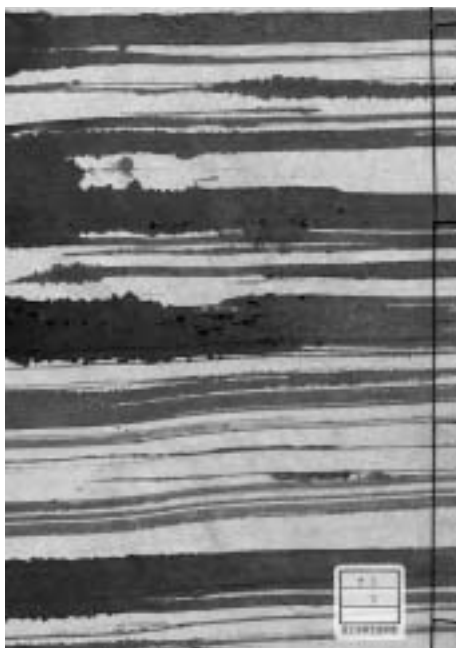
71 横刷毛目
『中殿御會和歌(貞治六年)』江戸後期写
当館蔵夕2-11



74 横刷毛目（霞引）に桜
『さくら合』天明2刊
当館蔵ナ2-240



73 横刷毛目
『謡曲日高川』江戸中期写
当館蔵414（田安家本）



76 横刷毛目（渋引）
『御船歌』江戸後期写
当館蔵ナ1-1



75 横刷毛目（霞引）
『注入伊勢物語』江戸中期刊
当館蔵12-407



78 横刷毛目に「蔵」「應」等の文字
『訓蒙窮理図解』慶応4序・刊
当館蔵362



77 横刷毛目(丁子引)
『浜松中納言物語』江戸後期写
当館蔵サ4-10



80 縦刷毛目
『萬葉集僻案抄』大正10写
当館蔵力2-12



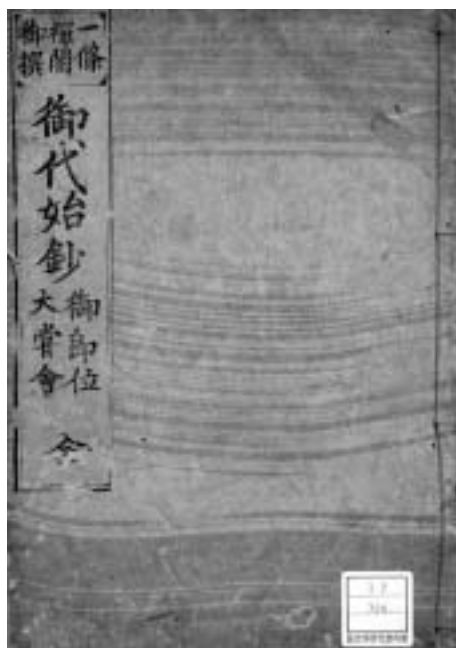
79 横刷毛目に打曇り
『花暦八笑人』文政11刊
当館蔵ナ4-11



82 縦刷毛目（渋引）
『勝地吐懐編』寛政4刊
当館蔵ナ2-4



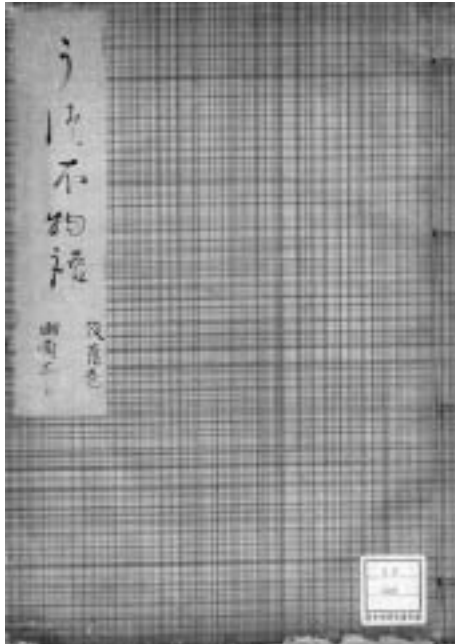
81 縦刷毛目（渋引）
『むぐら』文政11写
当館蔵540



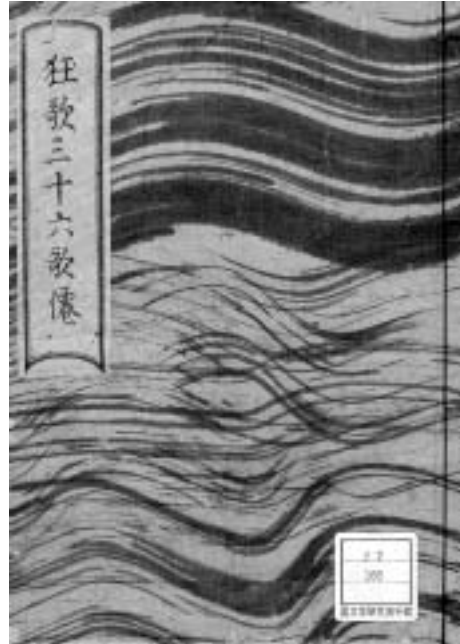
84 波刷毛目
『御代始鈔（代始和抄）』宝永8刊
当館蔵12-724



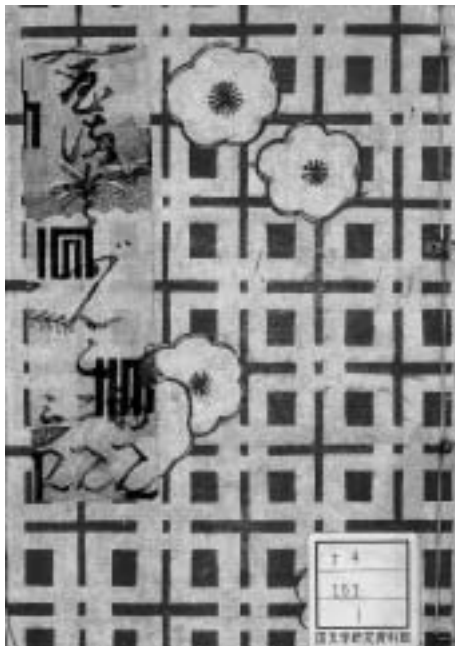
83 斜刷毛目（渋引）
『徒然草』正保2刊
当館蔵夕5-37



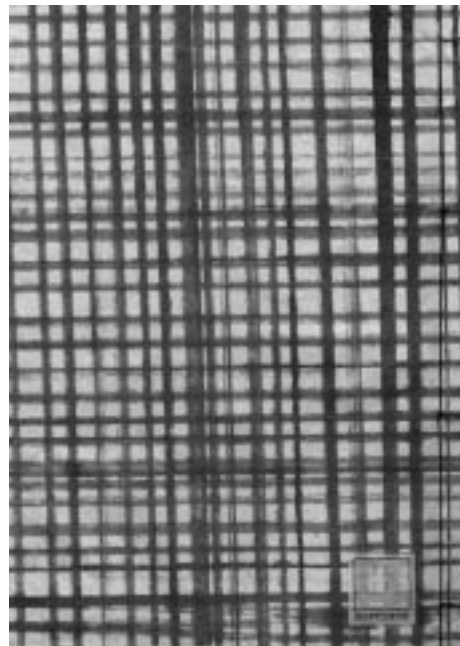
86 格子刷毛目
『うつほ物語俊蔭巻』近代写
当館蔵12-446



85 波刷毛目
『狂歌三十六歌僊』文政5刊
当館蔵ナ2-166



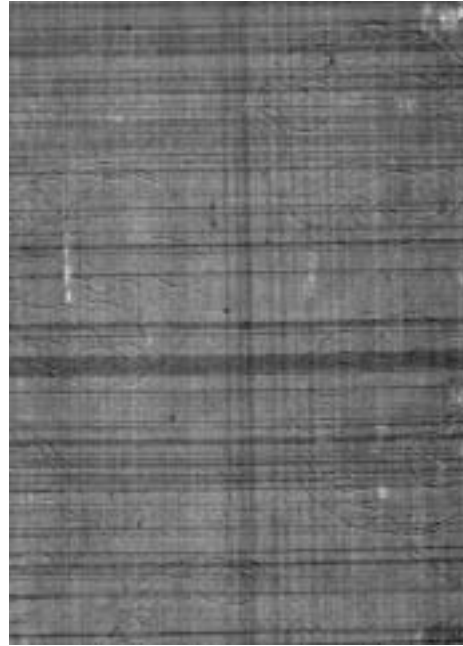
88 六弥太格子地に梅花散し
『釈迦八相倭文庫』幕末刊
当館蔵ナ4-151



87 渋引格子
『百人一首螢火編』江戸後期写
当館蔵夕2-71



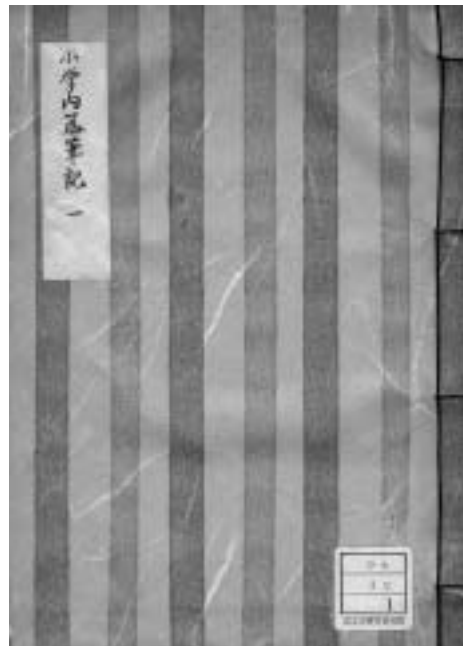
90 唐棧縞〔棒縞〕
『百人一首和歌始衣抄』天明7刊
当館蔵ナ4-359



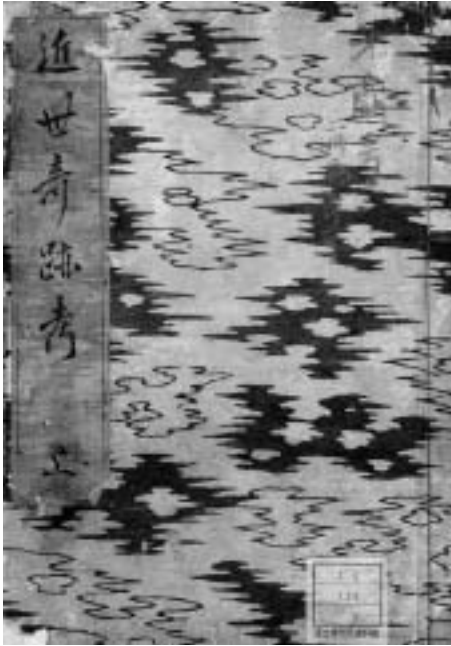
89 丁子格子縞に山帰來の丸
『名所今歌集』近代写
当館蔵ナ2-332



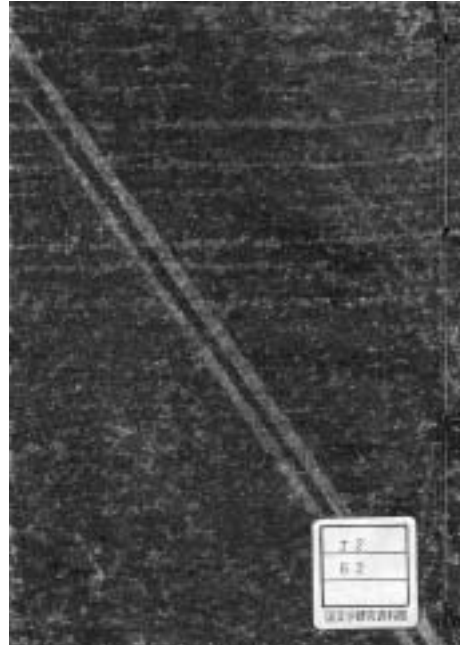
92 布目地に横千筋縞
『空谷伝声集』文久元序・刊
当館蔵ナ2-210



91 色変り棒縞
『小学内篇筆記』弘化3写
当館蔵ワ6-30



94 朽木雲
『近世奇跡考』文化元序・刊
当館蔵ナ5-134



93 金砂子地に斜線
『狂歌撰集牆之外』江戸後期刊
当館蔵ナ2-62



96 檀紙
『標註枕草子讀本』明治28刊
当館蔵561



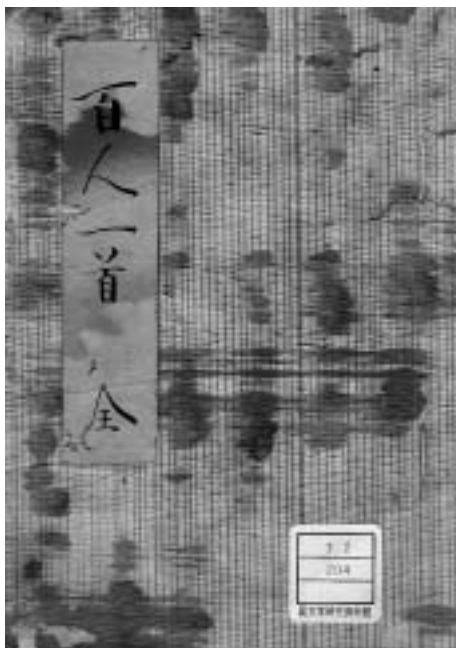
95 檀紙
『打聽鶯蛙集』嘉永5序・刊
当館蔵ナ2-118



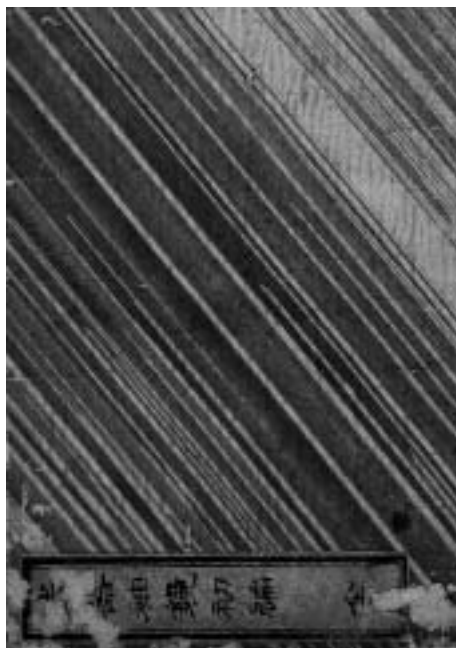
98 檀紙に金切箔銀砂子散し
『重修茶花物語系図』天保3刊
当館蔵12-611



97 〔檀紙〕
『繪本一休噺』江戸後期刊
当館蔵ナ4-157



100 檀紙に縦線と横刷毛目(波引)
『百人一首』江戸後期写
当館蔵ナ2-204



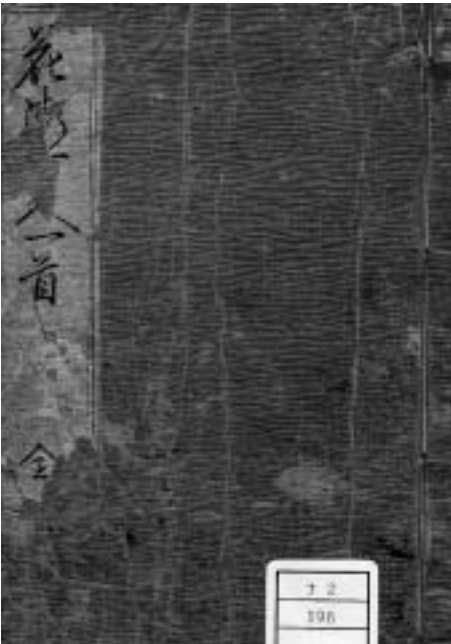
99 檀紙に斜刷毛目
『武器袖鏡』天保14刊
当館蔵ラ8-14



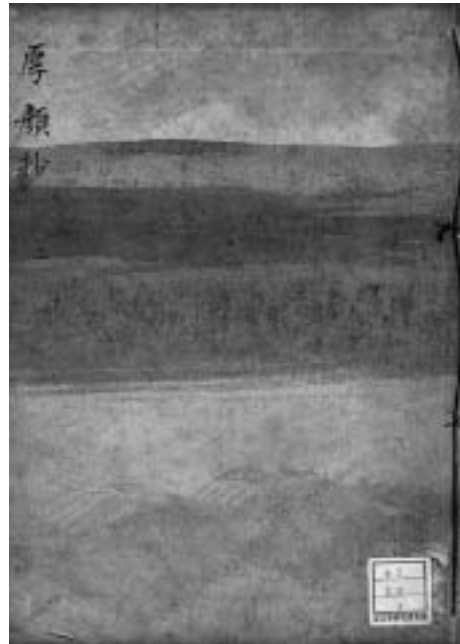
102 横檀紙に縦刷毛目
『頭書古今和歌集遠鏡』天保14刊
当館蔵12-126



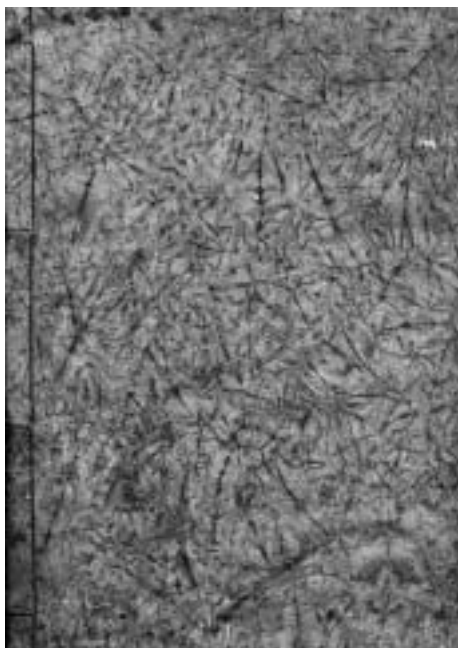
101 横檀紙に横刷毛目
『刀剣図考』天保14刊
当館蔵ラ8-12



104 縦檀紙に銀砂子散し
『花街百人一首』安政3序・刊
当館蔵ナ2-196



103 縦檀紙に渋引
『厚顔抄』江戸後期写
当館蔵力2-20



106 揉紙文様檀紙

『国歌八論』江戸後期写
当館蔵ナ2-186



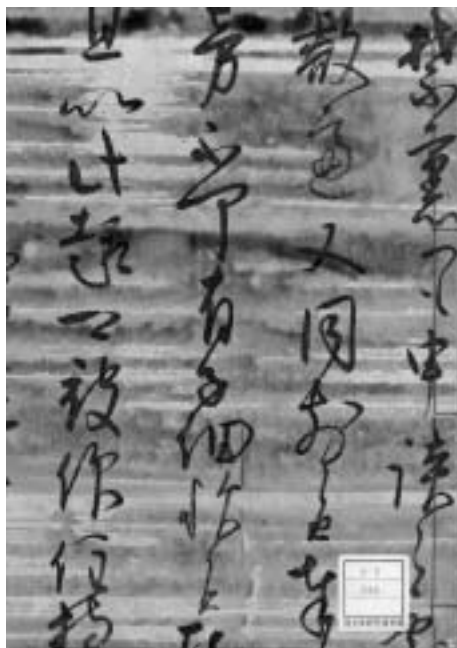
105 揉紙文様

『奥細道菅菰抄』安政7刊
当館蔵ナ3-36



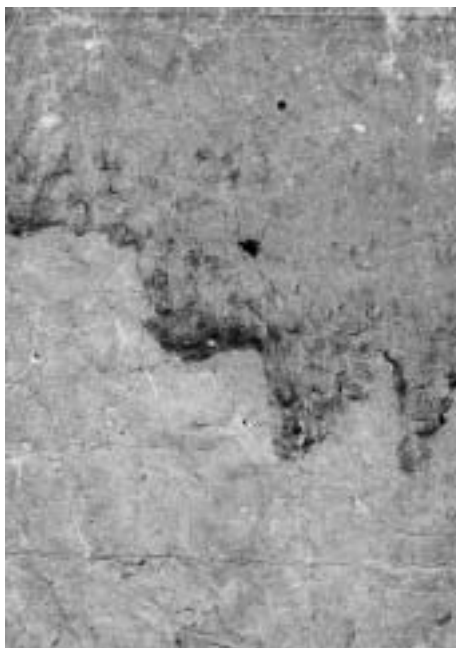
108 打畳り

『兵法雄鑑』江戸中期写
当館蔵532



107 消息文に洪引

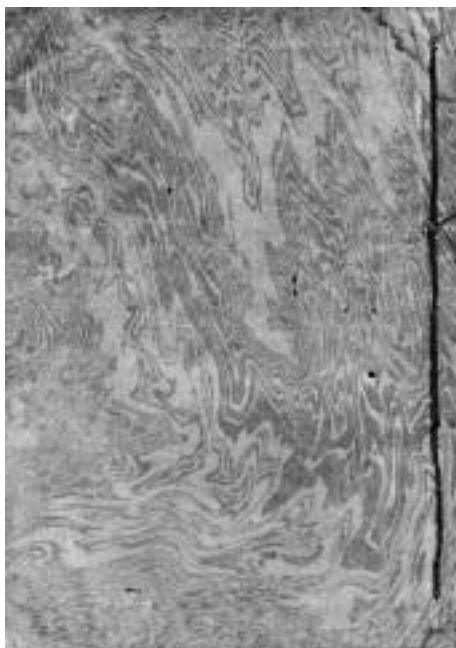
『扶桑画譜』江戸後期刊
当館蔵ナ2-246



110 打曇り
『古今集注』文明9写
当館蔵サ2-20



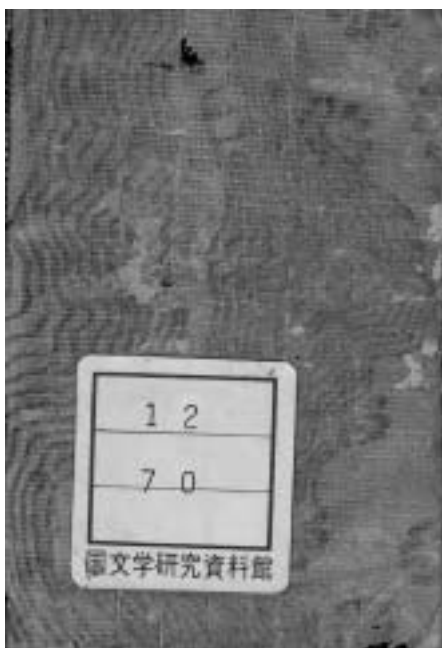
109 打曇り
『師兼千首』江戸前期写
当館蔵夕2-54



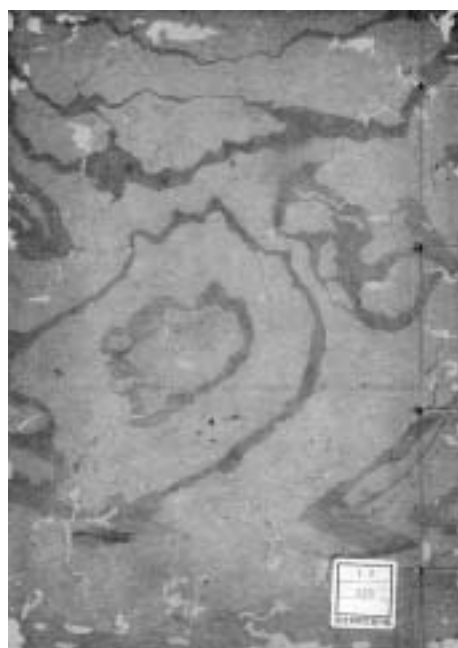
112 墨流し
『源氏物語』江戸中期刊
当館蔵サ4-33



111 墨流し
『竹取物語抄』天明4刊
当館蔵サ4-7



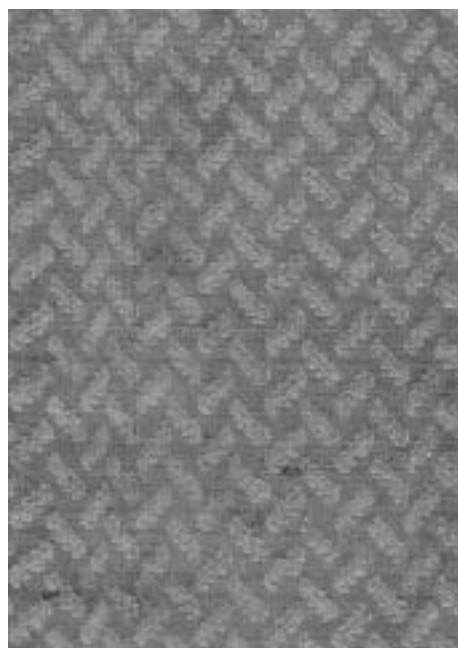
114 墨流し
『古今和歌集』享保2刊
当館蔵12-70



113 墨流し
『仮名遣相伝之事つづらおりかなづかひ』江戸後期写
当館蔵12-220



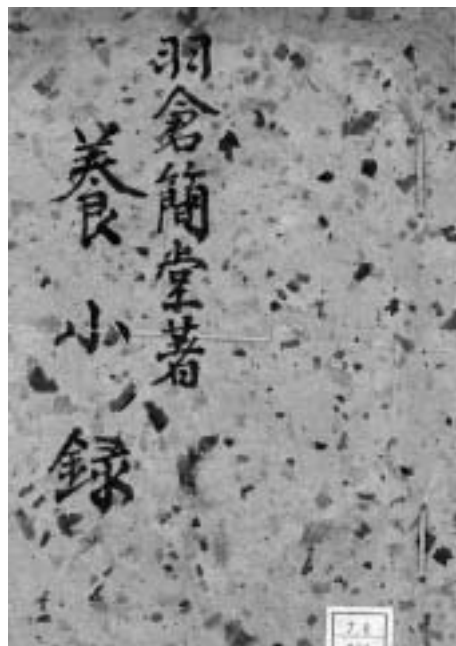
116 松葉散し
『狂歌色紙小倉形』江戸後期刊
当館蔵ナ2-160



115 〔桧垣文類似〕
『後撰和歌集』江戸初期写
当館蔵サ2-29



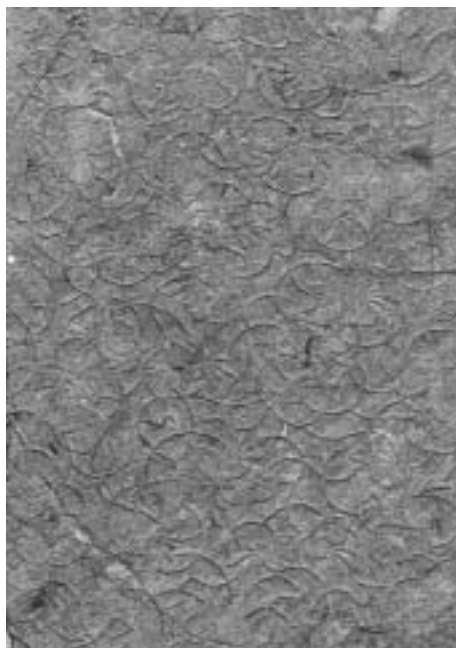
118 銀砂子散し地に桜樹
『無雙相鬘語』江戸後期刊
当館蔵ナ4-316



117 金銀切箔散し
『養小録』安政5序・刊
当館蔵ナ8-216



120 点字地に蜻蛉・舟・雁の扇形、草花の丸
『基綱集(卑懐集)』江戸前期写
当館蔵夕2-199



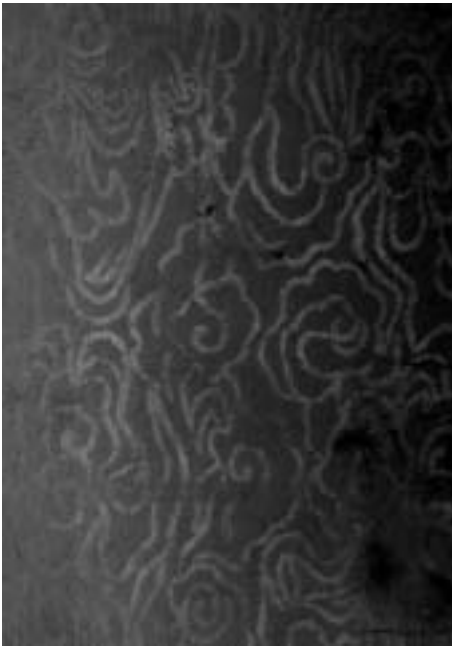
119 円繋ぎ類似文様に草花
『新版絵入つれづれ草』元文5刊
当館蔵夕5-42



122 〔格子類似〕
『如童詩稿』明治期写
当館蔵ナ8-262



121 籠目
『実語教画本』明治期刊
個人蔵



124 卷雲
『土佐日記考証』明治期刊
当館蔵264



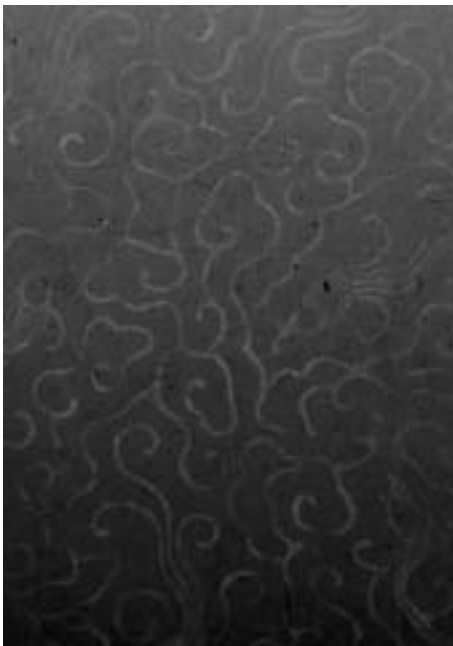
123 〔菱・丸文〕
『賀茂翁歌集』享和元序・刊
当館蔵ナ2-12



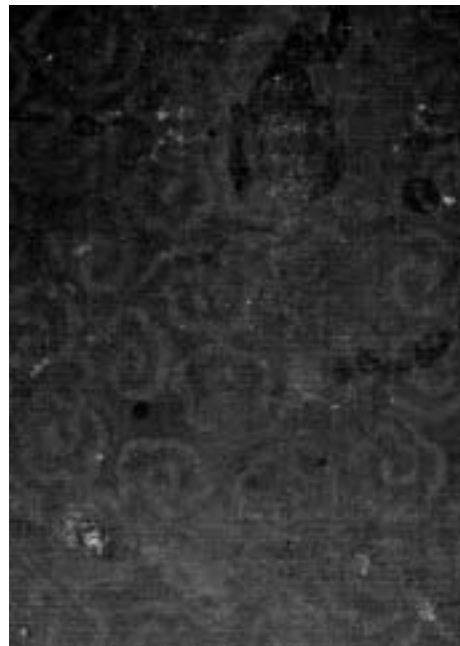
126 卷雲（靈芝雲文）に牡丹
『動雅高麗責』江戸中期刊
当館蔵ナ7-14



125 卷雲
『載陽帖』文政9年刊
個人蔵



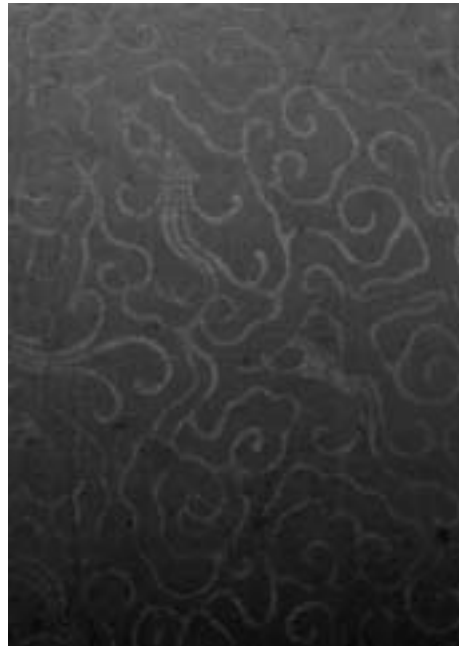
128 雲に宝珠
『権跡古今集歌切』文政4刊
当館蔵12-204



127 布目地に渦卷雲
『耐軒詩草』万延元刊
当館蔵ナ8-231



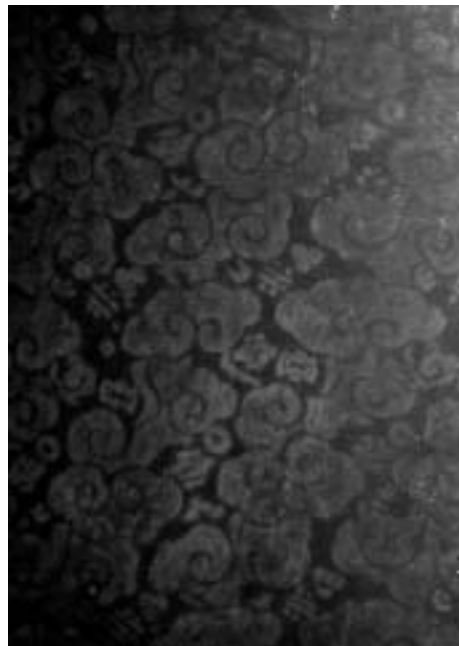
130 雲文
『類題狂歌濱荻集』文化9刊
当館蔵ナ2-32



129 雲に宝珠
『貫之卿筆古今和歌集卷第十八』
江戸後期刊
当館蔵12-33



132 飛雲に天使の丸
『繪本通俗三國志』江戸後期刊
当館蔵ナ4-289



131 瑞雲に宝尽し
『明和改正謡本』明和2刊
当館蔵夕7-6



134 布目地に朽木雲
『源氏物語忍草』天保5序・刊
当館蔵ナ4-2



133 朽木雲
『近世奇跡考』幕末明治期刊
当館蔵ナ5-141



136 〔唐扇に雲〕
『三玉集』文政12序・刊
当館蔵ナ2-152



135 〔雲文〕
『白山参詣方言修行金草鞋』
文政12序・刊
当館蔵ナ4-35



138 金砂子に箔をもつて描いた雲霞
『三部抄』室町末期写
当館蔵530



137 雲霞
『狂歌卯の巻』幕末刊
当館蔵ナ2-231



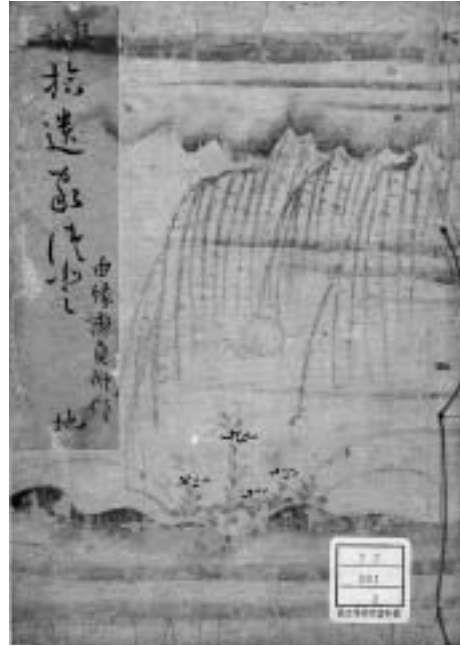
140 月に杵
『俳諧歌朱雀集』江戸後期刊
当館蔵ナ2-174



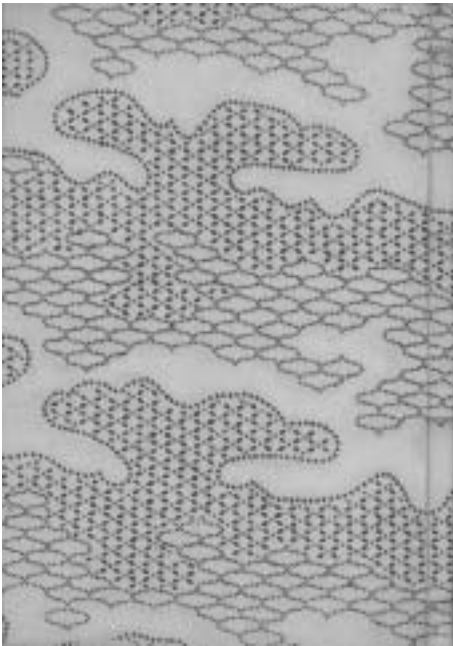
139 雲霞に草花
『新勅撰和歌集』江戸前期写
当館蔵533



142 花筏（流水に桜花・筏）
『吉野百首』江戸後期刊
当館蔵タ2-163



141 布目地に柳と流水
『狂歌拾遺家土産』宝暦8刊
当館蔵ナ2-281



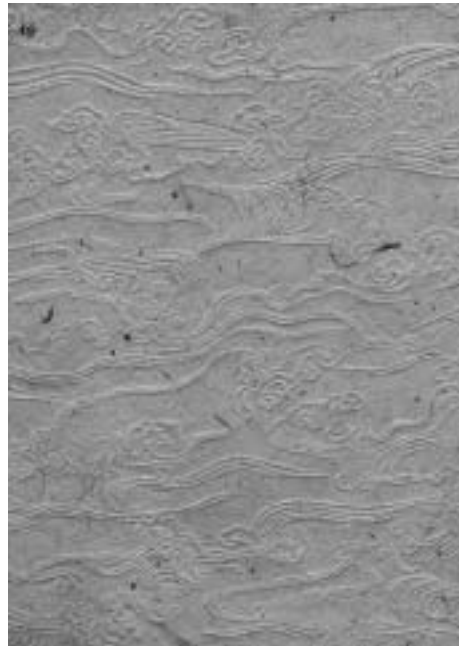
144 七宝繋ぎ地に洲浜形
『五番綴観世流謡本』江戸中期写
当館蔵414（田安家本）



143 海賦文（波に舟と松原）
『葵花集抜書』江戸後期写
当館蔵ナ2-128



146 波濤
『柿本朝臣人麿勘文』万治2写
当館蔵タ2-86



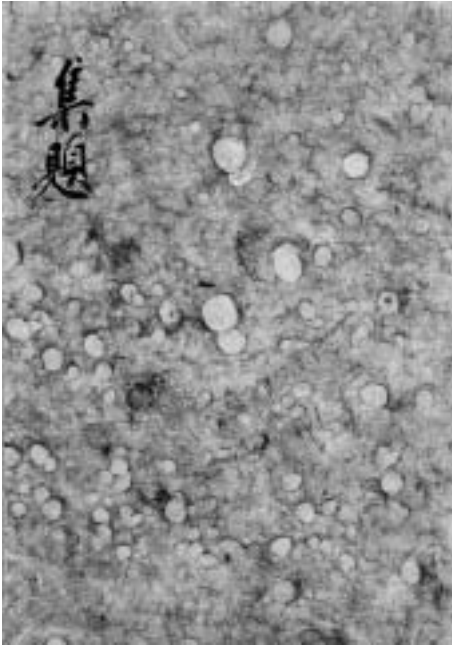
145 波濤
『徂徠先生答問書』享保12刊
当館蔵ヤ5-10



148 雨に散る桜花と松
『濤花集』文政13刊
当館蔵ナ2-169



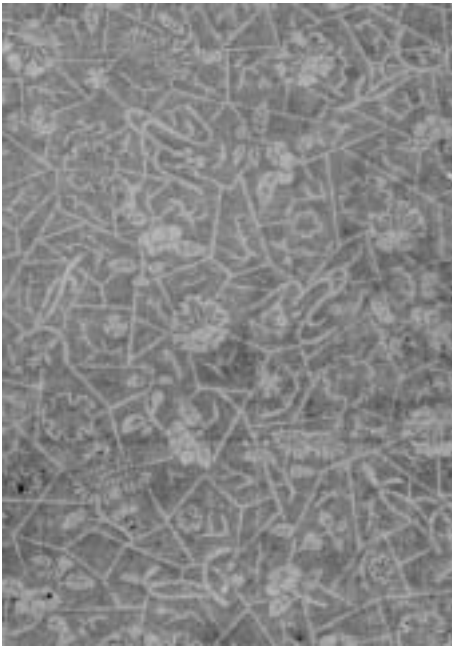
147 青海波に千鳥散し
『不里和気髪(振分髪)』江戸後期写
当館蔵ナ2-327



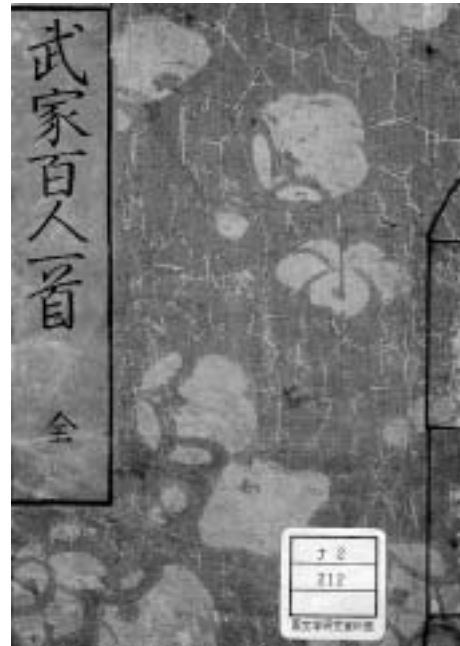
150 水玉
『集題』江戸前期写
個人蔵



149 雪と雪持松
『松下亭終焉之記』他 文政8序・刊
当館蔵ナ2-234



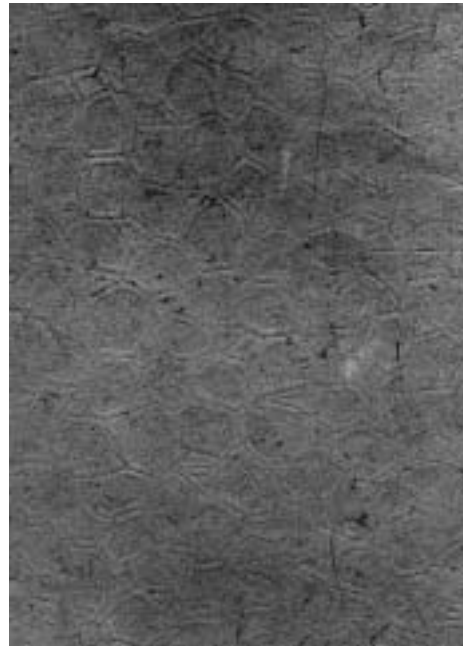
152 氷割れに草花文
『享保弍十年五月廿四日政宗卿百年
忌勸進和歌』江戸後期写
当館蔵ナ2-291



151 氷割れに梅花
『武家百人一首』明治期刊
当館蔵ナ2-212



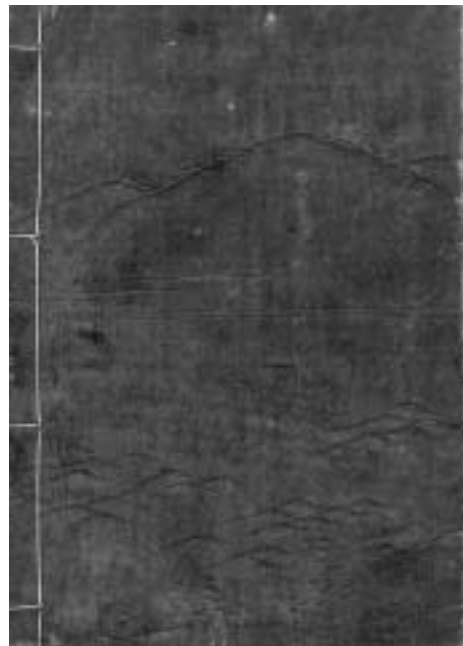
154 遠山文
『繪本彦山權現靈驗記』明治期刊
当館蔵ナ4-438



153 氷割れ亀甲
『信濃奇談』文政12序・刊
当館蔵ヤ6-171



156 遠山樹木に殿舎・瓢箪・秋草
『新後拾遺和歌集』江戸前期写
当館蔵夕2-47



155 遠山霞と波に帆掛舟や松原の風景
『諸国道中金草鞋』明治期刊
当館蔵ナ4-274



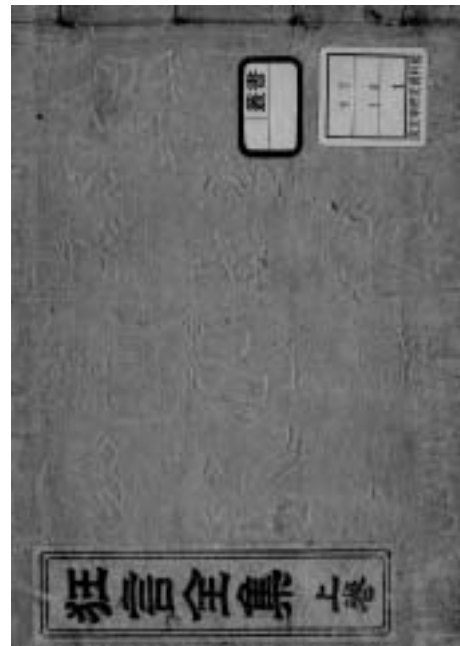
158 霞に稲田
『千載和歌集』江戸初期写
個人蔵



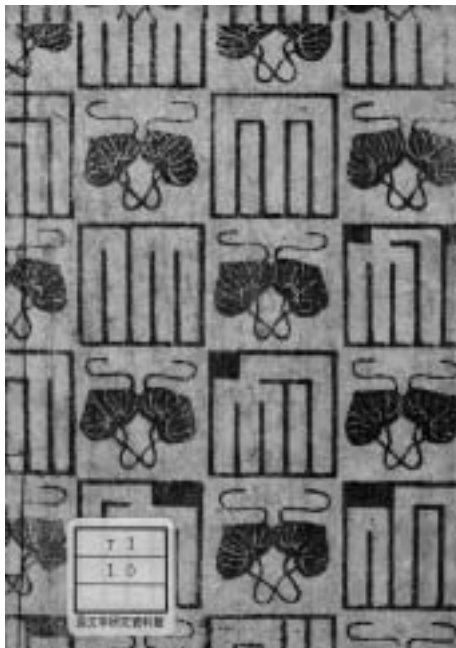
157 雲霞に遠山と松樹
『新後拾遺和歌集』江戸前期写
当館蔵夕2-47



160 〔往来人〕
『春色恵の花』天保7刊
当館蔵ナ4-199



159 布目地に狂言図
『狂言全集』明治36刊
当館蔵チ7-14



162 二葉葵と源氏香
『一寸俄』江戸末期刊
当館蔵ナ1-10



161 摺付表紙(源氏香・白拍子見立て)
『室町源氏胡蝶巻』幕末明治期刊
当館蔵12-498



164 輪鼓文
『都の手ぶり』文化6刊
当館蔵ナ5-125



163 布目地に輪鼓と源氏香(花散里)
『列儂列女画像集』文化7序・刊
当館蔵ナ2-168



166 雷文繫ぎ地に中開き三本傘
『昔語稲妻表紙』弘化3刊
当館蔵ナ4-228



165 扇面散し
『春色梅児誉美』天保3序・刊
当館蔵ナ4-199



168 〔羽根〕
『菟玖婆廻山口』天保4刊
当館蔵593



167 折鶴散し
『絵本金花談』江戸後期刊
当館蔵ナ4-8



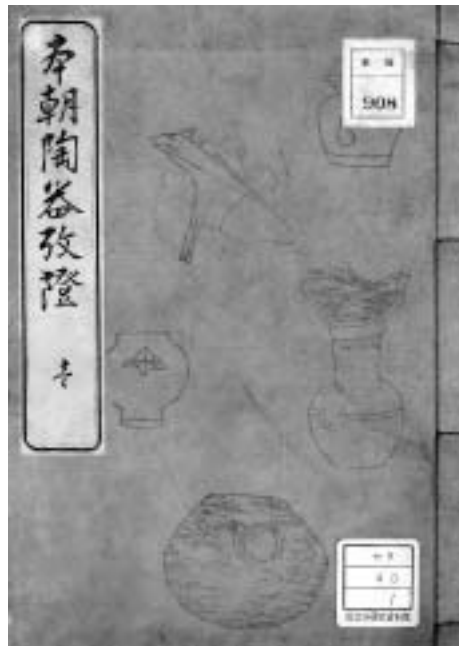
170 勾玉・釧・管状玉（古代装身具）
『前賢故実』天保7序・刊
当館蔵ヤ9-86



169 〔撥・琴柱など〕
『春色英対暖語』天保9刊
当館蔵ナ4-199



172 瀬戸物茶碗文
『春色辰巳園』天保4～6刊
当館蔵ナ4-199



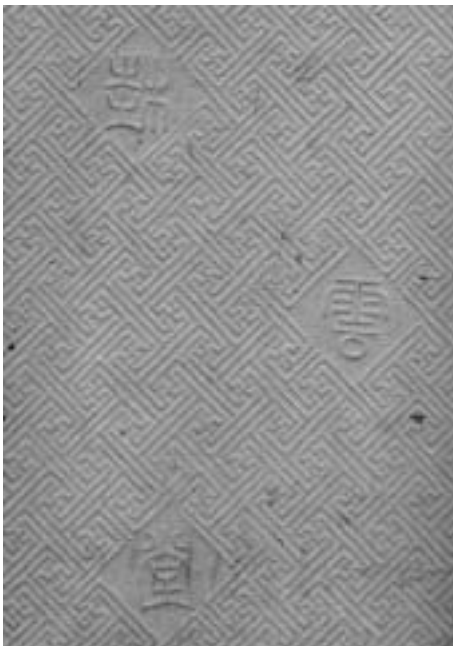
171 陶器文
『本朝陶器攷証』明治27刊
当館蔵ヤ9-40



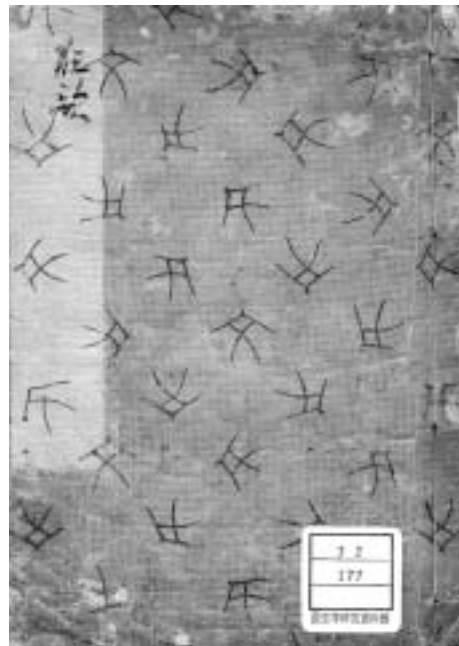
174 狐拳と洋盃
『春色辰巳園』天保6序・刊
当館蔵ナ4-199



173 国旗文
『西洋道中膝栗毛』明治3～5序・刊
当館蔵八4-1



176 卍繋ぎ地に「桂雲堂」の文字
『拙堂文集』明治14刊
当館蔵ナ8-133



175 布目地に「文」字散し
『狂歌手毎の花』文化9刊
当館蔵ナ2-177



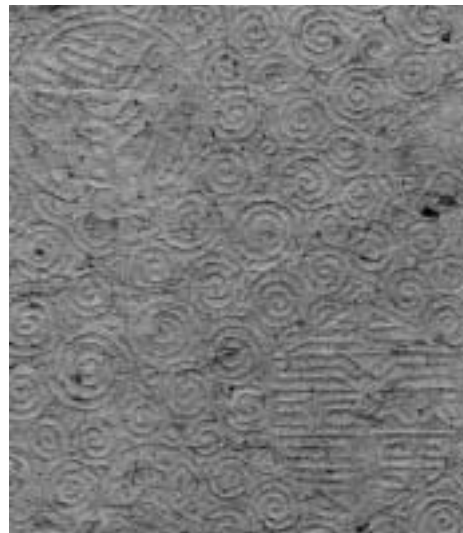
178 「月」の文字
『月濤抄』文政12序・刊
当館蔵ナ2-78



177 「並」字に流水
『開巻驚奇俠客伝』天保3刊
当館蔵ナ4-184



180 式亭三馬の印
『忠臣蔵偏癡氣論』明治15刊
当館蔵ナ4-261



179 渦巻文に丸字・亀甲字散し
『増補和漢合類大節用集』明治期刊
当館蔵マ3-22



182 鳳凰唐草
『明和改正謡本』明和2刊
当館蔵タ7-6



181 唐草
『臨池抄』文政10写
当館蔵ヤ8-28



184 桐唐草と鳳凰の丸
『松の葉』元禄16刊
当館蔵ナ1-3



183 布目地に鳳凰唐草
『源氏小鏡』文政6刊
当館蔵237



186 桐唐草
『為家集』江戸後期写
当館蔵夕2-38



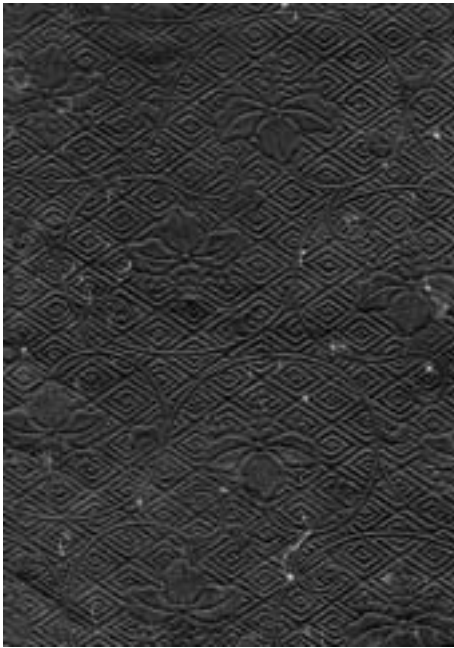
185 桐唐草
『新古今和歌集』江戸中期写
当館蔵夕2-15



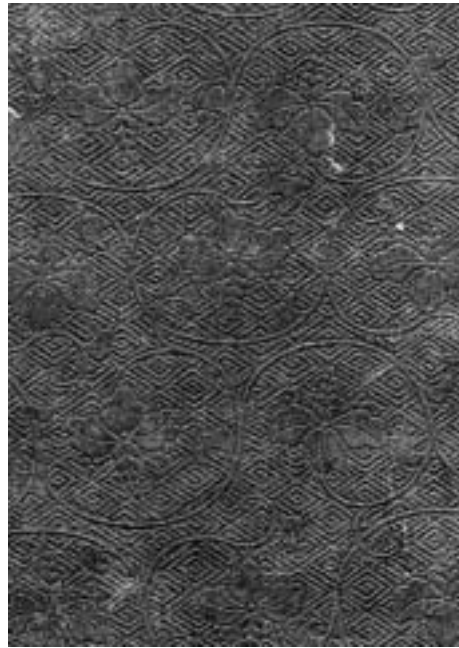
188 雷文繋ぎ地に桐唐草
『論語古義』文政12刊
当館蔵168



187 桐唐草
『新版絵入つれづれ草』元文5刊
当館蔵30



190 雷文繋ぎ地に桐唐草
『鄒魯大旨』享保10年序・刊
個人蔵



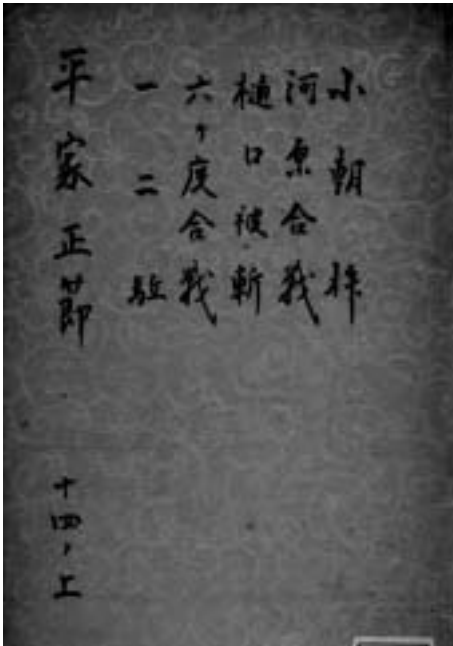
189 雷文繋ぎ地に桐唐草
『懷風藻』宝永2刊
当館蔵力8-4



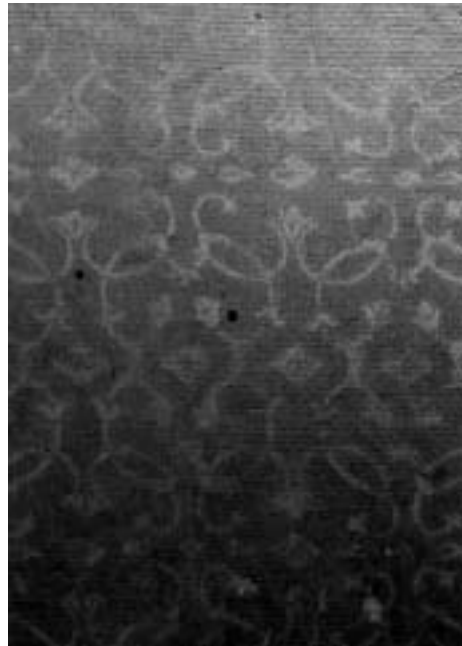
192 唐草襷に二重菱唐花
『正風躰抄・未来記』室町末期写
当館蔵527



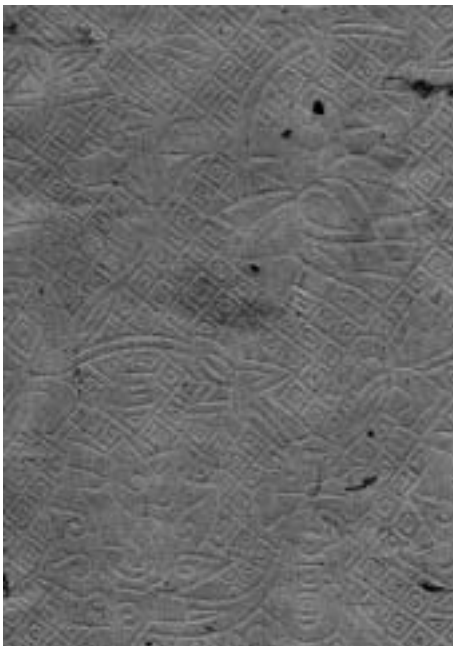
191 唐花唐草に浮線綾
『下懸囃謡大成』享和元刊
当館蔵夕7-4



194 桜唐草
『平家正節』江戸後期写
当館蔵タ4-20



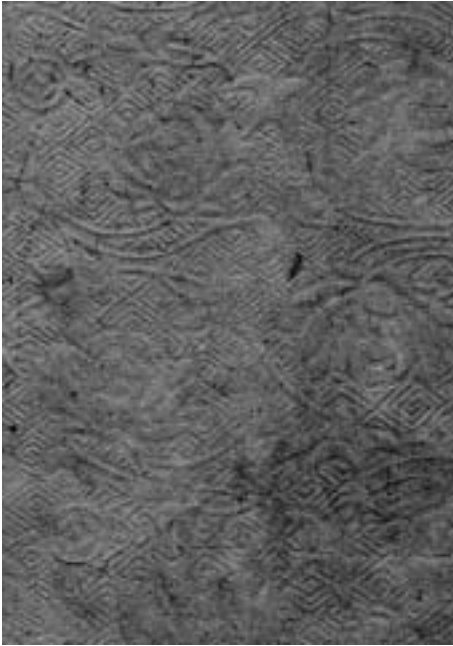
193 唐花唐草
『ふもとのしるべうた』文化9序・刊
当館蔵599



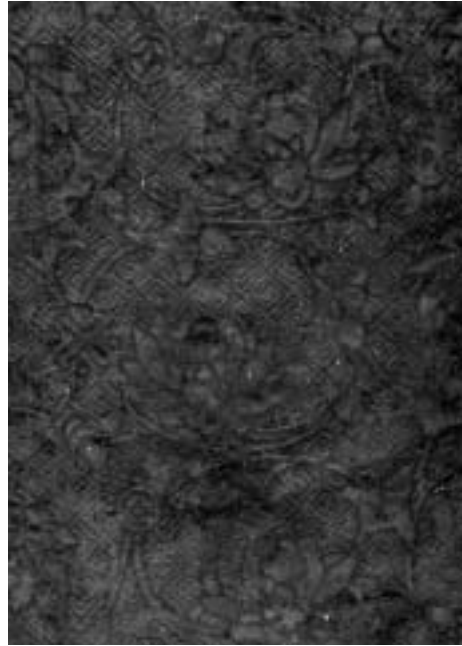
196 雷文繋ぎ地に蓮華唐草
『青丘詩鈔』明治期刊
当館蔵ラ4-1



195 蓮華唐花
『西行上人談抄』室町後期写
当館蔵ナ2-123



198 雷文繋ぎ地に蓮華唐草と宝尽し
(七宝・丁子・宝巻・鉞)
『十六夜日記』万治2版後刷
当館蔵夕5-114



197 雷文繋ぎ地に蓮華唐草と宝尽し
(七宝・丁子・宝巻・鉞)
『袖中抄』慶安4刊
当館蔵夕2-49



200 花勝美唐草
『花月草紙』江戸後期刊
当館蔵178



199 蓮華唐草に梅鉢散し
『徒然草』万治2刊
当館蔵17



202 雷文繋ぎ地に鉄線唐草
『八雲御抄』寛永12刊
当館蔵タ2-215



201 鉄線唐花唐草
『狂歌水滸伝』江戸後期刊
当館蔵ナ2-75



204 鉄線唐草
『源氏装束図式文化考』江戸後期写
当館蔵12-511



203 鉄線唐草
『十九友詩』天保6刊
当館蔵ナ8-269



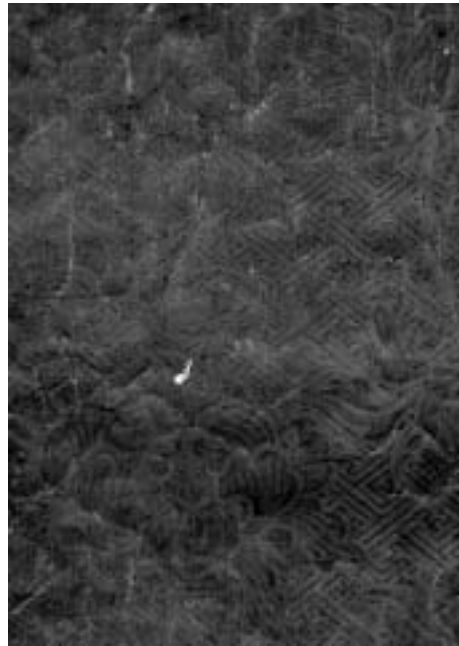
206 牡丹唐草
『住吉物語』(帙)江戸中期写
当館蔵夕4-33



205 牡丹唐草
『三位入道九十賀歌集(俊成卿九十
賀和歌)』江戸初期写
当館蔵534



208 牡丹唐草に雲珠
『新平家物語』(帙)元禄16刊
当館蔵ナ4-201



207 卍繋ぎ(紗綾形)地に牡丹唐草
『甲陽軍鑑』江戸中期刊
当館蔵ヤ9-98



210 卍繋ぎ鶴・牡丹唐花七宝・唐草に竜の丸・寿文字・連瓦文様に竜の丸
『未来記并雨中吟抄』江戸前期写
当館蔵タ2-10



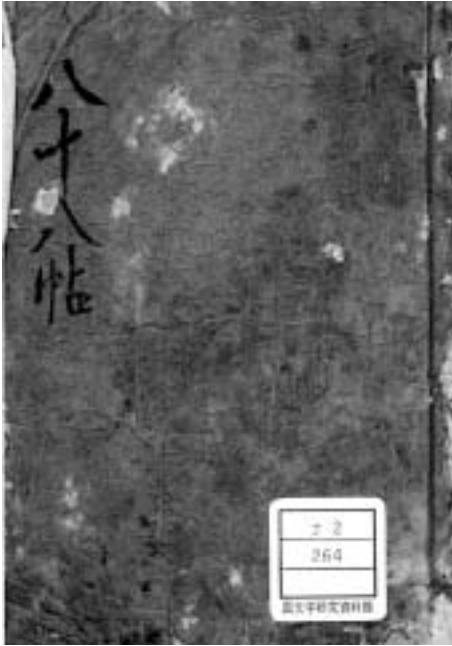
209 牡丹唐花と宝尽し(宝巻・丁子・鉞)
『撰集抄』(帙)古活字版
当館蔵タ4-21



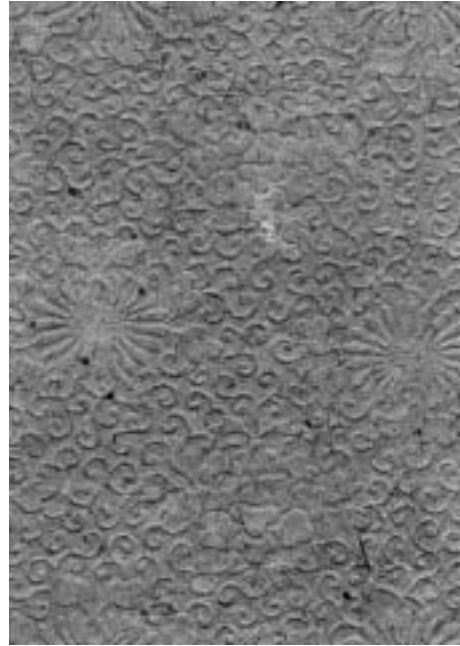
212 雷文禪地に牡丹と菊
『和歌古語深秘抄』元禄15年刊
当館蔵ナ2-106



211 牡丹薔薇等唐花
『新百人一首』(帙)江戸前期写
当館蔵タ2-66



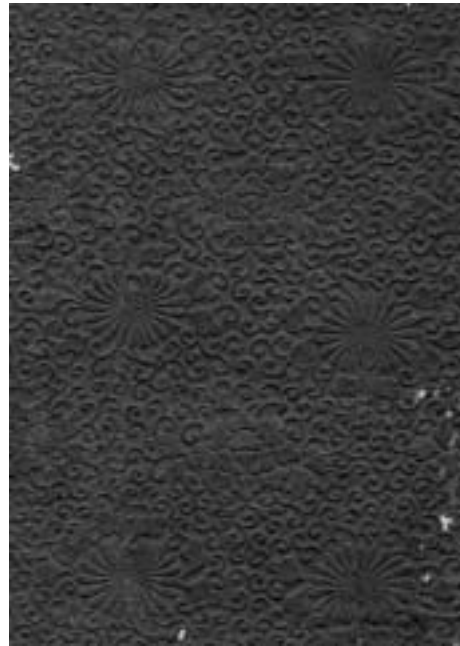
214 菊牡丹唐草
『八十八帖』江戸後期写
当館蔵ナ2-264



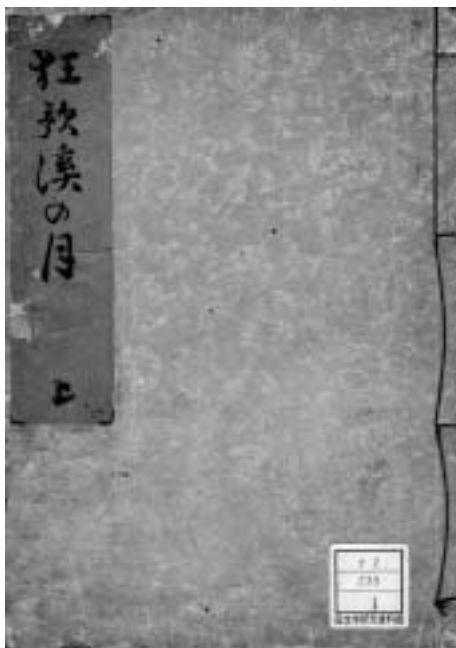
213 菊牡丹唐草
『首書徒然草』元禄3版後刷
当館蔵夕5-70



216 菊牡丹等唐草
『伊勢物語』(帙)室町末期写
当館蔵サ4-37



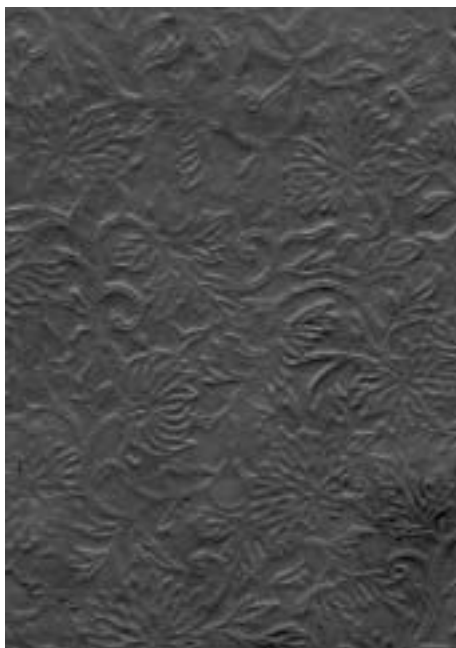
215 菊牡丹唐草
『国本論』江戸後期写
当館蔵448



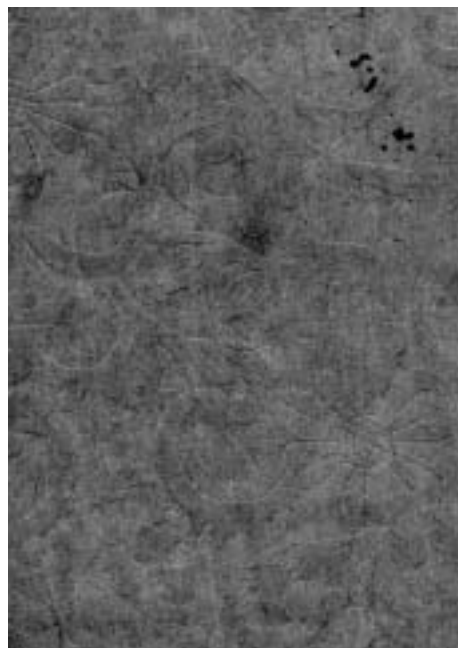
218 菊唐草
『狂歌溪の月』寛政7刊
当館蔵ナ2-239



217 菊唐草
『八代集抄』天和2刊
当館蔵ア2-2



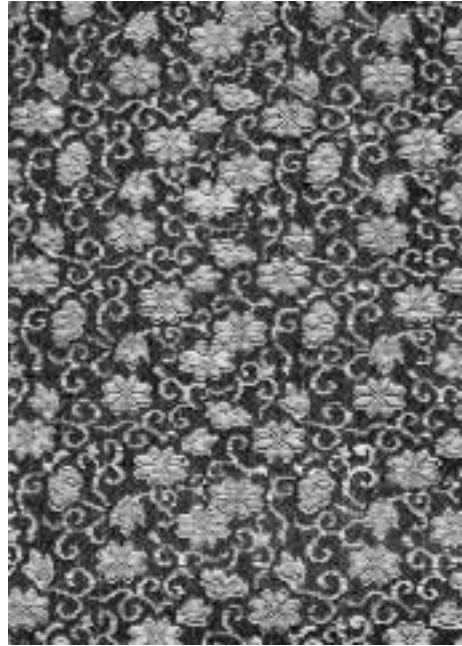
220 菊唐草
『扶桑皇統記図会』嘉永2序・刊
当館蔵ナ4-39



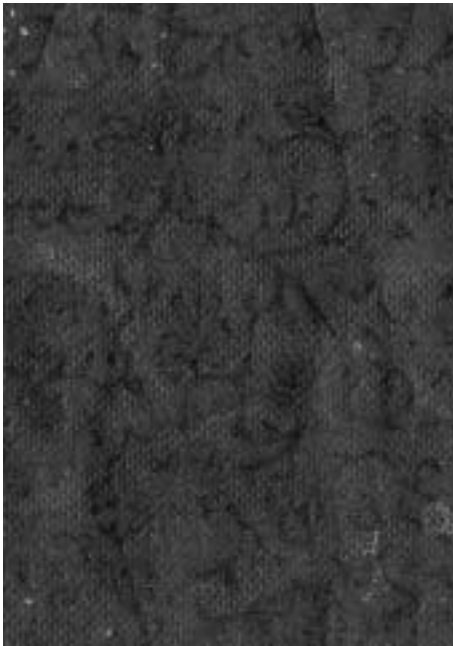
219 菊唐草
『官職補任図画凡例』寛延元序・刊
当館蔵ヤ7-33



222 菊唐草
『源氏大和繪鑑』江戸中期刊
当館蔵12-487



221 菊唐草
『百人一首』江戸前期写
当館蔵526



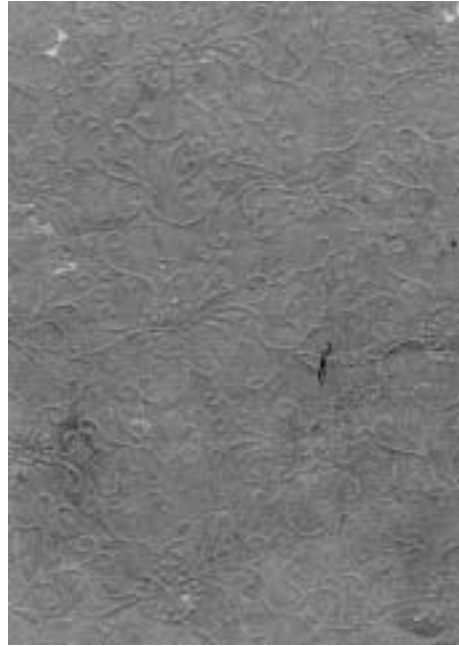
224 布目地に菊唐草
『俳諧御傘』万治2刊
当館蔵ナ3-37



223 布目地に菊唐草
『秀草』文政6・7写
当館蔵ナ2-183



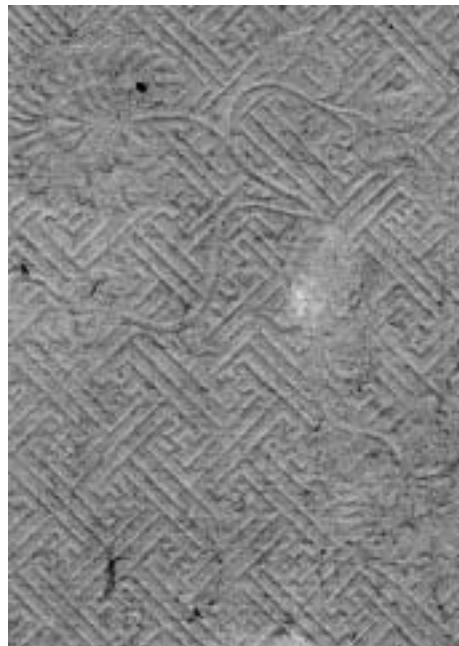
226 格子刷毛目に菊唐草
『狂歌初心抄』寛政2序・刊
当館蔵ナ2-68



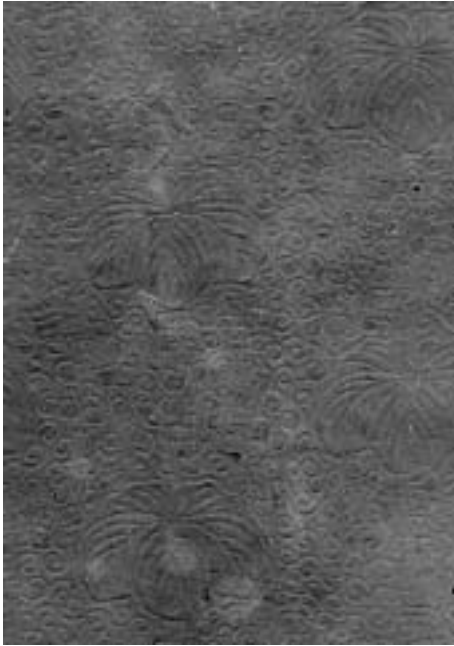
225 布目地に菊唐草
『紅葉合』宝暦4刊
当館蔵ナ3-4



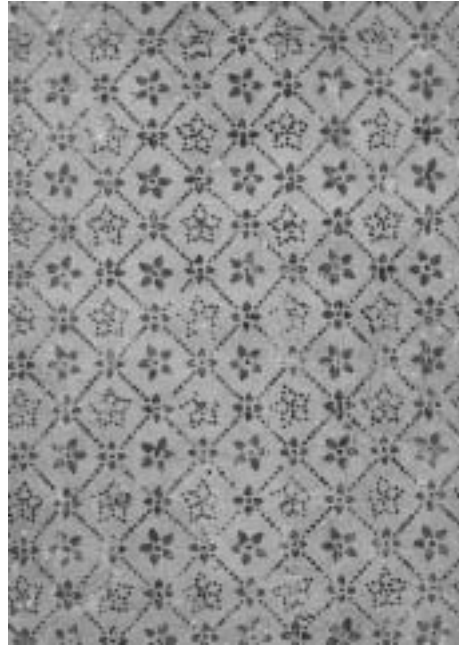
228 雷文襷地に菊花文と唐花
『増補外題年鑑』安永8刊
当館蔵ナ7-11



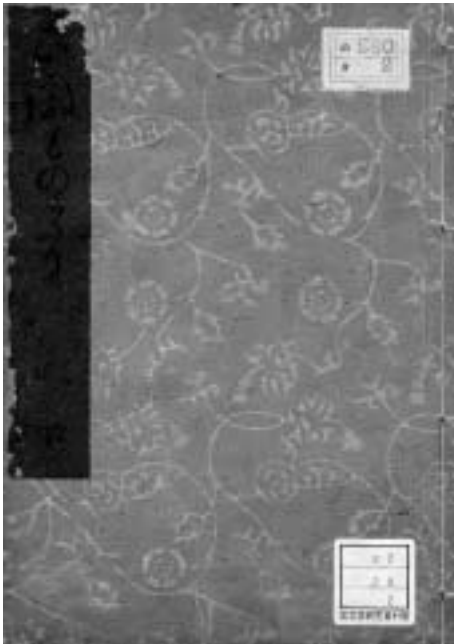
227 卍繋ぎ地に菊唐草と蝶
『明治孝節録』明治10刊
当館蔵ヤ9-153



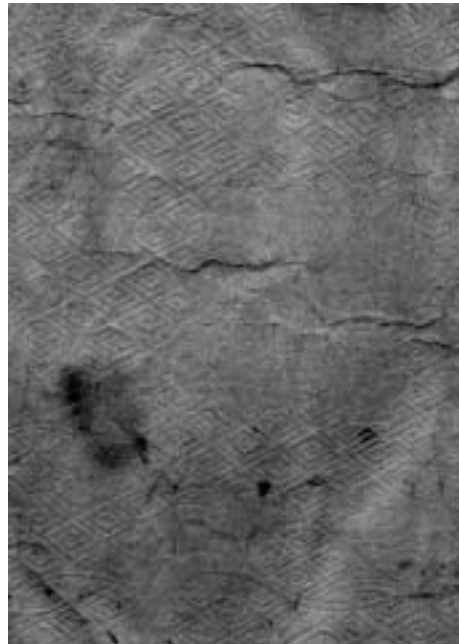
230 蔦唐草に花卉散し
『同文通考』宝暦10刊
当館蔵マ2-8



229 〔桔梗菱唐草〕
『源氏男女装束抄』元禄9刊
当館蔵12-510



232 草花（撫子）唐草に丁子雲珠
『正徹物語』寛政2刊
当館蔵夕2-29



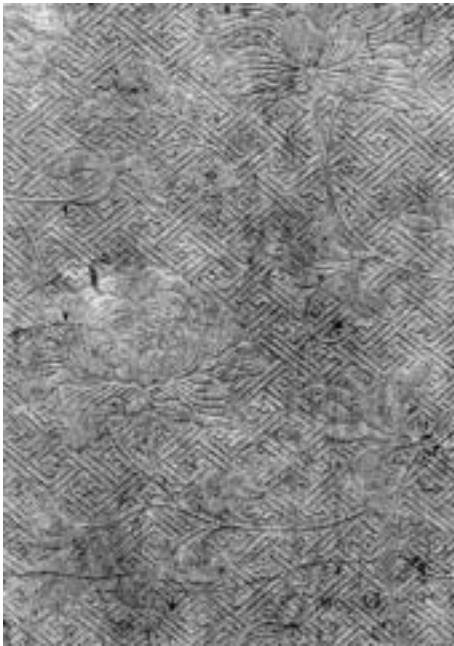
231 雷文繋ぎ地に草花唐草（牡丹類似）
『古今和歌集』江戸中期刊
当館蔵サ2-30



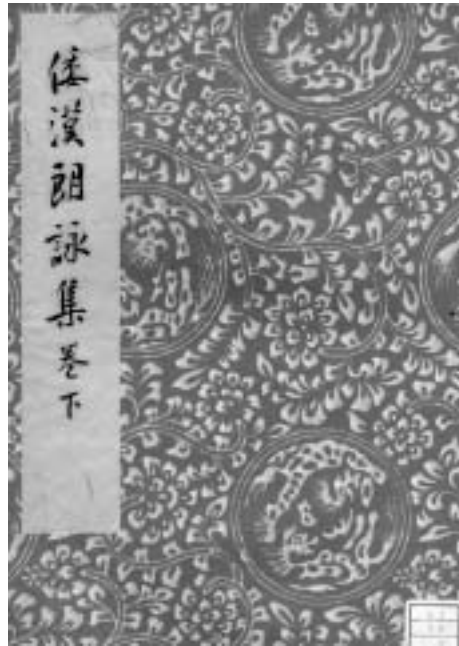
234 草花唐草に草花二重丸（丸錦）散し
『二十一代集』江戸後期刊
当館蔵ア2-7



233 草花唐草
『蜀山人狂歌図絵』江戸後期刊
当館蔵ナ2-30



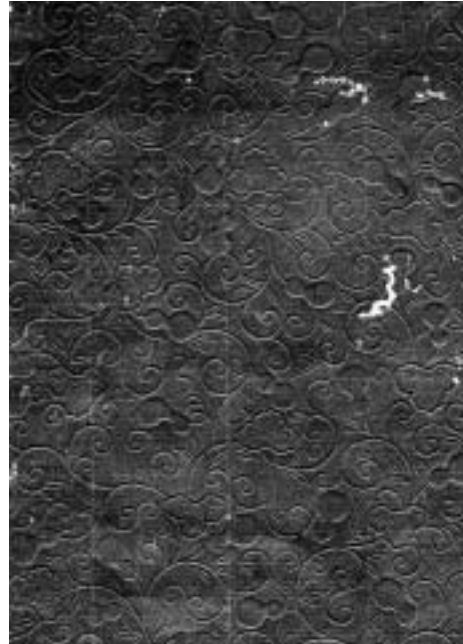
236 卍繋ぎ地に草花唐草（牡丹類似）
『奥義抄』慶安5刊
当館蔵サ2-14



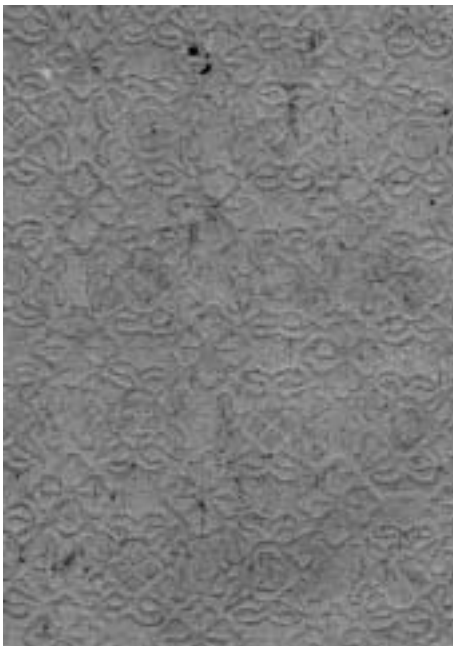
235 草花唐草に竜の丸
『和漢朗詠集』（複製本）
当館蔵リ1-15



238 〔唐草〕
『浄土真宗玉林和歌集』江戸後期刊
当館蔵ナ2-321



237 瓢箪唐草
『古今崎人伝画像集』
天保3序・刊
当館蔵ナ2-149



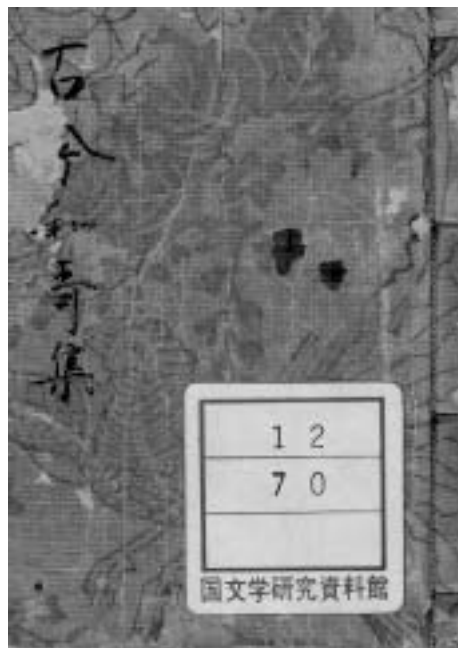
240 窠文(木瓜文)花菱
『百人一首基筋抄』享保6刊
当館蔵夕2-41



239 〔棘唐草花文(変型青海波)〕
『狂歌画像作者部類』明治期刊
当館蔵ナ2-237



242 五七の桐と変り瓢桐
『英名百雄傳』文久3序・刊
当館蔵ナ4-522



241 桐花文に鳳凰
『古今和歌集』享保2刊
当館蔵12-70



244 霧に杉樹
『風流俄天狗』天保12刊
当館蔵ヤ8-71



243 桐と三つ巴等瓦文
『道具字引図解』江戸後期刊
当館蔵マ3-5



246 松林
『稜威道別』嘉永4刊
当館蔵214



245 布目地に若松
『松屋叢考三樹考』文政9刊
当館蔵ヤ9-122



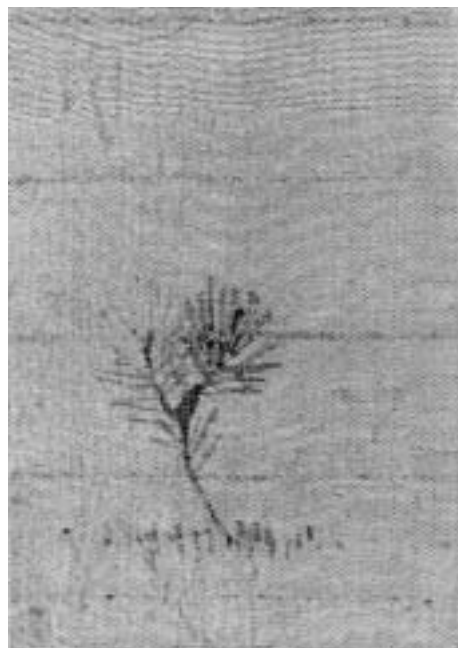
248 布目地に霞と若松
『箏曲大意抄』明治36刊
当館蔵ヤ8-10



247 布目地の上部に刷毛目、下部に松葉と松毬
『つれづれ草入』〔元禄4〕刊
当館蔵33



250 布目地に松葉散し
『松屋叢話』文化11序・刊
当館蔵ナ5-18



249 霞と若松
『新古今和歌集』寛政6刊
当館蔵12-219



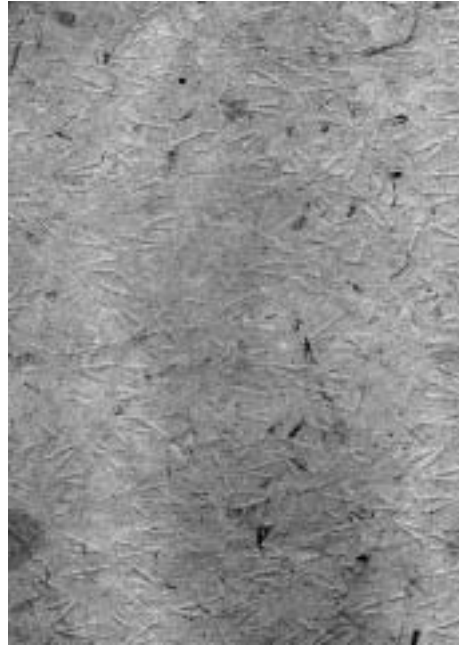
252 麻の葉地に小菊と若松の丸散し
『頭書鴨長明方丈記』江戸後期刊
当館蔵484



251 布目地に蔓若松(若松唐草)
『万葉集略解』安政3刊
当館蔵力2-4



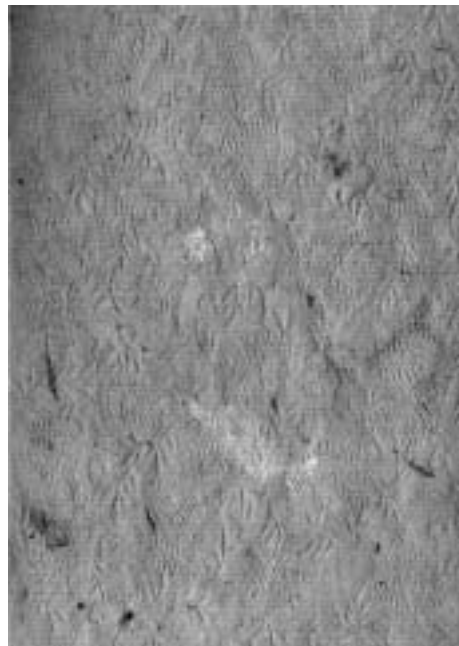
254 松皮菱・若松・三つ巴・小桜・丁子散し
『増補大和言葉』江戸中期刊
当館蔵マ4-17



253 松葉散し
『狂歌竹川集』文化12刊
当館蔵ナ2-220



256 松竹梅散し
『豊穂集』江戸後期刊
当館蔵ナ2-146



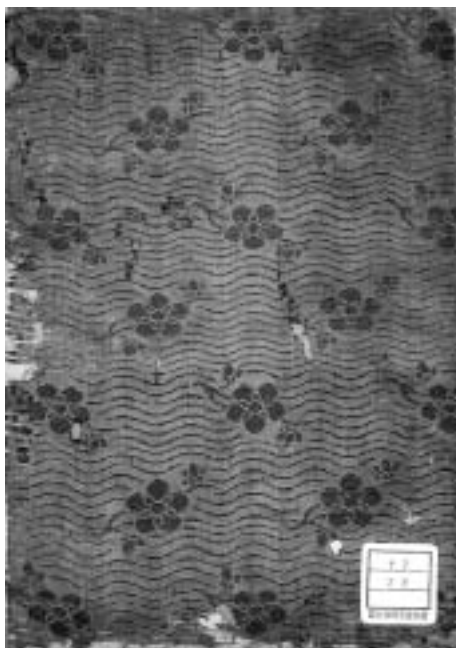
255 松竹梅散し
『音韻仮名用例』万延元刊
当館蔵マ1-3



258 梅樹・笹・蓮葉・蜂等(四の吉祥文変型)
『愚問賢答』江戸初期写
当館蔵タ2-12



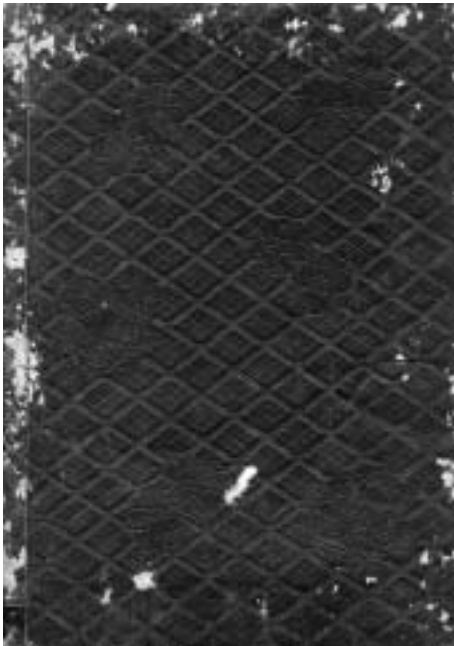
257 松竹梅散し
『狂歌手鑑画像集』天保2年刊
当館蔵ナ2-155



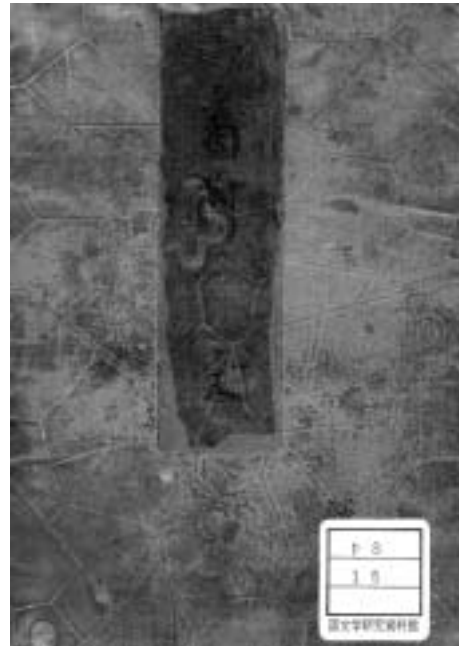
260 水波地に枝梅文
『詞花和歌集』室町後期写
当館蔵サ2-28



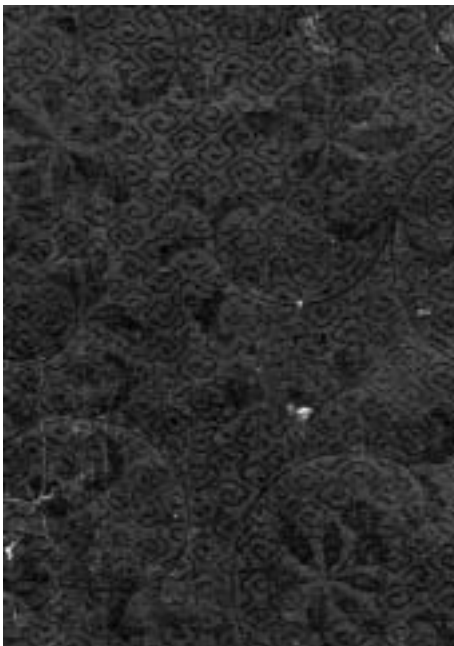
259 金箔散し揉紙地に霞引と梅花散し
『国歌八論』江戸後期写
当館蔵ナ2-186



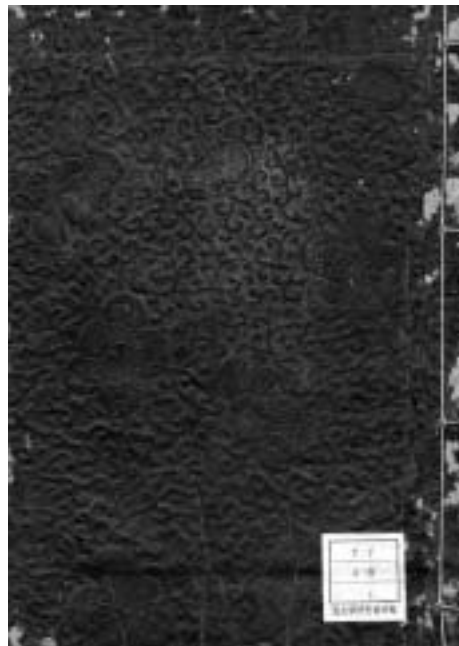
262 菱繋ぎ地に梅・桜・松
『温公家訓帖』文化7年序・刊
個人蔵



261 氷割れに梅花散し
『小番付』天保11・12刊
当館蔵ヤ8-15



264 雲文繋ぎに春の七草
『詩仙堂志』寛政9年刊
個人蔵



263 花文(梅・椿・蕨など)
『古今操便覧(新竹のふし)』
江戸後期刊
当館蔵ナ7-48



266 桜花散し
『仙崖和尚捨小舟』昭和6年覆刊
当館蔵419



265 柳葉
『柳の露』明治29刊
当館蔵八2-2



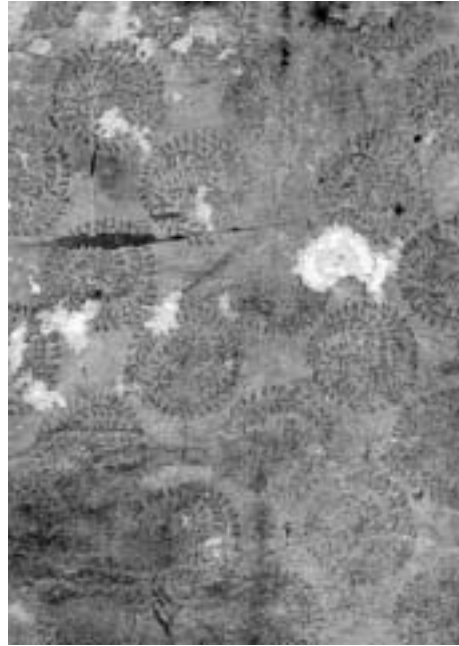
268 桜花・菱・井桁
『新古今和歌集』(帙)寛政6刊
当館蔵12-219



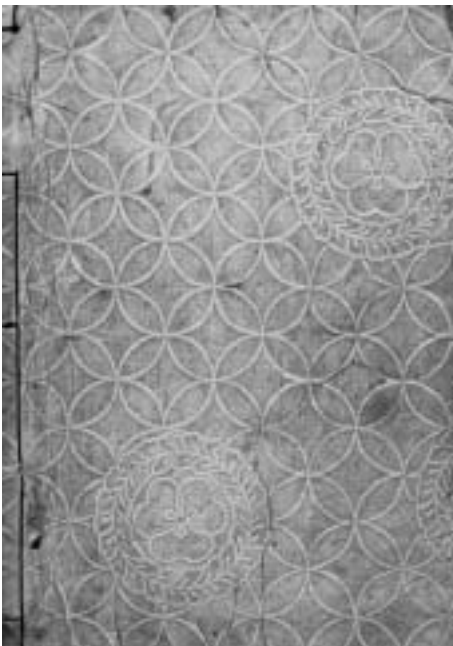
267 枝桜文
『落葉の錦』嘉永4刊
当館蔵ヤ8-4



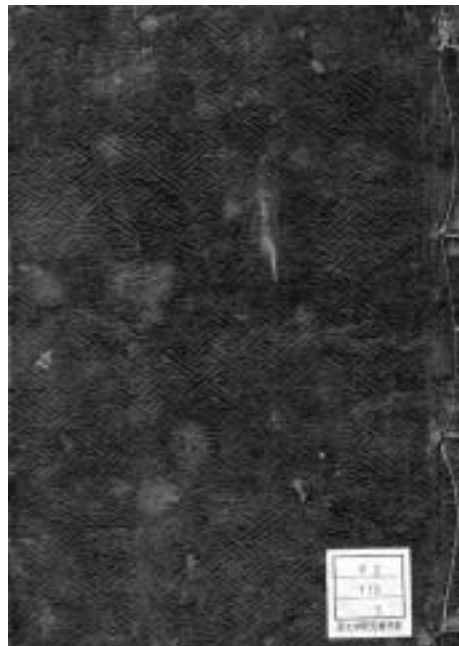
270 東六条藤と三つ巴藤
『奇特百歌僊』嘉永4序・刊
当館蔵ナ2-199



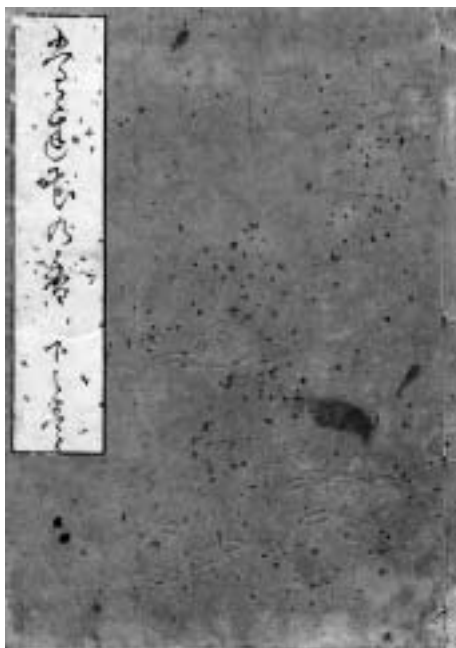
269 三つ巴藤
『井蛙抄』寛永10写
当館蔵タ2-8



272 七宝繋ぎ地に藤輪に片喰文
『江戸大節用海内蔵』文久3刊
当館蔵マ3-39



271 卍繋ぎ地に藤花文
『耳底記』江戸後期刊
当館蔵タ2-110



274 枝橘文
『たち花の香』弘化4刊
個人蔵



273 山吹
『やへやまぶき』慶応2写
当館蔵ナ2-293



276 〔橘・鉄線〕
『つれづれ草拾遺』寛保4刊
当館蔵4



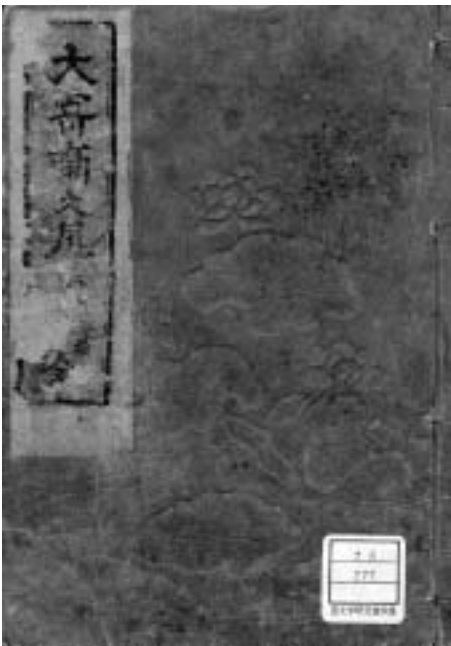
275 橘の丸に二つ巴
『劇場年中鏡』江戸後期刊
当館蔵ナ7-49



278 芍薬
『芍薬亭詠藻広陵集』天保4刊
当館蔵ナ2-34



277 銀砂子散し地に枇杷文
『繪島廻浪』明治15刊
当館蔵八2-8



280 流水に蓮華
『大寄噺の尻馬』江戸後期刊
当館蔵ナ4-277



279 檀紙に松と菖蒲
『近世奇跡考』天保7刊
当館蔵ナ5-67



282 鉄線散し
『伊勢物語』江戸中期刊
当館蔵12-418



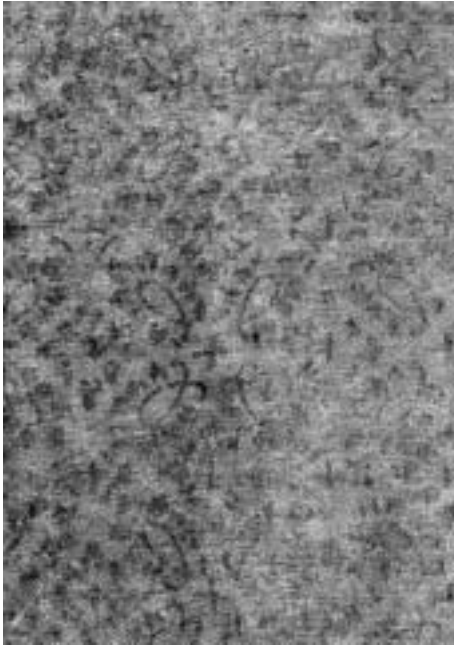
281 雲霞に撫子
『百人一首』江戸前期写
当館蔵夕2-223



284 葵
『俳諧天爾波抄』文化4刊
当館蔵589



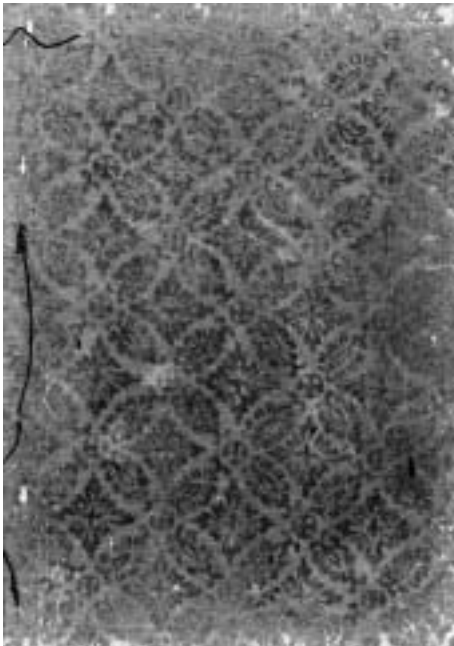
283 卍繋ぎ地にvari三蔓葵
『大学』(後藤点)江戸後期刊
当館蔵459



286 小葵
『二物考』天保7刊
当館蔵ヤ5-29



285 布目地に二葉葵(賀茂葵)散し
『月詣和歌集』文化5刊
当館蔵12-331



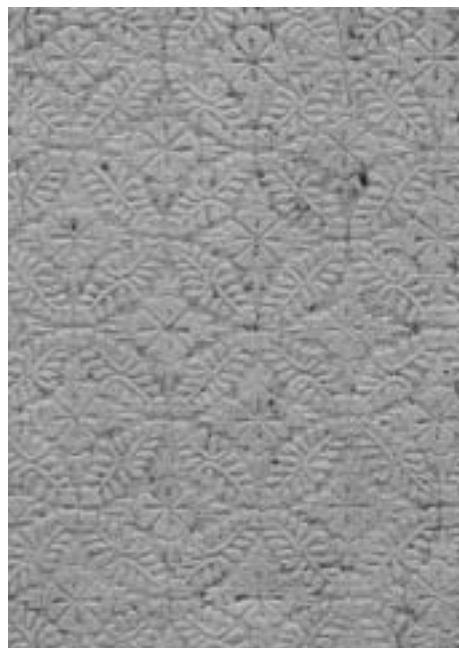
288 小葵
『増補古言梯標註』弘化4刊
当館蔵12-719



287 小葵
『校正伊勢物語絵抄』元禄6刊
当館蔵12-416



290 菊花文
『春のみなもと』江戸末期刊
当館蔵ナ3-87



289 小葵・菱
『歌学提要』嘉永3刊
個人蔵



292 菊花文(金泥)
『恋種』室町末期写
当館蔵607



291 菊花文
『光栄公日記』(江戸後期)写
当館蔵552



294 菊と紅葉散し
『秋屋集』明治37刊
当館蔵八1-3(八2-11)



293 卍繋ぎ地に菊花散し
『装束要領鈔』正徳6年刊
当館蔵558



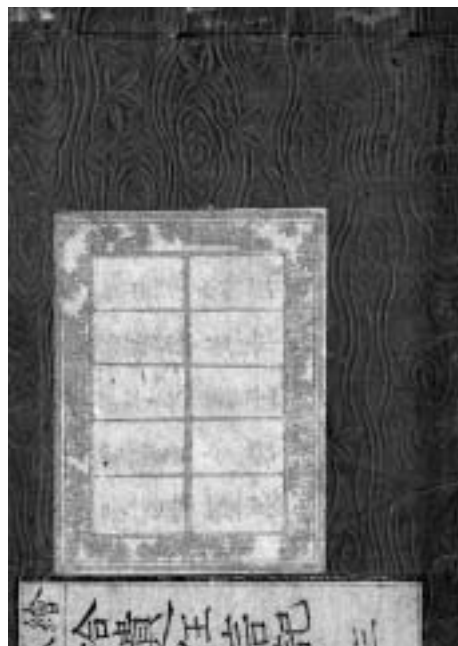
296 〔菊花文〕
『拾遺和歌集』寛政11刊
当館蔵12-658



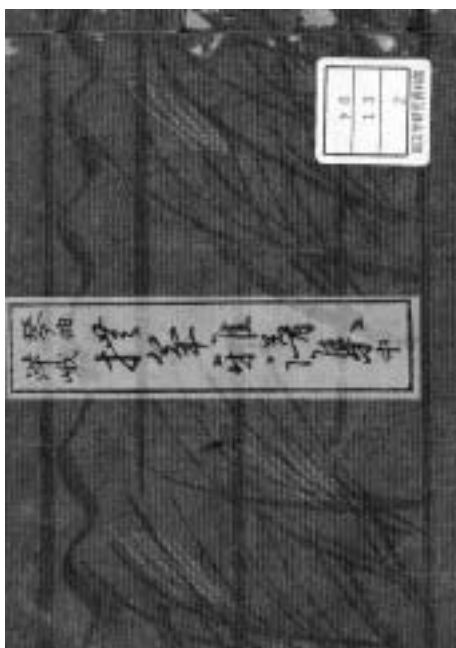
295 丸に引き両、菊流水・飾紐・柑子色散し
『開卷驚奇侠客伝』天保3刊
当館蔵ナ4-184



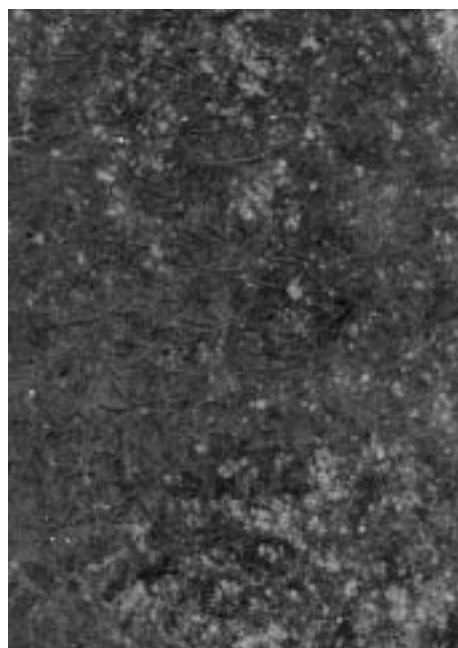
298 横檀紙に紅葉散し
『假字考』文政5序・刊
当館蔵151



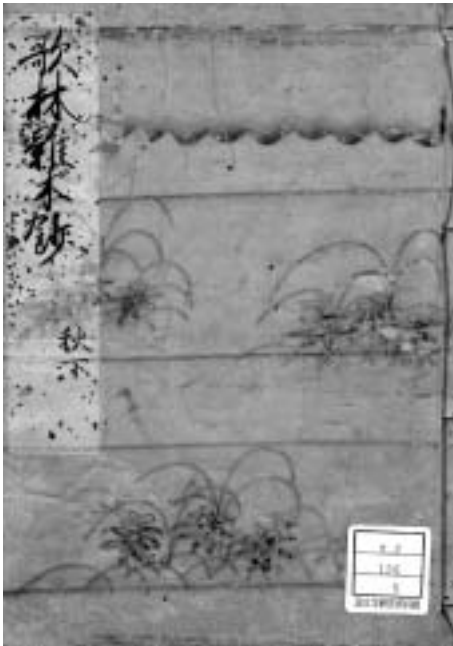
297 竜田川文（流水に紅葉散し）
『繪入拾遺狂言記』江戸後期刊
当館蔵546



300 布目地に霞と薄
『撫箏雅譜集』天保9刊
当館蔵ヤ8-13



299 楓文
『六家集』江戸後期刊
当館蔵夕2-135



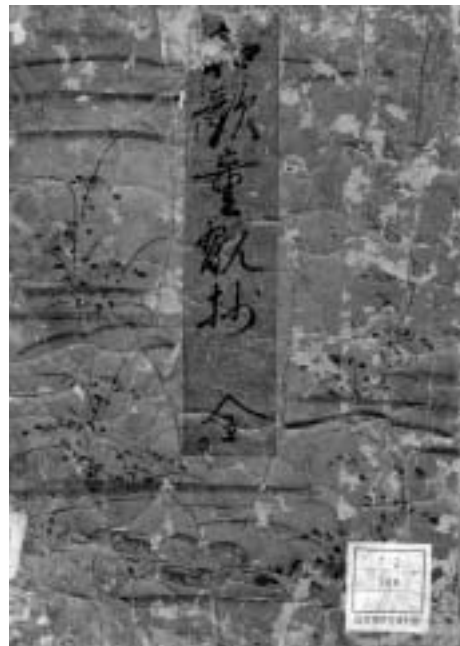
302 雲霞に秋草
『歌林雜木鈔』元禄9序・刊
当館蔵ナ2-126



301 瑞穂
『二千年袖鑑』明治期刊
当館蔵ヤ9-79



304 雲霞に秋草
『源氏物語』承応3刊
当館蔵サ4-26



303 雲霞に秋草
『和歌童歌抄』宝暦4刊
当館蔵ナ2-368



306 布目地に雲霞と秋草
『古今和歌集』寛永21写
当館蔵537



305 霞に秋草（萩）と籬
『千載和歌集』江戸初期写
個人蔵



308 信夫散し
『奥細道菅菰抄』安永7刊
当館蔵ナ3-119



307 毘沙門亀甲地に三つ竜胆橘
『装劔奇賞』天明元序・刊
当館蔵ヤ8-33



310 布目地に信夫と蝶
『茅窓漫録』天保4刊
当館蔵ナ5-12



309 布目地に信夫の丸散し
『十符の菅薦』明治9刊
当館蔵八5-7



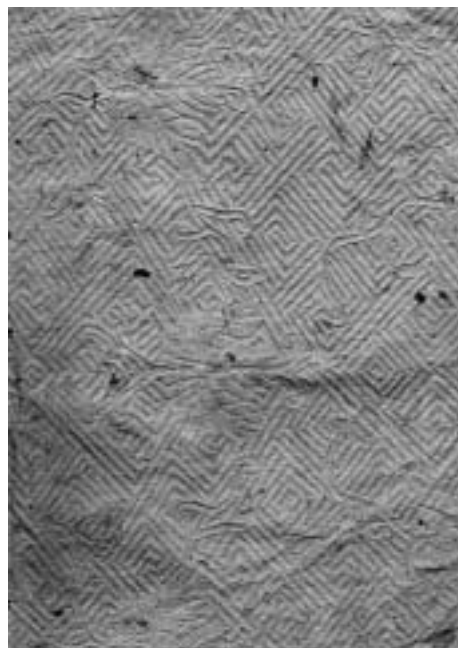
312 鳶花文
『室町源氏胡蝶卷』幕末明治期刊
当館蔵12-498



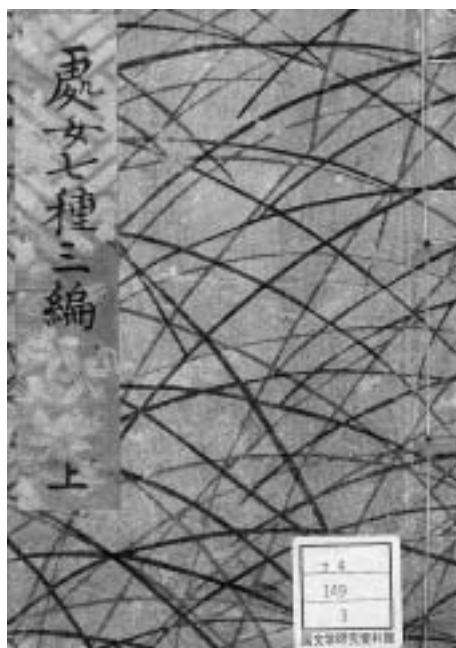
311 鳶
『美登毛能数』明治15刊
当館蔵八5-4



314 蔦葉に雪花
『くぬがちの記』明治13刊
当館蔵八5-2



313 雷文繋ぎ地に蔦葉散し
『授幼難字訓』享保12刊
当館蔵マ2-6



316 芝草
『処女七種』天保10序・刊
当館蔵ナ4-149



315 芝草
『女訓みさご草』享保14刊
当館蔵ヤ5-5



318 芭蕉葉散し
『俳諧歳時記菜草』嘉永4刊
当館蔵ナ3-59



317 芭蕉葉散し
『貞享式海印録』安政6序・刊
当館蔵ナ3-23



320 三つ柏に大の字紋
『三七全伝南柯夢』文化5刊
当館蔵ナ4-317



319 栗
『俳諧歌乙酉百首』(燕栗園千穎)
江戸後期刊
当館蔵ナ2-170



322 波に瓢箪・割梅鉢
『伊勢物語』江戸前期写
当館蔵535



321 〔霰地に宝相華文〕
『弘長百首』江戸中期写
当館蔵夕2-186



324 霞に草花・銀砂子散し
『初実劔理学抄・童子教』江戸後期写
当館蔵ヤ8-58



323 雲霞に草
『源氏物語』承応3刊
当館蔵サ4-26



326 流水と岩に草花
『薄衣草紙』文化8序・刊
当館蔵ナ4-183



325 竹垣に花
『梁塵愚案抄』元禄2刊
当館蔵夕1-1



328 草花散し
『艶道微言』宝暦11刊
当館蔵ナ6-20



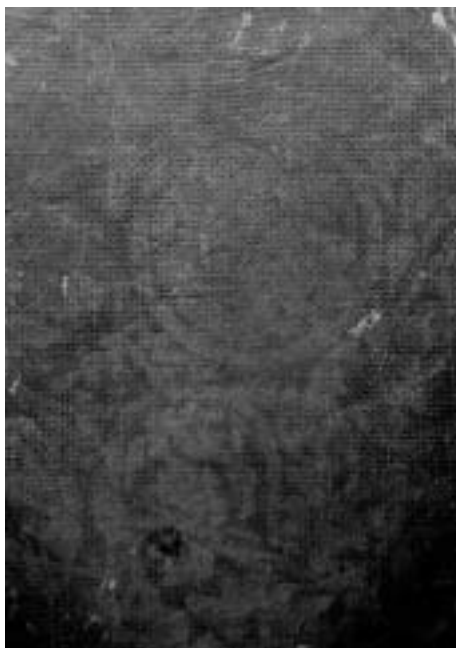
327 布目地に桜花散し
『本朝虞初新誌』明治16刊
当館蔵八8-1



330 霰地に花文
『奈良絵豆扇函面』江戸中期写
当館蔵ヤ8-179



329 草花散し(紅葉・萩・桜・水仙など)
『門田のさなへ』文化2年刊
個人蔵



332 〔花文〕
『詹々言』寛延3年刊
個人蔵



331 〔蘭花文〕
『雅語訳解大成』明治期刊
当館蔵12-704



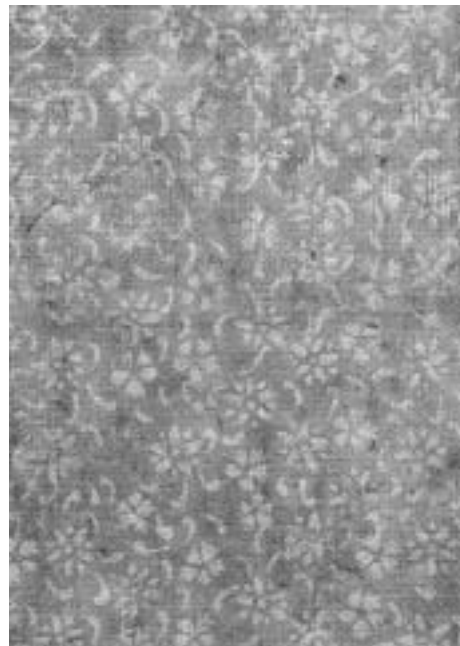
334 〔花文〕
『古今操便覧（新竹のふし）』
江戸後期刊
当館蔵ナ7-48-2



333 〔花枝文〕
『機巧図彙』寛政8刊
当館蔵ヤ9-13



336 〔梨花〕
『繪本唐詩仙』江戸後期刊
当館蔵ナ4-302



335 〔花文散し〕
『三哲小伝』文政元序・刊
当館蔵615



338 〔草花文〕
『和歌吳竹集』寛政9年刊
当館蔵ナ2-20



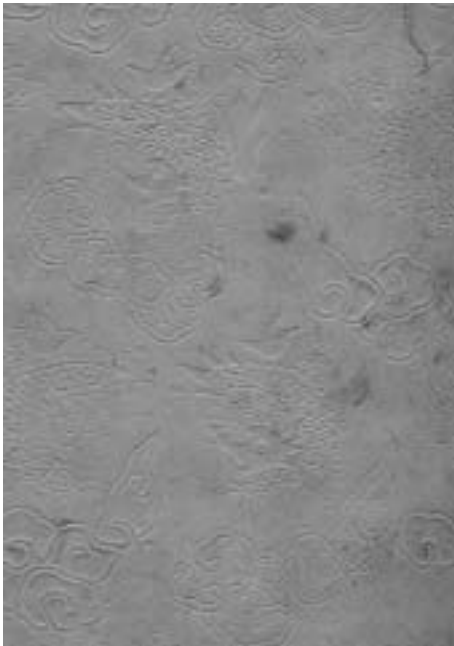
337 〔菱繋ぎ・花文〕
『元元唱和集』(帙)寛文3刊
当館蔵ナ8-170



340 鱗文と渦雲円中に竜の丸
『新增補西国奇談』幕末明治期刊
当館蔵ナ4-220



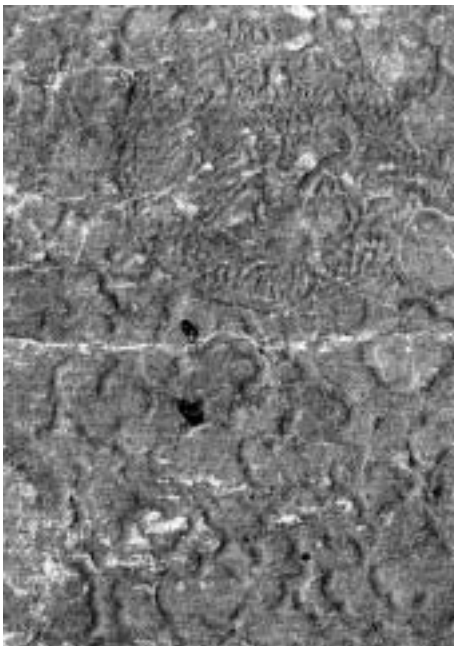
339 〔草花文〕
『和歌吳竹集』文久3年刊
当館蔵ナ2-323



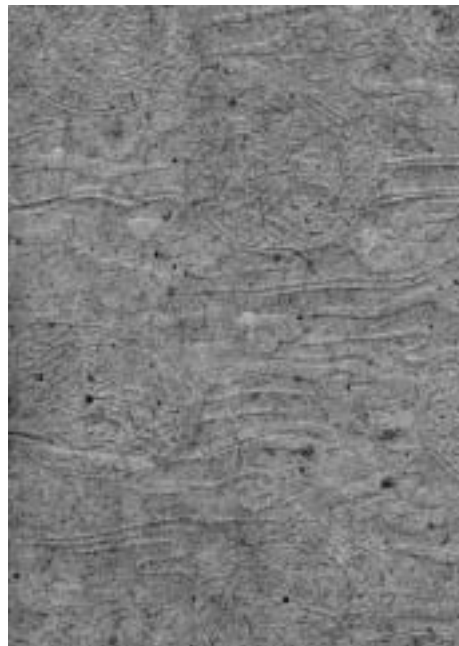
342 雲と竜
『絵本徒然草』明治27刊
当館蔵タ5-64



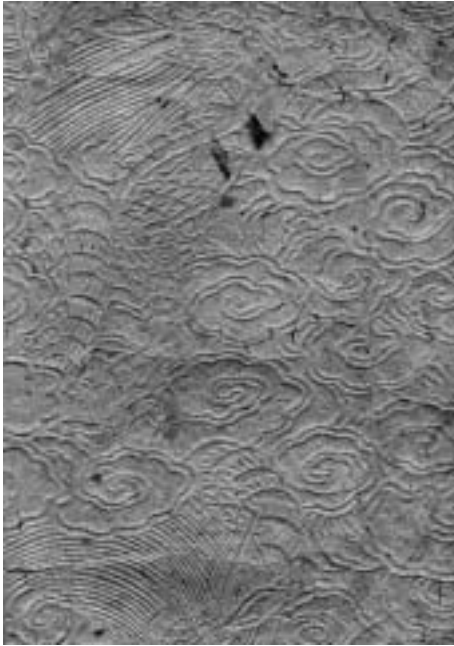
341 渦雲に竜窠文
『畠山匠作亭詩歌和歌拔書』
室町中期写
個人蔵



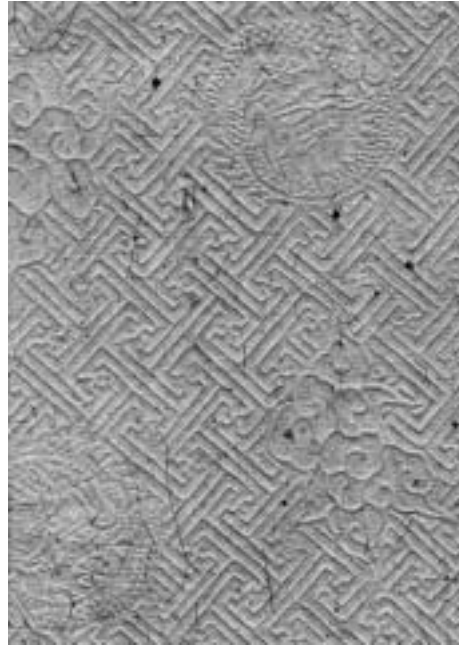
344 流雲に竜の丸
『東講商人鑑』安政2序・刊
当館蔵ヤ9-77



343 流雲に竜の丸
『新板絵入つれづれ草』江戸中期刊
当館蔵タ5-55



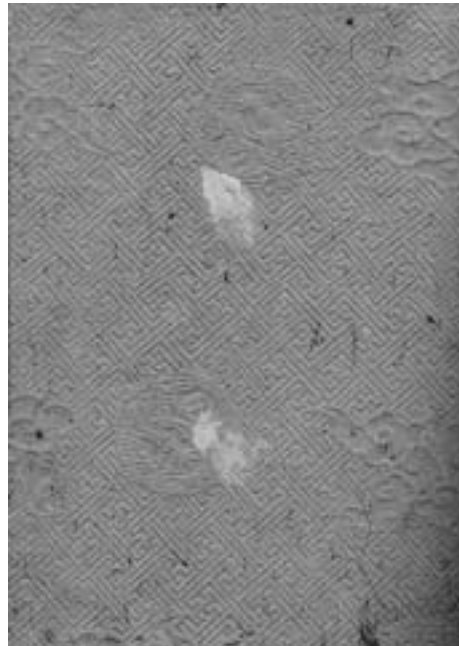
346 卷雲に竜
『つれづれ草』元文2刊
当館蔵タ5-35



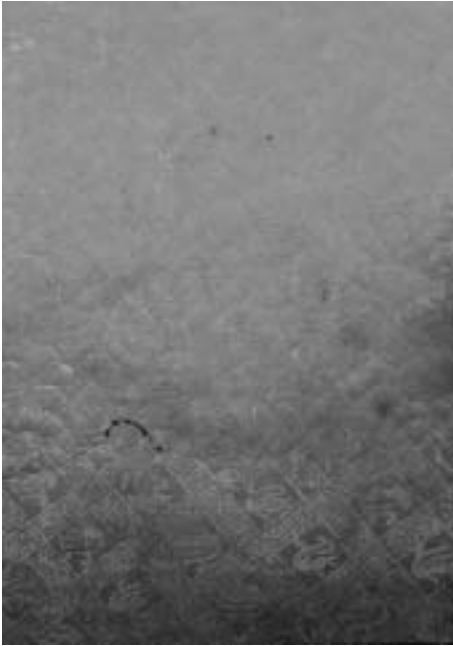
345 卍繋ぎ地に波雲に竜の丸
『読史管見』安政3刊
当館蔵ワ2-2



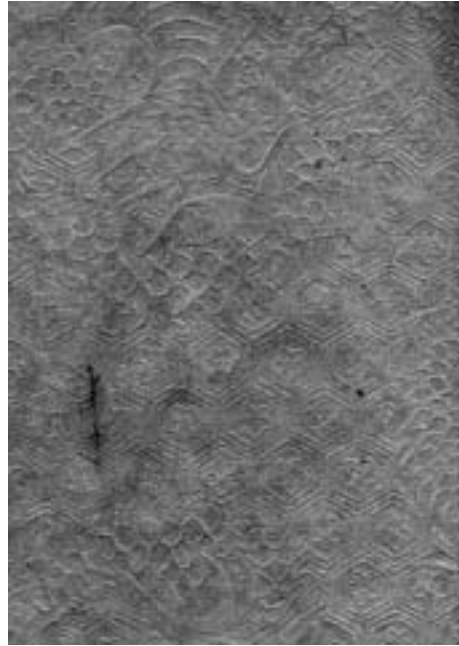
348 麻の葉地に竜の丸と雨竜
『院和歌御会始』江戸中期写
当館蔵ナ2-76



347 卍繋ぎ地に雲と竜の丸
『世説音釈』文化13刊
当館蔵ナ8-12



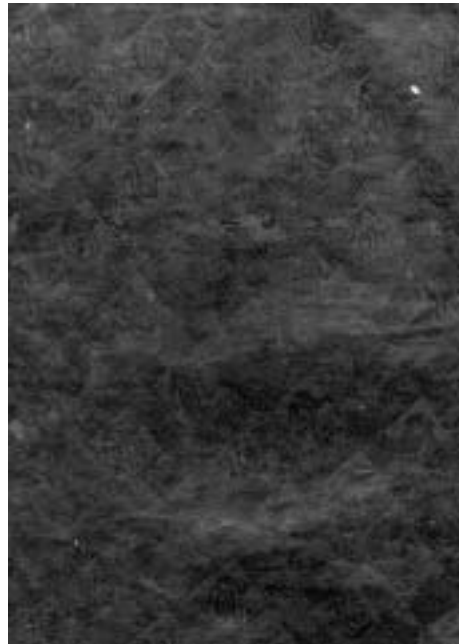
350 雷文襷地に雨竜
『絵本垣衣草』寛延3刊
当館蔵夕5-127



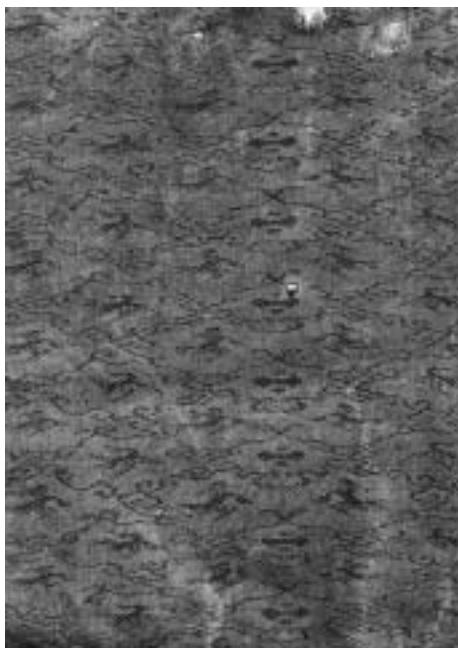
349 亀甲繫ぎ地に竜
『源氏年立図』江戸後期写
当館蔵サ4-8



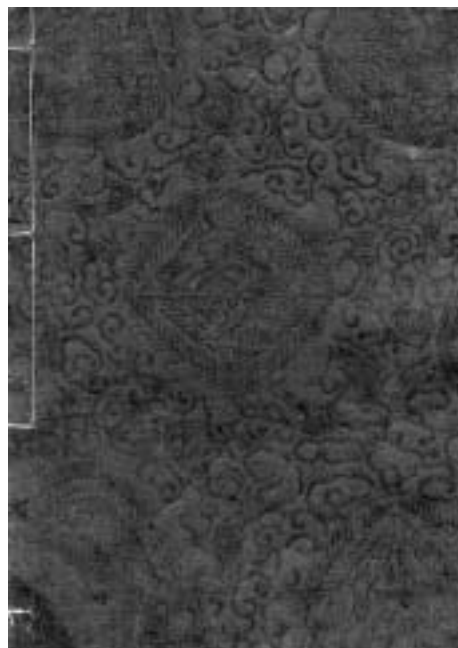
352 横刷毛目に瑞獣（青竜・白虎・朱雀・玄武）
『市中制法』（明治2）刊
当館蔵491



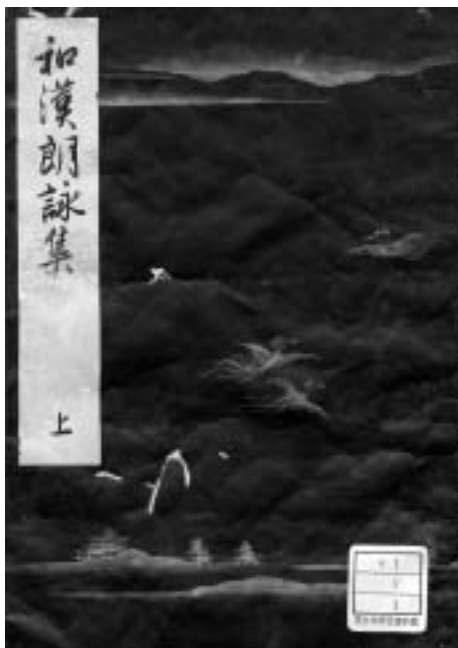
351 雷文襷地に雨竜
『後拾遺和歌集』江戸前期写
当館蔵221



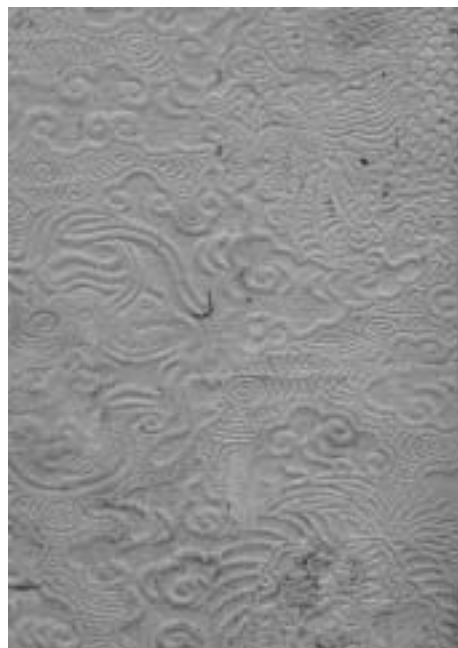
354 卷雲襷に鳳凰
『古今和歌集』(中村久越筆)
江戸前期写
当館蔵287



353 雲に合鳳凰の丸
『好古余録』明治期刊
当館蔵ナ5-76



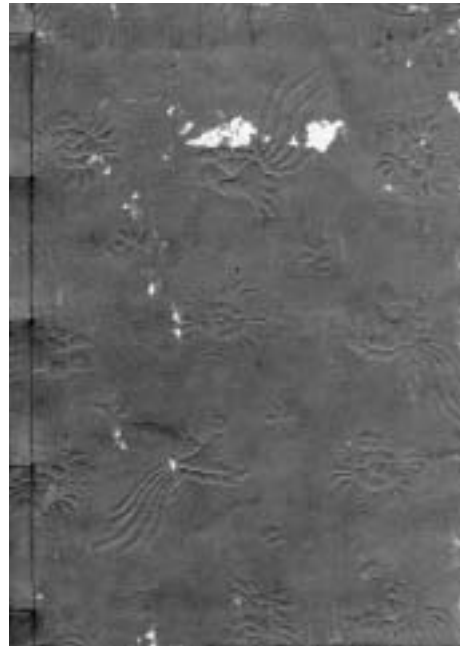
356 松林遠景に雲霞と鳳凰
『和漢朗詠集』江戸前期写
当館蔵サ1-2



355 渦巻波雲に鳳凰の丸
『尚不愧斎存稿』明治17刊
当館蔵八8-2



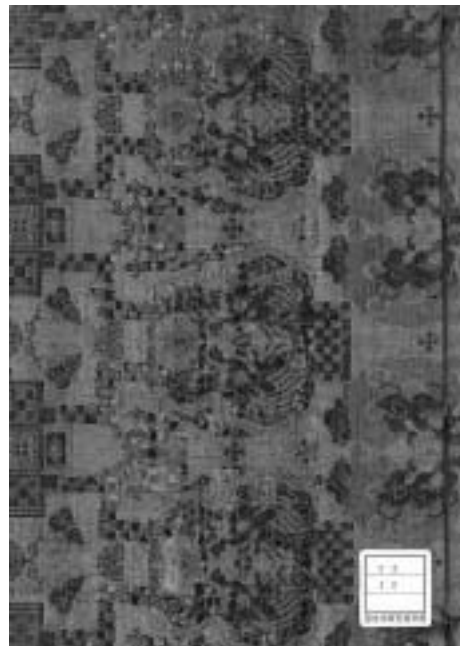
358 獅子の丸散し
『催馬楽筆策譜』〔明治期〕写
当館蔵236



357 〔鳳凰など〕
『八雲琴譜』安政5序・刊
当館蔵489



360 巻雲に鶴
『千百人一首』安政4序・刊
当館蔵ナ2-180



359 獅子・鳳凰など
『詞花和歌集』室町後期写
当館蔵サ2-10



362 格子縞地に鶴亀の丸文散し
『言語学』明治27写
当館蔵マ0-2



361 布目地に雲中に鶴
『倭訓栞』明治15刊
当館蔵マ3-34



364 水辺の葦に乱れ飛ぶ雁
『水雄岡志』江戸末期刊
当館蔵ヤ9-60



363 向かい鶴文
『客者評判記』文化8刊
当館蔵ナ4-399



366 檀紙・丁子引き刷毛目地に波に群翔千鳥
『俳優茶話』江戸後期刊
当館蔵ナ7-4



365 千鳥
『古今狂歌袋』江戸中期刊
当館蔵ナ2-388



368 花喰鳥
『兼好法師伝記考證』天保8刊
当館蔵夕5-2



367 波に群翔千鳥
『椿説弓張月』江戸後期刊
当館蔵ナ4-218



370 流水に水鳥
『名所狂歌集』天保4刊
当館蔵ナ2-221



369 三羽雀と抱竹丸散し
『薩戒記』江戸中期写
当館蔵492



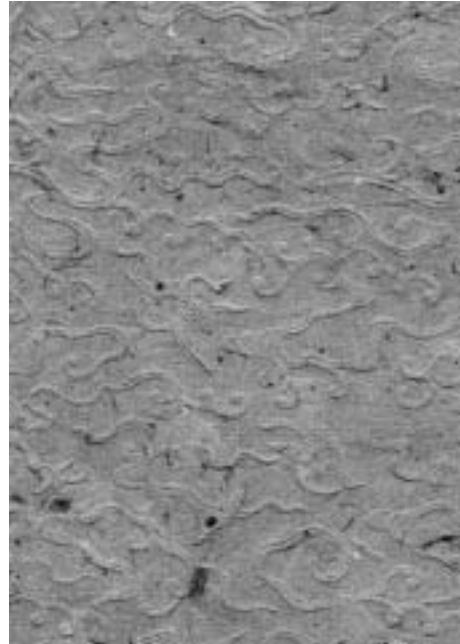
372 花鳥文
『日本国開闢由来記』安政5跋・刊
当館蔵ナ4-71



371 花鳥文
『繪本孫子童観抄』慶応元刊
当館蔵ナ4-242



374 蝙蝠文
『開卷驚奇俠客傳』天保6刊
当館蔵ナ4-184



373 雲中に鳥
『草字彙』明治2刊
当館蔵マ2-2



376 犬・猿・蟹等の丸文
『新增補西国奇談』幕末明治期刊
当館蔵ナ4-220



375 桜花・桃実(西王母)・雀・兔の丸文
『新增補西国奇談』幕末明治期刊
当館蔵ナ4-220



378 鳥蝶文
『睡余小録』文政5刊
当館蔵ナ5-23



377 花菱雪兔
『寛居大人歌集等』幕末写
当館蔵ナ2-23



380 蝶散し
『狂歌辰農市』寛政10刊
当館蔵ナ2-277



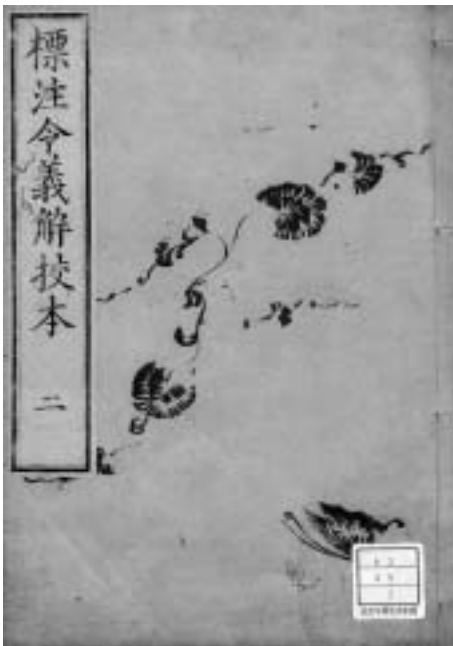
379 鳥蝶文
『独看和歌集』江戸後期刊
当館蔵177-1



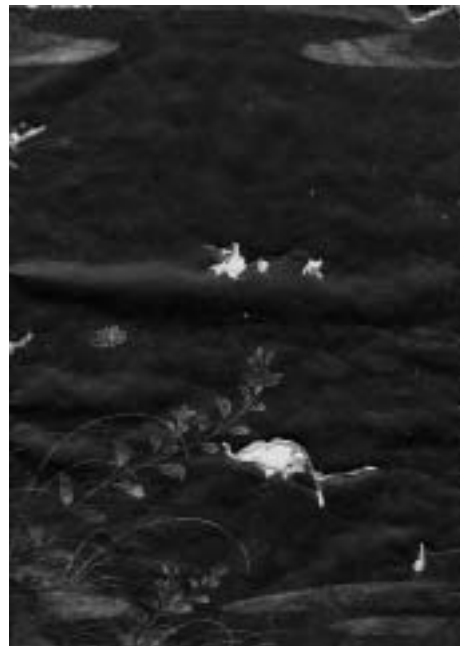
382 浮線綾に三つ臥蝶
『假名字抄』嘉永元刊
当館蔵604



381 麻の葉地に蝶散し
『和歌難波津絵入』寛政11刊
当館蔵117



384 蔦に蝶
『標注令義解校本』明治期刊
当館蔵ヤ1-45



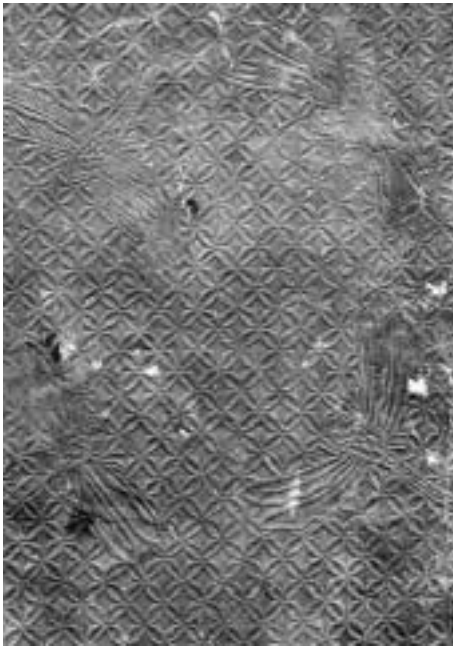
383 秋草に蝶
『和漢朗詠集』江戸前期写
当館蔵サ1-2



386 蝶文
『滑稽笑談くになまり』江戸後期刊
当館蔵ナ4-211



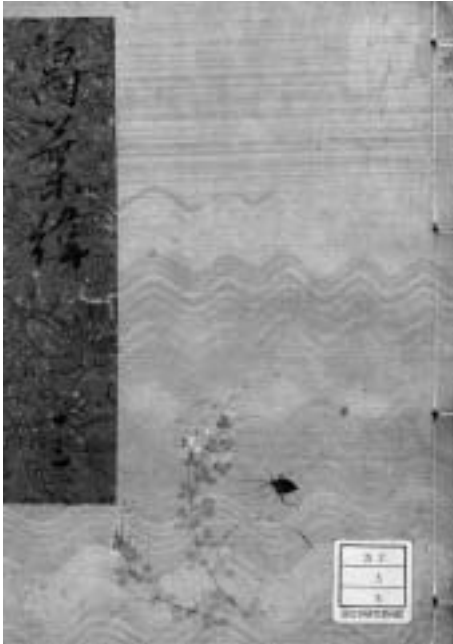
385 笹竜胆に臥蝶散し
『平家物語図会』嘉永2刊
当館蔵ナ4-412



388 七宝繋ぎ地に蜻蛉
『本朝名公墨宝』正保2跋・刊
当館蔵ヤ8-35



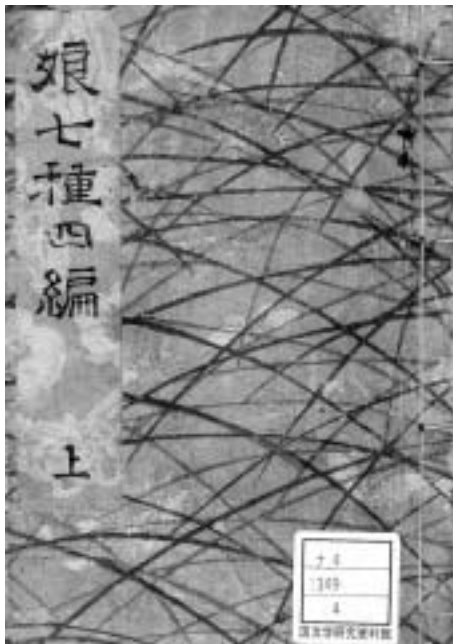
387 蝶・鳥・海松
『高山仲繩遺墨』明治4序・刊
当館蔵ヤ8-40



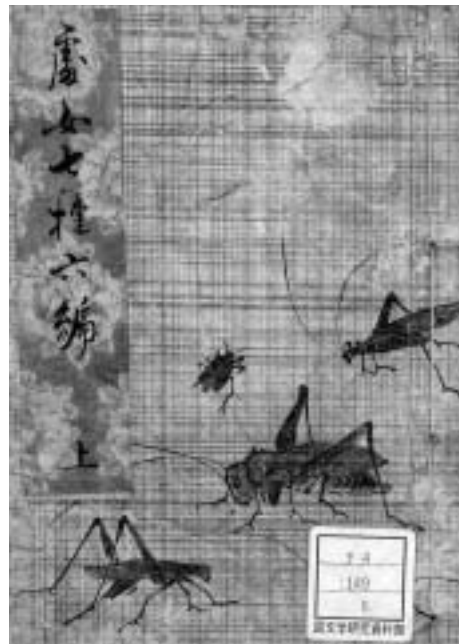
390 横波刷毛目に秋草と虫
『万葉緯』幕末明治期写
当館蔵ナ2-3



389 縦線（闇夜）に螢
『開巻驚奇侠客傳』江戸後期刊
当館蔵ナ4-184



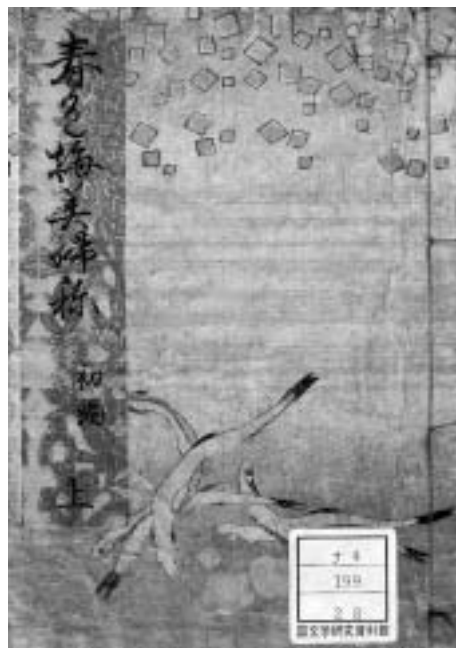
392 芝草に蝶や秋の虫
『処女七種』天保11序・刊
当館蔵ナ4-149



391 格子縞地に秋の虫
『処女七種』江戸後期刊
当館蔵ナ4-149



394 貝尽し (蛸・蟹・海藻と貝類散し)
『うらのしほ貝』弘化2序・刊
当館蔵ナ2-114



393 白魚
『春色梅美婦祢』天保12序・刊
当館蔵ナ4-199



395 貝尽し (蛤散し)
『介譜浦の錦』寛延4刊
当館蔵ヤ9-30

文様名索引

「あ」

葵 284 小葵・二葉葵・三蔓葵

葵散し 二葉葵散し

秋草 66・156・302・306・383・390

秋の虫 390・392

麻の葉 17・252・348・381

麻の葉繋ぎ 15・16

葦 水辺の葦

網目 2

雨 148

霰 67・321・330

合鳳凰の丸 353

「い」

筏 花筏

井桁 268

石畳 63

板目 変り板目

市松文様 64・66

稲田 158

犬の丸文 376

稲 瑞穂

色変り棒縞 91

色違い刷毛目刷 60

岩 326

印 式亭三馬の印

「う」

兎 雪兎

兎の丸文 375

渦雲 341

渦雲円 340

渦巻雲 127

渦巻波雲 355

渦巻文 179

打曇り 79・108・110

梅 262・263 枝梅文・松竹梅散し・梅

花・梅樹

梅鉢散し 199

雨竜 13・348・350・351

鱗文 340

雲霞 137・139・157・281・302・304・306・323

・ 356

雲珠 25・208 丁子雲珠

雲中鶴 361

雲中鳥 373

雲文 130・135 菱形雲文・靈芝雲文

雲文繋ぎ 264

雲竜 342

「え」

枝梅文 260

枝桜文 267

枝橘文 274

絵文字蜀江錦 59

円繋ぎ 119

「お」

桜花 118・142・148・262・268・329

桜花散し 266・327

桜花の丸文 375

扇形 唐扇・雁の扇形・扇面散し・蜻蛉の扇形・舟の扇形

「應」字 78

桜樹 118
 往來人 160
 折鶴散し 167
 「か」
 海藻 394
 貝尽し 394・395
 海賦文 143
 楓文 299
 籠目 121
 傘 中開き三本傘
 重花菱 26
 柏 三つ柏
 霞 158・248・249・300・305・324
 遠山霞
 霞引 74・75・259
 片喰文 272
 楽器 169
 角切り二重角繋ぎ花菱文 29
 蟹 394
 蟹の丸文 376
 花卉散し 230

亀 鶴亀の丸文散し
 賀茂葵 二葉葵
 花文 44・263・330・332・334・337 菊花
 文・桐花文・草花文・蕙花文・藤花文・
 木瓜文・蘭花文
 花文七宝繋ぎ 21
 花文散し 335
 花文花菱四方襷 21
 花文二重亀甲繋ぎ 39・40・42
 窠文 竜窠文
 窠文繋ぎ 62
 窠文花菱 31・240
 唐扇 136
 唐草 181・210・238 唐花唐草・桔梗菱
 唐草・菊唐草・菊牡丹唐草・桐唐草・草
 花唐草・桜唐草・蕙唐草・鉄線唐草・鉄
 線唐花唐草・棘唐草・撫子唐草・花勝美
 唐草・牡丹唐草・瓢箪唐草・鳳凰唐草・
 蓮華唐草・若松唐草
 唐草襷 192
 唐花 228 鉄線唐花唐草・薔薇唐花・
 菱唐花・牡丹唐花・牡丹唐花七宝・牡丹

薔薇等唐花・蓮華唐花
 唐花唐草 191・193
 唐花蜀江錦 61
 雁 乱れ飛ぶ雁
 雁の扇形 120
 瓦文 桐と三つ巴等瓦文
 変り板目 70
 変り瓢桐 242
 変り三蔓葵 283
 管状玉 170
 間道 棒編
 「き」
 桔梗菱唐草 229
 菊 212・294 小菊
 菊花散し 293
 菊花二重亀甲繋ぎ 41
 菊花文 67・228・290・292・296
 菊唐草 217・227
 菊牡丹唐草 213・216
 菊流水 295
 亀甲 43・44 氷割れ亀甲・毘沙門亀

草 323 「く」
 金箔散し揉紙 259
 銀砂子散し 104・118・277・324
 金砂子 93・138
 金銀切箔散し 117
 金切箔銀砂子散し 98
 桐花文 241
 切箔散し 金銀切箔散し
 桐と三つ巴等瓦文 243
 桐唐草 12・184・190
 霧 244
 桐 五七の桐・花桐文・瓢桐
 狂言図 159
 杵 140
 狐拳 174
 吉祥文 258
 亀甲字散し 179
 亀甲繫ぎ 349
 二重亀甲繫ぎ・割小菱
 甲

草花 119・139・152・326 秋草
 草花唐草 231・236
 草花散し 324・328・329
 草花の丸 120
 草花二重丸散し 234
 草花文 152・338・339
 釧 170
 朽木雲 7・94・133・134
 雲 11・61・128・129・136・347・353 渦
 雲・渦卷雲・雲霞・雲珠・雲文・朽木
 雲・卷雲・瑞雲・波雲・飛雲・隆雲
 雲立涌 53
 栗 319
 群翔千鳥 366・367
 「け」
 「桂雲堂」字 176
 卷雲 124・126・346・360 渦卷雲
 卷雲襪 354
 源氏香 161・163
 玄武 352

「こ」
 小菱 286・289
 格子 122 渋引格子・丁子格子縞・六
 弥太格子
 柑子色散し 295
 工字崩し 14
 格子縞 362・391
 格子刷毛目 86・226
 蝙蝠文 374
 氷割れ 151・152・261
 氷割れ亀甲 36・37・153
 小菊と若松の丸散し 17・252
 小桜散し 254
 小桜と若松の丸散し 35
 五七の桐 242
 国旗文 173
 琴柱 169
 寿文字 210
 「さ」
 幸菱 24・27
 魚 白魚

桜 74・262・329 枝桜・桜花・桜樹・
 小桜
 桜唐草 194
 桜の丸 43
 笹 258
 笹の葉散し 28
 笹竜胆 385
 紗綾形 8・207 卍繫ぎ
 山帰来の丸 89
 杉樹 244
 三羽雀丸散し 369
 三本傘 166
 「し」
 式亭三馬の印 180
 獅子 359
 獅子の丸散し 358
 七宝 197・198 牡丹唐花七宝
 七宝繫ぎ 18・144・272・388 花文七宝
 繫ぎ・宝尽し二重七宝繫ぎ
 七宝の菱繫ぎ 14
 信夫 310

信夫散し 308
 信夫の丸散し 309
 芝草 315・316・392
 渋刷毛引 5
 渋引 76・81・83・100・103・107
 渋引格子 6・87
 縞 格子縞・丁子格子縞・唐棧縞・棒
 縞・横千筋縞
 芍薬 278
 斜線 93
 消息文 107
 松樹 157
 松竹梅散し 255・257
 菖蒲 279
 蜀江錦 54・58・60 絵文字蜀江錦・
 唐花蜀江錦
 蜀江花菱文 61
 白魚 393
 白拍子 161
 「す」
 瑞雲 131

瑞獸 352
 水仙 329
 水辺の葦 364
 朱雀 352
 薄 300
 雀の丸文 375
 洲浜形 144
 墨流し 111・114
 摺付表紙 161
 「せ」
 西王母の丸文 375
 青海波 147・239
 青竜 352
 瀬戸物茶碗文 172
 扇面散し 165
 「そ」
 「蔵」字 78
 「た」
 田 稲田

「大」字 320
 宝尽し 46・131・197・198・209
 宝尽し二重七宝繋ぎ 19・20
 宝巻 197・198・209
 竹垣 325 松皮菱竹垣
 武田菱 22
 蛸 394
 橘 276 枝橘・竜胆橘
 橘の丸 275
 竜田川文 297
 縦線 100・389
 縦檀紙 103・104
 縦刷毛目 80 82・102
 立涌 雲立涌・丁子立涌・八つ瓢立涌
 檀紙 95 100・279・366 縦檀紙・揉紙
 文様檀紙・横檀紙
 段繋ぎ 68 69
 「ち」
 千鳥 147・365 群翔千鳥
 千鳥散し 147
 茶碗 瀬戸物茶碗文

蝶 227・310・383・384・386・387・392 鳥
 蝶文・三つ臥蝶
 蝶散し 380・381 臥蝶散し
 丁子 197・198・209
 丁子雲珠 232
 丁子格子縞 89
 丁子立涌 52
 丁子散し 254
 丁子引 77
 丁子引き刷毛目 366
 「つ」
 月 140
 「月」字 178
 葛 311・384
 葛唐草 230
 葛葉 314
 葛葉散し 313
 葛花文 312
 椿 263
 蔓若松 251
 鶴 360 雲中鶴・折鶴散し・卍繋ぎ

鶴・向かい鶴文
 鶴龜の丸文散し 362
 「て」
 鉄線 276
 鉄線唐花唐草 201
 鉄線唐草 202 204
 鉄線散し 282
 鉄線二重亀甲繋ぎ 42
 点字 120
 天使の丸 132
 殿舎 156
 「と」
 陶器文 171
 唐棧縞 90
 遠山 154・157
 遠山樹木 156
 遠山霞 155
 棘唐草 239
 巴散し 二つ巴散し・三つ巴散し
 鳥 387 雲中鳥・千鳥・花喰鳥・花鳥

文・水鳥

鳥蝶文 378・379

蜻蛉 388

蜻蛉の扇形 120

「な」

中開き三本傘 166

撫子 281

撫子唐草 232

七草 春の七草

斜刷毛目 83・99

波 143・155・322・366・367 青海波・波

濤・水波

波雲 345 渦巻波雲

波刷毛目 4・84・85 横波刷毛目

「ぬ」

布目 1 } 7・27・92・127・134・141

159・163・175・183・223 } 225・245・247・248

250・251・285・300・306・309・310・327・361

「は」

梅花 151

梅花散し 88・259・261

梅樹 258

萩 305・329

刷毛目 247 色違い刷毛目刷・格子刷

毛目・縦刷毛目・丁子引き刷毛目・斜刷

毛目・波刷毛目・横刷毛目

芭蕉葉散し 317・318

旗 国旗文

蜂 258

撥 169

蓮葉 258 波濤 145・146

花筏 142

花勝美唐草 200

花桐文 68

花喰鳥 368

花鳥文 371・372

花菱 23 } 25・27・377 重花菱・角切

り二重角繋ぎ花菱文・窠文花菱・花文花

菱四方禪・蜀江花菱文

羽根 168

羽状文 69

蛤散し 395

薔薇唐花 牡丹薔薇等唐花

春の七草 264

「ひ」

飛雲 132

桧垣文 115

東六条藤 270

東六条藤散し 47

瓢桐 変り瓢桐

菱文 32・123・268・289 桔梗菱唐草・

辛菱・武田菱・花菱・二重菱唐花・松皮

菱・四つ菱・割小菱

菱型雲文 23

菱唐草 桔梗菱唐草

菱唐花 二重菱唐花

菱繋ぎ 33・34・262・337 七宝の菱繋

ぎ 昆沙門亀甲 35・307

飾紐 295

白虎 352
 瓢箪 156・322
 瓢箪唐草 237
 枇杷文 277
 「ふ」
 藤 三つ巴藤・東六条藤
 藤散し 東六条藤散し
 藤花文 271
 藤輪 272
 臥蝶散し 385 三つ臥蝶
 浮線綾 47・191・382
 浮線綾散し 48・50
 二重角繋ぎ 角切り二重角繋ぎ花菱文
 二重亀甲繋ぎ 花文二重亀甲繋ぎ・菊
 花二重亀甲繋ぎ・鉄線二重亀甲繋ぎ
 二重七宝繋ぎ 宝尽し二重七宝繋ぎ
 二重菱唐花 192
 二重丸散し 草花二重丸散し
 二つ巴 26・275
 二つ巴散し 9
 二葉葵 162

二葉葵散し 285
 縁取り割小菱 30
 舟 143 帆掛舟
 舟の扇形 120
 分銅繋ぎ 45・46
 「文」字散し 175
 「へ」
 「並」字 177
 「ほ」
 鳳凰 61・241・354・356・357・359
 鳳凰唐草 182・183
 鳳凰の丸 184・355 合鳳凰の丸
 棒縞 90 色変り棒縞
 宝珠 128・129
 宝相華 321
 抱竹丸散し 369
 帆掛舟 155
 螢 389
 牡丹 126・212
 牡丹唐草 10・205・208・231・236
 菊牡

丹唐草
 牡丹唐花 209
 牡丹唐花七宝 210
 牡丹薔薇等唐花 211
 「ま」
 籬 305 竹垣
 勾玉 170
 巻物 65
 鉞 197・198・209
 猿の丸文 376
 松 148・262・279 松樹・雪持松・若松
 松皮菱 3
 松皮菱竹垣 28
 松皮菱散し 254
 松葉 247
 松葉散し 116・250・253
 松林 246・356
 松原 143・155
 松毬 247
 丸字散し 179
 丸錦散し 234 草花二重丸

丸に引き両 295
丸文 123 合鳳凰の丸・犬の丸文・兎
の丸文・桜花丸文・蟹の丸文・雀の丸
文・鶴亀の丸文・猿の丸文・桃実の丸文
卍繋ぎ 8 } 11・176・207・227・236・271・
283・293・345・347
卍繋ぎ鶴 210

「み」
三重襷 30
水玉 150
水鳥 370
水波 260
瑞穂 301
乱れ飛ぶ雁 364
三蔓葵 変り三蔓葵
三つ巴 桐三つ巴等瓦文
三つ巴散し 254
三つ巴藤 269・270
三つ柏 320
三つ臥蝶 382
三つ竜胆橘 307

海松 387

「む」
向かい鶴文 363
虫 秋の虫

「も」
文字 3・78・107・175 } 179
木瓜文花菱 31・240
揉紙文様 105 金箔散し揉紙
揉紙文様檀紙 106
紅葉散し 294・297・298・329
桃実の丸文 375

「や」
八つ瓢立涌 51
柳 141
柳葉 265
山吹 273
闇夜 389

「ゆ」
雪 149
雪兔 377
雪花 314
雪持松 149

「よ」
洋盃 174
横檀紙 101・102・298
横千筋縞 92
横波刷毛目 390
横刷毛目 71 } 79・100・101・352
四つ菱 22
四方襷 花文花菱四方襷

「ら」
雷文襷 13・212・228・350・351
雷文繋ぎ 12・14・166・188 } 190・196 }
198・202・231・313
蘭花文 331

「り」

梨花 336

竜 42・346・349 雨竜・雲竜

竜巢文 341

竜の丸 11・210・235・340・343・345・347・

348

輪鼓 3・163・164

流雲 343

流水 141・142・177・280・297・326・370

菊流水

竜胆 笹竜胆

竜胆橘 三つ竜胆橘

「れ」

靈芝雲文 126

連瓦文様 210

蓮華 280

蓮華唐草 196・199

蓮華唐花 195

「ろ」

六弥太格子 88

「わ」

若松 245・248・249

若松唐草 251

若松散し 254

若松の丸散し 小菊と若松の丸散し・

小桜と若松の丸散し

輪違い 65

蕨 263

割梅鉢 322

割小菱 縁取り割小菱

割小菱亀甲繋ぎ 38

書名索引

「あ」

- 葵花集抜書 143
秋屋集 294
東講商人鑑 344
安達原 28
安名手本執心廓 56

「い」

- 家土産 141
十六夜日記 198
十六夜日記残月鈔 1
伊勢物語 75・216・282・322
伊勢物語絵抄 287
伊勢物語題号考 48・49
稜威道別 246
乙酉百首 319
いろは文庫 9
院和歌御会始 348

「う」

- 薄衣草紙 326
鶉衣 45
打聴鶯蛙集 95
うつほ物語俊蔭卷 86
うらのしほ貝 394

「え」

- 詠歌大概 18・44
栄花物語系図 98
英名百雄傳 242
画口合瓢之蔓 51
絵島廻浪 277
江戸大節用海内蔵 272
絵本一休噺 97
絵本金花談 167
絵本垣衣草 350
絵本孫子童観抄 371
絵本通俗三國志 132
絵本徒然草 342
絵本唐詩仙 336
絵本彦山権現靈驗記 154

艶道微言 328

「お」

- 奥義抄 236
大寄噺の尻馬 280
奥細道菅菰抄 105・308
落葉の錦 267
処女七種 316・391・392
御船歌 76
女郎花五色石台 25
音韻仮名用例 255
温公家訓帖 262
「か」
開卷驚奇侠客伝 177・295・374・389
懐風藻 55・189
介譜浦の錦 395
歌字提要 289
柿本朝臣人麿勸文 146
客者評判記 363
楽譜集 16
花月草紙 200

雅語訳解大成 331
 門田のさなへ 329
 仮字考 298
 仮名字抄 382
 仮名遣相伝之事つづらおりかなづかひ 113
 仮名読八犬伝 21
 金草鞋 135・155
 賀茂翁歌集 123
 鴨長明方丈記 方丈記
 歌林雜木鈔 302
 官職知要 4
 官職補任圖画凡例 219
 冠注大和物語 47
 「き」
 機巧圖彙 333
 奇特百歌僊 270
 狂歌卯の巻 137
 狂歌画像作者部類 239
 狂歌三才拾遺 36
 狂歌三十六歌僊 85

狂歌色紙小倉形 116
 狂歌集 29
 狂歌拾遺家土産 家土産
 狂歌初心抄 226
 狂歌水滸伝 201
 狂歌撰集牆之外 93
 狂歌辰農市 380
 狂歌溪の月 218
 狂歌竹川集 253
 狂歌手鑑画像集 257
 狂歌手毎の花 175
 狂歌波津加蛭子 40
 狂歌浜菰集 130
 狂言全集 159
 享保三十年五月廿四日政宗卿百年忌勸進和歌 152
 近世奇跡考 94・133・279
 「く」
 くになまり 386
 くぬがちの記 314
 雲妙間雨夜月 8

愚問賢注 258
 訓蒙窮理図解 78
 「け」
 傾城買二筋道三篇宵の程 61
 外題年鑑 228
 元元唱和集 337
 兼好法師伝記考證 368
 言語学 362
 源氏小鏡 183
 源氏装束図式文化考 204
 源氏年立図 349
 源氏男女装束抄 24・229
 源氏物語 112・304・323
 源氏物語忍草 134
 源氏大和繪鑑 222
 言文一致 33
 「こ」
 恋種 292
 厚顔抄 103
 好古余録 353

弘長百首	321
甲陽軍鑑	207
古今集注	110
古今和歌集	63・114・128・129・231・241・306・354
古今和歌集遠鏡	102
古今和歌六帖標注	7
国本論	215
古言梯標註	288
古今操便覧	263・334
古今畸人伝画像集	237
古今狂歌袋	365
後拾遺和歌集	351
後撰和歌集	115
国歌八論	106・259
滑稽笑談くになまり	
詞のくみ立	6
詞玉橋	50
小番付	261
五番綴観世流謡本	144
後水尾院御製	15
権跡古今集歌切	128

「さ」	
西行上人談抄	195
催馬楽筆葉譜	358
載陽帖	125
さかの記	60
さくら合	74
薩戒記	369
三玉集	136
三七全伝南柯夢	320
三哲小伝	335
三部抄	65・138
三位入道九十賀歌集	205
「し」	
詞花和歌集	23・260・359
詩仙堂志	264
市中制法	352
実語教画本	121
耳底記	271
信濃奇談	153
劇場年中鏡	275
仕舞付百番七太夫流	10

下懸離謡大成	191
釈迦八相倭文庫	88
芍薬亭詠藻広陵集	278
拾遺狂言記	297
拾遺和歌集	296
秀歌躰大略	18
十九友詩	203
集題	150
袖中抄	197
授幼難字訓	313
俊傑神稻水滸伝	26
春色梅児誉美	165
春色梅美婦祢	393
春色英対暖語	169
春色辰巳園	172・174
春色恵の花	160
俊成卿九十賀和歌集	
小学内篇筆記	91
松下亭終焉之記	149
貞享式海印録	317
装束要領鈔	293
三位入道九十賀歌	

勝地吐懷編 82
 正徹物語 232
 浄土真宗玉林和歌集 238
 正風躰抄 192
 尚不愧齋存稿 355
 蜀山人狂歌図絵 233
 女訓みさご草 315
 諸芸人名録 34
 諸国道中金草鞋 金草鞋
 初実劔理学抄 324
 白鷹記 64
 新安手簡 57
 新古今和歌集 63・185・249・268
 新後拾遺和歌集 156・157
 新增補西国奇談 340・375・376
 新勅撰和歌集 139
 新百人一首 68・211
 新平家物語 208
 「す」
 粹興奇人伝 43
 随掃集 59

睡余小録 378
 鄒魯大旨 190
 周防内侍 35
 捨小舟 仙崖和尚捨小舟
 住吉物語 206
 「せ」
 井蛙抄 269
 青丘詩鈔 196
 正史実伝いろは文庫 いろは文庫
 西洋道中膝栗毛 173
 世説音釈 347
 拙堂文集 176
 仙崖和尚捨小舟 266
 前賢故実 170
 千載和歌集 158・305
 泉志 14
 撰集抄 209
 詹々言 332
 仙洞御添削百首 12
 千百人一首 360

「そ」
 草庵和歌集 58
 箏曲大意抄 248
 装劔奇賞 307
 草字彙 373
 徂徠先生答問書 145
 「た」
 大学 283
 耐軒詩草 127
 代始和抄 84
 鷹詞連歌 64
 鷹百首 64
 高山仲繩遺墨 387
 竹取物語抄 111
 たち花の香 274
 為家集 186
 「ち」
 忠臣蔵偏癡氣論 180
 中殿御会和歌 71
 一寸俄 162

椿説弓張月 367

「つ」

月濤抄 178

月詣和歌集 285

菟玖婆迺山口 168

都気能雄久志 22

つづらおりかなづかひ 113

貫之卿筆古今和歌集卷第十八 129

徒然要草 54

徒然草 13・32・38・83・119・187・199・

213・247・343・346

つれづれ草拾遺 276

「と」

濤花集 148

道具字引図解 243

刀剣図考 101

童子教 324

唐詩仙絵本 絵本唐詩仙

同文通考 230

独看和歌集 379

読史管見 345

徳和歌後萬載集 17

土佐日記考証 124

十符の首薦 309

豊穂集 256

「な」

奈良絵豆扇図面 330

「に」

二十一代集 234

二千年袖鑑 301

二物考 286

日本国開闢由来記 372

如童詩稿 122

能因歌枕 69

「は」

俳諧歌乙西百首 乙西百首

俳諧歌朱雀集 140

俳諧御傘 224

俳諧歳時記菘草 318

俳諧天爾波抄 284

白山参詣方言修行金草鞋 金草鞋

畠山匠作亭詩歌和歌拔書 341

八十八帖 214

八代集抄 217

花曆八笑人 79

花街百人一首 104

浜松中納言物語 77

春のみなもと 290

「ひ」

卑懐集 基綱集

日高川 謡曲日高川

莠草 223

百人一首 100・221・281

百人一首基箭抄 31・240

百人一首抄 67

百人一首新抄 5

百人一首一夕話 53

百人一首螢火編 87

百人一首和歌始衣抄 90

「ふ」
 風流俄天狗 244
 武器袖鏡 99
 武家百人一首 151
 扶桑画譜 107
 撫箏雅譜集 300
 扶桑皇統記図会 220
 二人びくに 42
 ふもとのしるべうた 193
 不里和気髪 147
 文芸類纂 2

「ま」
 方丈記 252
 茅窓漫録 310
 本朝陶器攷証 171
 本朝名公墨宝 388
 本朝虞初新誌 327
 枕詞燭明抄 3
 枕草子読本 96
 馬士の歌囊 39・62
 松の葉 184
 松屋叢考三樹考 245
 松屋叢話 250
 万葉緯 390
 萬葉集僻案抄 80
 万葉集略解 251

「む」
 身延 謡曲身延
 都の手ぶり 164
 御代始鈔 代始和抄
 未来記 192
 未来記并雨中吟抄 210
 昔語稻妻表紙 166
 むぐら 81
 無雙相鬘語 118
 室町源氏胡蝶巻 161・312

「め」
 明治孝節録 227
 名所狂歌集 370
 名所今歌集 89
 明和改正謡本 19・20・46・131・182

「も」
 基綱集 120
 紅葉合 225
 師兼千首 109

「や」

やへやまぶき 273

俳優茶話 366

八雲琴譜 357

柳の露 265

大和言葉 254

空谷伝声集 92

八雲御抄 202

「ゆ」

寛居大人歌集等 377

動雅高麗貴 126

「よ」

謡曲日高川 73

謡曲身延 72

養小録 117

吉野百首 142

世中百首絵抄 41

「じ」

梁塵愚案抄 325

令義解校本 384

臨池抄 181

「る」

類題狂歌浜荻集 狂歌浜荻集

「れ」

列儂列女画像集 163

「ろ」

老子繹解 11

六家集 299

論語古義 188

「わ」

和歌吳竹集 338・339

和歌古語深秘抄 212

和歌童翫抄 303

和歌難波津 381

和漢合類大節用集 179

和漢伴諧集 37

和漢朗詠集 235・356・383

倭訓栞 361

表紙文様集成
調査研究報告 第二十五号別冊

平成十六年十一月三十日 発行

編集者 小川 剛 生

中野 真麻 理

代表者 大高 洋 司

発行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 調査収集事業部

142 8585 東京都品川区豊町一 一六 一〇

電話(〇三)三七八五 七三三

印刷所 株式会社 三協 社